

学 年

4

令和8年度

シラバス

令和8年度

シラバス

SYLLABUS
for
STUDENTS



第4学年



日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和8年度 第4学年
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	6 1

本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

令和8年度（第4学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	歯科矯正学 (実習:新井)		歯科矯正学 (新井)	口腔内科学 (松野)	※
火	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯内療法学 (興地)	歯内療法学 (実習:興地)		※
水	小児歯科学 (実習:苅部)		小児歯科学 (苅部)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	部分床義歯補綴学 (隅田)
木	障害者歯科学 (内川)	口腔インプラント学 (柳井)	全部床義歯補綴学 (実習:隅田)		※
金	歯科放射線学 (河合)	歯冠補綴学 (五味)	歯周病学 (沼部)	部分床義歯補綴学 (隅田)	※

1) 授業期間 令和8年4月6日(月)～令和8年7月24日(金)
 (令和8年7月16日(木)～令和8年7月24日(金)は授業予備日)
 (令和8年7月27日(月)～令和8年8月18日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 152講堂(実習科目は臨床基礎実習室で行う)

3) その他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。
 ②ワクチン接種は16時00分から実施(詳細は後日掲示)。
 ③8月に学外業者模試を実施(詳細は後日掲示)。

令和8年度（第4学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時 間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	総合基礎歯学 〔微生物学/歯科理工学〕 (高橋/新谷)	総合基礎歯学 〔口腔衛生学〕 (大島)	総合臨床歯学 〔歯内療法学〕 (興地)	総合基礎歯学 〔解剖学/組織学〕 (春原/菊池)	※
火	総合基礎歯学 〔病理学/生化学〕 (添野/才木)	総合基礎歯学 〔生理学/薬理学〕 (佐伯/筒井)	統合臨床基礎学 (実習:阿部)		※
水	歯周病学 (実習:沼部)		総合臨床歯学 〔歯周病学〕 (沼部)	総合臨床歯学 〔小児歯科学〕 (苅部)	※
木	歯冠補綴学 (実習:五味)		総合臨床歯学 〔歯科矯正学〕 (新井)	部分床義歯補綴学 (実習:隅田)	
金	総合臨床歯学 〔口腔外科学〕 (里見)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	総合臨床歯学 〔歯科硬組織修復学〕 (講座代表者)	口腔外科の基本手技 (実習:里見/砂田/柳井) インプラント実習含む	

- 1) 授業期間 令和8年9月15日(火)～令和8年12月4日(金)
(令和8年12月21日(月)～令和9年1月8日(金)は冬期休業)
- 2) 講 堂 152講堂 (実習科目は臨床基礎実習室で行う)
- 3) そ の 他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。
②ワクチン接種は16時00分から実施(詳細は後日掲示)。
- 4) 臨床実習事前オリエンテーションは受講必須(詳細は後日掲示)

授業科目の履修時期と単位数

【2026年度第4学年以降】

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
心理学概論	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
基礎化学	1.5													
化学	3													
化学実習	1													
基礎生物学	1.5													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナルリズム1	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
歯科医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
医の倫理	1.5													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英语	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
薬理学	4.5			■	■	■								
薬理学実習	1					■								
衛生・公衆衛生学	3			■	■									
口腔保健学	3					■	■							
衛生学・口腔衛生学実習	1					■	■							
歯科理工学	4.5			■	■	■								
歯科理工学実習	1					■								
病理学	4.5				■	■	■							
病理学実習	1					■	■							
スポーツ歯学	1			■										
プロフェッショナルリズム2	1.5			■										
臨床につながる基礎学と教養	1.5			■										
地域連携・在宅医療概論	1.5				■									
歯科法医学	1.5			■										
生命歯学探究	1.5				■									
生命歯学探究実習	1				■									
コミュニケーション概論実習	1			■										
歯科硬組織修復学	4.5					■	■	■						
歯科硬組織修復学実習	1					■	■							
歯内療法学	3					■	■	■						
歯内療法学実習	1					■	■							
歯周病学	3					■	■	■						
歯周病学実習	1					■	■							
全部床義歯補綴学	3					■	■	■						
全部床義歯補綴学実習	1					■	■							
部分床義歯補綴学	3					■	■	■						
部分床義歯補綴学実習	1					■	■							
歯冠補綴学	4.5					■	■	■						
歯冠補綴学実習	1					■	■							
口腔外科学	3					■	■	■						
口腔内科学	1.5					■	■							
口腔外科の基本手技実習	1					■	■							
歯科矯正学	3					■	■	■						
歯科矯正学実習	1					■	■							
小児歯科学	3					■	■	■						
小児歯科学実習	1					■	■							
歯科放射線学	4.5					■	■	■						
高齢者歯科学	1.5					■	■							
外科学	1.5					■	■							

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
内科学	1.5						■							
歯科麻酔・救急処置	3							■	■					
総合基礎歯学	1.5								■					
総合臨床歯学	1.5								■					
統合臨床基礎学実習	1								■	■				
障害者歯科学	1							■						
口腔インプラント学	1.5							■						
臨床実習	13									■	■			
基礎医学演習 1	1		■											
基礎医学演習 2	1				■									
総合基礎医学演習 1	1						■							
総合基礎医学演習 2	1								■					
臨床歯学探究	1										■			
総合科目①②③	3											■	■	
包括歯科医学①②	1													■

単位合計数	199.5単位
-------	---------

前学期授業科目

歯科矯正学実習	10
歯科矯正学	13
口腔内科学	16
歯科硬組織修復学	19
歯内療法学	22
歯内療法学実習	25
小児歯科学実習	28
小児歯科学	31
歯科麻酔・救急処置	34
部分床義歯補綴学	37
障害者歯科学	42
口腔インプラント学	45
全部床義歯補綴学実習	48
歯科放射線学	51
歯冠補綴学	54
歯周病学	57

(計 16科目)

Laboratory Practice in Orthodontics	10
Orthodontics	13
Oral Medicine	16
Operative Dentistry	19
Endodontics	22
Laboratory Practice in Endodontics	25
Laboratory Practice in Pediatric Dentistry	28
Pediatric Dentistry	31
Dental Anesthesiology and Emergency Treatment	34
Removable Partial Denture Prosthodontics	37
Special Needs Dentistry	42
Oral Implantology	45
Laboratory Practice in Complete Denture Prosthodontics	48
Oral Radiology	51
Crown & Bridge Prosthodontics	54
Periodontics	57

(計 16科目)

令和8年度（第4学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	歯科矯正学 (実習:新井)		歯科矯正学 (新井)	口腔内科学 (松野)	※
火	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯内療法学 (興地)	歯内療法学 (実習:興地)		※
水	小児歯科学 (実習:荻部)		小児歯科学 (荻部)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	部分床義歯補綴学 (隅田)
木	障害者歯科学 (内川)	口腔インプラント学 (柳井)	全部床義歯補綴学 (実習:隅田)		※
金	歯科放射線学 (河合)	歯冠補綴学 (五味)	歯周病学 (沼部)	部分床義歯補綴学 (隅田)	※

1) 授業期間 令和8年4月6日(月)～令和8年7月24日(金)
 (令和8年7月16日(木)～令和8年7月24日(金)は授業予備日)
 (令和8年7月27日(月)～令和8年8月18日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 152講堂(実習科目は臨床基礎実習室で行う)

3) そ の 他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。
 ②ワクチン接種は16時00分から実施(詳細は後日掲示)。
 ③8月に学外業者模試を実施(詳細は後日掲示)。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	6日	柴崎 絢香	ユニット1:診 断	1)顔面写真, 口腔内写真を評価する。(G-3-⑫) 2)模型計測法を列記する。(G-3-⑫) 3)模型計測の意味を説明する。(G-3-⑫) 4)模型計測の結果を判断する。(G-3-⑫) 5)セファロ分析を実施する。(G-3-⑫) 6)Tweed分析における抜歯基準について説明する。 (G-3-⑫) 7)Tweed分析を実施する。(G-3-⑫) 8)治療方針を立案する。(G-3-⑫)
		準備学習内容	実習書P.1~P.36を読み, 要点を確認する。	
4月	13日	栃木 啓佑	ユニット2:ワイヤーベン ディング(1)	1)ワイヤーの特性を説明する。(D-2-④) 2)プライヤーの使用法に熟練する。(D-2-④) 3)ループの使用目的を説明する。(D-2-④) 4)目的に応じたワイヤーを屈曲する。(D-2-④)
		準備学習内容	実習書P.37~P.45を読み, 要点を確認する。	
4月	20日	栃木 啓佑	ユニット3:ワイヤーベン ディング(2)	1)ワイヤーの特性を説明する。(D-2-④) 2)プライヤーの使用法に熟練する。(D-2-④) 3)ループの使用目的を説明する。(D-2-④) 4)目的に応じたワイヤーを屈曲する。(D-2-④)
		準備学習内容	実習書P.37~P.45を読み, 要点を確認する。	
5月	11日	土持 宇	ユニット4:自在ろう着	1)ろう着に用いる機器の使用方法を説明する。(D-1-①) 2)ろう着の原理を説明する。(D-1-②) 3)フラックスの用途を説明する。(D-2-④) 4)自在ろう着を実施する。(D-2-④) 5)補助弾線をろう着し屈曲する。(D-2-④)
		準備学習内容	実習書P.46~P.66を読み, 要点を確認する。	
5月	18日	鈴木 章弘	ユニット5:舌側弧線装置 (1)	1)舌側弧線装置の構造・目的・作製手順を説明する。 (E-4-1)-⑤) 2)バンド装着の手順を列記する。(E-4-1)-⑤) 3)模型にバンドを適合させる。(E-4-1)-⑤) 4)維持装置の構造を説明する。(E-4-1)-⑤) 5)維持装置の溶接をする。(E-4-1)-⑤) 6)印象採得を実施する。(E-4-1)-⑤) 7)作業模型を製作する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P.67~P.90を読み, 要点を確認する。	
5月	25日	鈴木 章弘	ユニット6:舌側弧線装置 (2)	1)舌側弧線装置の外形線を記入する。(E-4-1)-⑤) 2)舌側弧線装置を設計する。(E-4-1)-⑤) 3)維持装置のろう着を実施する。(E-4-1)-⑤) 4)ワイヤーの選択方法を説明する。(E-4-1)-⑤) 5)主線・維持部の屈曲をする。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P.67~P.90を読み, 要点を確認する。	
6月	8日	鈴木 章弘	ユニット7:舌側弧線装置 (3)	1)主線をろう着する。(E-4-1)-⑤) 2)補助弾線の目的と種類を説明する。(E-4-1)-⑤) 3)補助弾線のろう着と屈曲をする。(E-4-1)-⑤) 4)舌側弧線装置を実習用模型に合着する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P.67~P.90を読み, 要点を確認する。	
6月	15日	鈴木 章弘 磯部 真帆	ユニット8:舌側弧線装置 (4)ノ保定装置(1)	1)舌側弧線装置による歯の移動様式を説明する。 (E-4-1)-⑤) 2)舌側弧線装置による歯の移動を観察する。 (E-4-1)-⑤) 3)保定装置の構造・目的・作製手順を説明する。 (E-4-1)-⑤) 4)主線を屈曲する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P.67~P.90, 実習書P.156~P.164を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	22日	磯部 真帆	ユニット9: 保定装置(2)	1) 主線を屈曲する。(E-4-1)-⑤) 2) 即時重合レジン適切に操作する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P.156～P.164を読み, 要点を確認する。	
6月	29日	磯部 真帆 館 晶彦	ユニット10: 保定装置(3) ／アクチバートル(1)	1) 即時重合レジン適切に操作する。(E-4-1)-⑤) 2) 研磨を適切に行う。(E-4-1)-⑤) 3) アクチバートルの構造・目的・作製手順を説明する。 (E-4-1)-⑤) 4) 構成咬合採得を実施する。(E-4-1)-⑤) 5) 作業模型を構成咬合器へ付着する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P.156～P.164, P91～P.113を読み, 要点を確認する。	
7月	6日	館 晶彦	ユニット11: アクチバートル (2)	1) アクチバートルの外形を設定する。(E-4-1)-⑤) 2) 目的に応じた誘導線を屈曲する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P91～P.113を読み, 要点を確認する。	
7月	9日	館 晶彦	ユニット12: アクチバートル (3)	1) 目的に応じた誘導線を屈曲する。(E-4-1)-⑤) 2) レジン床の築盛方法を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) ボクシングを実施する。(E-4-1)-⑤) 4) ふりかけ法でレジン床の築盛を実施する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P91～P.113を読み, 要点を確認する。	
7月	13日	館 晶彦	ユニット13: アクチバートル (4)	1) レジン床の研磨を行う。(E-4-1)-⑤) 2) アクチバートルの誘導面形成を説明する。(E-4-1)-⑤)
		準備学習内容	実習書P91～P.113を読み, 要点を確認する。	

科目名

歯科矯正学

曜日 時間

月

13:00~14:20

本学期的到達目標(GIO)

前年度に修得した歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断に関する知識をふまえて、歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる治療に関する知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

著者・編集	書名	版	出版社
後藤滋巳 他 編	歯科矯正学	第7版	医歯薬出版
西井 康 他 著	歯科矯正学エッセンシャルテキスト	初 版	永末書店
新井 一仁 他 著	歯科矯正学実習	初 版	医歯薬出版

担当者一覧

新井一仁, 土持 宇, 鈴木章弘, 栃木啓佑, 柴崎絢香, 舘 晶彦, 磯部真帆

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(80 %)
 論述試験(20 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時:毎週 月曜日 17:00~18:00
 場所:100周年記念館 3階 歯科矯正学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	6日	柴崎 絢香	ユニット1:診 断	1)セファロ分析を実施する。(F-3-6)-(4) 2) Tweed分析における抜歯基準について説明する。(F-3-6)-(4) 3) Tweed分析を実施する。(F-3-6)-(4) 4) 治療方針を立案する。(F-3-6)-(4)
		準備学習内容	実習書(歯科矯正学実習, 初版)P.1~P.36を読み, 要点を確認する。	
4月	13日	栃木 啓佑	ユニット2:矯正力	1) 矯正治療の概要を説明する。(E-4-1)-(1) 2) 矯正力の種類を列記する。(E-4-1)-(3) 3) 矯正力の作用様式を列記する。(E-4-1)-(3) 4) 歯の移動様式について説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.195~P.199を読み, 要点を確認する。	
4月	20日	土持 宇	ユニット3:矯正歯科治療における固定	1) 固定の定義と意義を説明する。(E-4-1)-(3) 2) 部位による固定の分類について説明する。(E-4-1)-(3) 3) 固定を抵抗の性質によって分類する。(E-4-1)-(3) 4) 抜歯空隙を利用するときの固定を分類する。(E-4-1)-(3) 5) 歯科矯正用アンカースクリューによる固定について説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.200~P.211を読み, 要点を確認する。	
5月	11日	鈴木 章弘	ユニット4:矯正用材料の特性	1) 矯正用材料の種類を列記する。(E-4-1)-(4) 2) 矯正用材料の特徴を説明する。(E-4-1)-(4) 3) 矯正用機器の種類を列記する。(E-4-1)-(4) 4) 矯正用機器の用途を説明する。(E-4-1)-(4)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.212~P.217, P.402~420を読み, 要点を確認する。	
5月	18日	栃木 啓佑	ユニット5:矯正装置①	1) 矯正装置を分類する。(E-4-1)-(5) 2) リンガルアーチ, Nanceのホールディングアーチ, パラタルアーチ及びタンククリブの特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 3) マルチブラケット装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 4) 拡大装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 5) 顎外固定装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.218~P.242, P.249~P.257を読み, 要点を確認する。	
5月	25日	館 晶彦	ユニット6:矯正装置②	1) 床矯正装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 2) 機能的矯正装置の種類を列記する。(E-4-1)-(5) 3) 機能的矯正装置の特徴を説明する。(E-4-1)-(5) 4) 機能的矯正装置の適応症を説明する。(E-4-1)-(5)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.242~P.249, P.257~P.268を読み, 要点を確認する。	
6月	8日	新井 一仁	ユニット7:乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療	1) 乳歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-(3) 2) 混合歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-(3) 3) 混合歯列期における治療について説明する。(E-4-1)-(3) 4) セファロの重ね合わせについて説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.269~P.293を読み, 要点を確認する。	
6月	15日	館 晶彦	ユニット8:永久歯列期の矯正歯科治療	1) 永久歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-(3) 2) 永久歯列期における治療について説明する。(E-4-1)-(3) 3) Tweed分析と抜歯基準について説明する。(E-4-1)-(3) 4) マルチブラケット装置の概要を説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.297~P.341を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	22日	磯部 真帆	ユニット9: 保定, 口腔筋機能療法	1) 保定の定義と意義について述べる。(E-4-1)-(3) 2) 後戻りと再発の原因について説明する。(E-4-1)-(3) 3) 保定の種類を説明する。(E-4-1)-(3) 4) 口腔筋機能療法について説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.342~P.350, P.294~296を読み, 要点を確認する。	
6月	29日	土持 宇	ユニット10: チーム医療の中の矯正歯科治療	1) 口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-(2) 2) 顎変形症の矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-(3) 3) 歯の先天性欠如と矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-(1)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.351~P.387を読み, 要点を確認する。	
7月	6日	鈴木 章弘	ユニット11: 矯正歯科治療における口腔衛生管理, リスクと偶発症	1) 不正咬合について説明する。(F-3-6)-(4) 2) 検査について説明する。(F-3-6)-(4) 3) 診断について説明する。(F-3-6)-(4)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.388~P.401を読み, 要点を確認する。	
7月	9日	磯部 真帆	ユニット12: 診断学演習	1) 不正咬合の口腔模型分析結果を評価する。(E-4-1)-(3) 2) 不正咬合のセファロ分析結果を評価する。(E-4-1)-(3) 3) 不正咬合の診断について説明する。(E-4-1)-(3) 4) 治療目標を列記する。(E-4-1)-(3) 5) 治療方針を説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	ユニット1~11の内容を復習しておくこと。	
7月	13日	柴崎 絢香	ユニット13: 治療学演習	1) 矯正歯科治療について説明する。(E-4-1)-(1) 2) 固定について説明する。(E-4-1)-(3) 3) 矯正用材料の特性について説明する。(E-4-1)-(4) 4) 矯正装置について説明する。(E-4-1)-(5)
		準備学習内容	ユニット1~11の内容を復習しておくこと。	

科目名

口腔内科学

曜日 時間

月

14:30～15:50

本学期的到達目標(GIO)

総論として歯科における薬物療法と薬剤耐性対策, 臨床検査, 医療安全対策, 各論として顎関節疾患と睡眠時無呼吸症, 血液疾患, 口腔粘膜疾患, 唾液腺疾患, アレルギーと自己免疫疾患について理解する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**山根源之, 草間幹夫
編集主幹

口腔内科学

第4版

永末書店

日本歯科薬物療法学会
編

日本歯科用医薬品集 歯科の処方に役立つ本

第5版

永末書店

担当者一覧

松野智宣, 田中惇平, 澁井武夫, 安田卓史, 戸谷収二

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(70 %) 論述試験(30 %) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 毎週月曜日 15:50～16:20

場所: 100周年記念館5階 口腔外科学講座

* あるいは講義終了後の担当者からの指示

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	6日	松野 智宣	ユニット1:薬物療法と薬剤耐性対策	1)薬物療法の目的を説明する。(C-6-2) 2)薬物療法の種類とその選択を述べる。(C-6-2) 3)抗菌薬の副作用と相互作用を説明する。(C-6-4)) 4)薬剤耐性と抗菌薬適正使用を説明する。(C-6-4))
		準備学習内容	口腔内科学p.152～180, 歯科の処方に役立つ本p.35～40を読み, 内容を確認する。	
4月	13日	田中 惇平	ユニット2:臨床検査	1)一般臨床検査を列挙する。(E-1-3)-(1)～(5)) 2)検体検査を説明する。(E-1-3)-(1)～(6)) 3)生体検査を説明する。(E-1-3)-(1)～(6)) 4)顎口腔機能検査を説明する。(E-1-3)-(1)～(6))
		準備学習内容	口腔内科学p.54～86, 116～131を読み, 内容を確認する。	
4月	20日	松野 智宣	ユニット3:赤血球系疾患と白血球系疾患	1)赤血球と白血球の形成過程と機能を説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 2)赤・白血球系疾患を列記する。(E-2-4)-(10)-(1)) 3)赤・白血球系疾患の口腔症状を説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 4)赤・白血球系疾患の全身症状を説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 5)赤・白血球系疾患の歯科における注意点と対処法を述べる。(E-2-4)-(10)-(1))
		準備学習内容	口腔内科学p.202～216を読み, 内容を確認する。	
5月	11日	松野 智宣	ユニット4:出血性素因と抗血栓療法	1)出血性素因について説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 2)出血性素因の原因を説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 3)抗血栓療法について説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 4)口腔内出血と全身状態との関連を説明する。(E-2-4)-(10)-(1)) 5)歯科的対応を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-(1))
		準備学習内容	口腔内科学p.217～223を読み, 内容を確認する。	
5月	18日	澁井 武夫	ユニット5:顎関節疾患総論と睡眠時無呼吸症	1)顎関節の解剖を説明する。(E-2-4)-(7)-(1)(2)) 2)顎関節疾患の症状を説明する。(E-2-4)-(7)-(1)(2)) 3)顎関節症の原因, 診断基準, 特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-(1)(2)) 4)睡眠時無呼吸症の臨床症状を説明する。(E-2-4)-(11)-(6)) 5)睡眠時無呼吸症の検査を説明する。(E-2-4)-(11)-(6)) 6)睡眠時無呼吸症の治療を説明する。(E-2-4)-(11)-(6))
		準備学習内容	口腔内科学p.568～569, 583～593, 594～603を読み, 内容を確認する。	
5月	25日	澁井 武夫	ユニット6:顎関節疾患各論	1)顎関節の先天異常および発育異常を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)) 2)顎関節の外傷性疾患を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)) 3)顎関節の炎症性病変を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)) 4)顎関節症を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)) 5)顎関節の腫瘍性病変を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)) 6)顎関節強直症を説明する。(E-2-4)-(7)-(2))
		準備学習内容	口腔内科学p.570～583を読み, 内容を確認する。	
6月	8日	松野 智宣	ユニット8:色素沈着, 白斑, 紅斑・びらん, 水疱, 潰瘍を主徴とする口腔粘膜疾患,	1)色素沈着を主徴とする疾患を列記する。(E-2-4)-(4)-(2)) 2)白斑を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-(2)) 3)紅斑・びらん, 水疱を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-(2)) 4)潰瘍を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-(2))
		準備学習内容	口腔内科学p.385～430を読み, 内容を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	15日	安田 卓史	ユニット7: 口腔粘膜の構造と疾患の分類および漢方による治療	1) 口腔粘膜の構造と機能を説明する。(E-2-4)-(4)-(1) 2) 口腔粘膜疾患を分類する。(E-2-4)-(4)-(1) 3) 漢方薬による治療を知る。(E-2-4)-(4)-(1)
		準備学習内容	口腔内科学p.383～384, 169～172を読み, 内容を確認する。	
6月	22日	松野 智宣	ユニット9: 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患, 自己免疫疾患	1) アレルギーと自己免疫疾患の発症機序を述べる。(C-4-2)-(5), (6) 2) 薬物アレルギーを説明する。(E-2-4)-(10)-(3) 3) 歯科金属アレルギーを説明する。(E-2-4)-(10)-(3) 4) 全身性エリテマトーデスを説明する。(E-2-4)-(10)-(3) 5) 遺伝性血管性浮腫 (HAE) を説明する。(E-2-4)-(10)-(3)
		準備学習内容	口腔内科学p.293～303を読み, 内容を確認する。	
6月	29日	松野 智宣	ユニット10: 唾液腺疾患総論, 唾液腺炎, 唾石症, 唾液腺の嚢胞	1) 唾液腺の構造・機能を説明する。(E-2-4)-(8)-(1) 2) 唾液腺の発育異常, 炎症疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-(3) 3) 唾石症を説明する。(E-2-4)-(8)-(3) 4) 唾液腺の嚢胞性疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-(3)
		準備学習内容	口腔内科学p.461～491を読み, 内容を確認する。	
7月	6日	松野 智宣	ユニット11: 唾液腺の良性腫瘍, 悪性腫瘍, 腫瘍類似疾患, ウイルス性疾患, 自己免疫疾患	1) 唾液腺の腫瘍性疾患の特徴, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 2) 流行性耳下腺炎の原因, 症状を説明する。(E-2-4)-(8)-(6) 3) Sjögren症候群とIgG4関連疾患の特徴, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(7)
		準備学習内容	口腔内科学p.438～44, 443～447, 492～500を読み, 内容を確認する。	
7月	9日 (木)	戸谷 収二	ユニット12: 医療安全と感染予防対策	1) 医療安全の必要性を述べる。(A-6-1)-(4)(5) 2) 消毒と滅菌を説明する。(E-1-5)-(6)(7)(8) 3) スタンダードプリコーションを説明する。(E-1-5)-(6)(7)(8) 4) 感染症患者の歯科治療を説明する。(E-1-5)-(6)(7)(8)
		準備学習内容	口腔内科学p.184～199を読み, 内容を確認する。	
7月	13日	松野 智宣	ユニット13: 問題演習および解説	1) 客観問題で正答を選択する。 2) 問題解説で理解度を知り, 問題解決に必要な知識を習得する。 3) 記述式問題の解答を説明する。
		準備学習内容	ユニット1～12の内容を確認・復習する。	

科目名

歯科硬組織修復学

曜日 時間

火

9:00~10:20

本学期的到達目標(GIO)

硬組織疾患に対する直接・間接修復法を理解するために、応用する器材の種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得し、あわせて変色歯・破折歯・象牙質知覚過敏への対応を身につける。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

田上順次 他

保存修復学21

第6版

永末書店

担当者一覧

柵木 寿男, 前野 雅彦, 河本 芽, 中村 昇司, 原 学, 小川 信太郎, 杉山 怜央

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(80%) 論述試験(20%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 毎月 第1・第3火曜日 12:00~13:00

場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	7日	柵木 寿男	ユニット1: 鑄造修復の特徴 ／鑄造用金属の種類と組成	1) 鑄造修復の長所と短所を列記する。(E-3-3-(1)-①) 2) 適応症を記述する。(E-3-3-(1)-③) 3) 直接法と間接法を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4) 鑄造用合金の所要性質を説明する。(D-2-②) 5) 各種鑄造用合金の組成や特徴を列挙する。(D-2-②)
		準備学習内容	教科書P253～255の要点を確認する。	
4月	14日	河本 芽	ユニット2: 鑄造修復用窩洞	1) 鑄造修復用窩洞の窩洞外形・保持形態・抵抗形態・便宜形態・窩縁形態を説明する。(E-3-3-(1)-⑥) 2) 各種窩洞の特徴・形態・形成法を述べる。(E-3-3-(1)-⑥)
		準備学習内容	教科書P256～258の要点を確認する。	
4月	21日	柵木 寿男	ユニット3: 印象と模型の作製	1) 各種印象材の長所と短所を列記する。(D-1-①) 2) 各種印象材の所要性質を記述する。(D-1-①) 3) 作業用模型の種類と特徴を述べる。(D-1-①) 4) 作業用模型の作製方法を説明する。(D-1-①)
		準備学習内容	教科書P259～262の要点を確認する。	
5月	12日	前野 雅彦	ユニット4: ワックスパターンの調整法／埋没	1) ワックスパターンの調整法を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) インレーワックスの所要性質を列記する。(D-1-①) 3) インレーワックスの組成を述べる。(D-1-①) 4) 埋没前準備を説明する。(D-2-②) 5) 埋没法の関連事項を列挙する。(D-2-②)
		準備学習内容	教科書P262～264の要点を確認する。	
5月	19日	小川 信太郎	ユニット5: 鑄造法	1) 鑄造法について説明する。(D-2-②) 2) 鑄造収縮とその補償法を記述する。(D-2-②) 3) 鑄造後の処置, 研磨法を述べる。(D-2-②) 4) 鑄造欠陥の成因と対策を列記する。(D-2-②) 5) 鑄造体の合着法を述べる。(D-2-③)
		準備学習内容	教科書P264～273の要点を確認する。	
5月	26日	前野 雅彦	ユニット6: セラミックインレー修復	1) セラミックインレー修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復法における窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 3) 本修復法の適応症・禁忌症・種類と材料組成を説明する。(E-3-3-(1)-③) 4) 本インレーの種類を製法により分類する。(D-2-②) 5) 作製法の違いによる利点・欠点を述べる。(D-2-②) 6) 本インレーによる修復手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
		準備学習内容	教科書P241～252の要点を確認する。	
6月	2日	中村 昇司	ユニット7: 最新の歯科審美修復臨床	1) 審美修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 審美修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 3) 本修復法の種類を類別する。(E-3-3-(1)-①) 4) 代表的な審美修復法の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
		準備学習内容	教科書P225～252の要点を確認する。	
6月	9日	柵木 寿男	ユニット8: ベニア修復	1) ベニア修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 3) 本修復法の種類を類別する。(E-3-3-(1)-①) 4) 各種ベニア修復法の長所・短所を述べる。(E-3-3-(1)-①) 5) ベニア修復の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
		準備学習内容	教科書P287～296の要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	16日	前野 雅彦	ユニット9:問題演習および解説	1)セラミックインレー修復の特徴・窩洞・適応症を述べる。(E-3-3-(1)-①) 2)本修復法の種類および材料の組成・修復手順を説明する。(D-2-②) 3)ベニア修復の特徴・適応症・種類・修復手順を述べる。(E-3-3-(1)-①)
		準備学習内容	これまでの履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
6月	23日	杉山 怜央	ユニット10:合着と接着	1)合着と接着の違いを述べる。(D-2-③) 2)合着用セメントの種類を列記する。(D-2-③) 3)各セメントの組成を説明する。(D-2-③) 4)接着性レジンセメントの分類を列記する。(D-2-③) 5)各セメントの臨床的使用手順・注意点を述べる。(D-2-③)
		準備学習内容	教科書P275～285の要点を確認する。	
6月	30日	柵木 寿男	ユニット11:変色歯の漂白	1)歯の変色の原因を列記する。(E-3-2)-①) 2)漂白法を類別する。(E-3-3-(1)-①) 3)各漂白の適応症・禁忌症を述べる。(E-3-3-(1)-③) 4)各種漂白法の処置手順を説明する。(E-3-3-(1)-①) 5)漂白用薬剤の種類と漂白のメカニズム・作用を列記する。(D-1-①)
		準備学習内容	教科書P279～310の要点を確認する。	
7月	7日	原 学	ユニット12:破折歯・象牙質知覚過敏の処置	1)歯の破折の原因を説明する。(E-2-4)-(2)-③) 2)前歯部の破折の処置法について述べる。(E-2-4)-(2)-③) 3)臼歯部の破折に処置法について述べる。(E-2-4)-(2)-③) 4)象牙質知覚過敏症の処置方針を述べる。(E-3-3-(1)-①) 5)象牙質知覚過敏症に用いる薬剤を列記する。(D-1-①)
		準備学習内容	教科書P72～79の要点を確認する。	
7月	14日	柵木 寿男	ユニット13:問題演習および解説	1)鑄造修復を述べる。(E-3-3-(1)-①) 2)セラミックインレー修復を説明する。(E-3-3-(1)-①) 3)ベニア修復を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4)合着・接着用セメントの特徴を列記する。(D-2-③) 5)変色・破折・知覚過敏への処置を説明する。(E-3-3-(1)-①)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	

科目名

歯内療法学

曜日 時間

火

10:30~11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯髓疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**興地隆史, 石井信之,
前田英史, 鈴木規元 編

歯内治療学

第6版

医歯薬出版

興地隆史, 石井信之,
北村知昭, 林美加子 編
集主幹

エンドドンティクス

第6版

永末書店

担当者一覧

興地隆史, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(60%) 論述試験(40%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 毎週火曜日 11:50~13:00

場所: 100周年記念館4階 歯科保存学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	7日	興地 隆史	ユニット1: 歯内療法における基本的術式(ラバーダム防湿法), 根管処置(1)	1) 無菌的処置法の意義を説明する。(E-1-5)-(6)) 2) ラバーダム防湿法の目的と意義, 方法を説明する。(A-6-3)-(2)) 3) 歯内療法用器材の滅菌消毒法を説明する。(E-1-5)-(8)) 4) 根管形成について説明する。(E-3-3-(2)-(1))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.43~P.54, P.112~P.132 を読み, 要点を確認する。	
4月	14日	興地 隆史	ユニット2: 根管処置(2), 根管充填(1)	1) 根管の化学的清掃, 消毒, 仮封について説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 2) 根管充填の目的と意義, 時期について説明する。(E-3-3-(2)-(2)) 3) 根管充填材を説明する。(D-2-(6))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.132~P.138, P.149~P.160 を読み, 要点を確認する。	
4月	21日	興地 隆史	ユニット3: 根管充填(2), 根管処置後の歯冠修復	1) 根管充填法の術式について説明する。(E-3-3-(2)-(2)) 2) 即時根管充填法について説明する。(E-3-3-(2)-(2)) 3) 根管充填後の治癒経過について説明する。(E-3-3-(2)-(4)) 4) 根管処置後の支台築造について説明する。(E-3-4-(1)-(3))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.160~P.178, P.266~P.272 を読み, 要点を確認する。	
5月	12日	興地 隆史	ユニット4: 抜髄と麻酔法	1) 歯髄疾患の治療方針を説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 2) 歯内療法における麻酔法を説明する。(E-1-4-(3)-(5)) 3) 抜髄法について説明する。(E-3-3-(2)-(1))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.50~P.54, P.67~P.81 を読み, 要点を確認する。	
5月	19日	三枝 慶祐	ユニット5: 歯髄保存療法	1) 歯髄保存療法の目的と意義について説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 2) 歯髄保存療法を列記する。(E-3-3-(2)-(1)) 3) 歯髄保存療法の術式, 予後を説明する。(E-3-3-(2)-(1))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.68~P.78 を読み, 要点を確認する。	
5月	26日	興地 隆史	ユニット6: 根尖性歯周疾患の治療(1)	1) 根尖性歯周疾患の治療方針を説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 2) 感染根管治療を説明する。(E-3-3-(2)-(1))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.105~P.111 を読み, 要点を確認する。	
6月	2日	興地 隆史	ユニット7: 根尖性歯周疾患の治療(2), 再根管治療	1) 根管内容物の検査を説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 2) 根管治療の補助療法を説明する。(E-3-3-(2)-(1)) 3) 再根管治療の目的と意義, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-(1))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.140~P.148 を読み, 要点を確認する。	
6月	9日	関谷 美貴	ユニット8: 歯内療法における安全対策	1) 歯内療法における偶発症を分類する。(E-3-3-(2)-(3)) 2) 歯内療法における偶発症の処置及び予防法を説明する。(E-3-3-(2)-(3))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.273~P.289 を読み, 要点を確認する。	
6月	16日	西田 太郎	ユニット9: 外科的歯内療法(1)	1) 外科的歯内療法の適応症と種類を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 2) 外科的排膿路の確保を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 3) 根尖搔爬法を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 4) 歯根尖切除法を説明する。(E-3-3-(2)-(5))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.218~P.224 を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	23日	西田 太郎	ユニット10: 外科的歯内療法(2), 歯科用実体顕微鏡を応用した歯内療法	1) 歯根切除法を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 2) ヘミセクションを説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 3) 歯根分離法を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 4) 歯の再植法を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 5) 歯の移植法を説明する。(E-3-3-(2)-(5)) 6) 顕微鏡を応用した歯内療法を説明する。(E-3-3-(2)-(5))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.224~P.240 を読み, 要点を確認する。	
6月	30日	関谷 美貴	ユニット11: 根未完成歯の治療	1) アペキソゲネーシスの意義と目的, 術式, 治癒機転を説明する。(E-4-2)-(5)) 2) アペキシフィケーションの意義と目的, 術式, 治癒機転を説明する。(E-4-2)-(5)) 3) 再生歯内療法の意義と目的, 術式, 治癒機転を説明する。(E-4-2)-(5))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.185~P.192 を読み, 要点を確認する。	
7月	7日	三枝 慶祐	ユニット12: 歯根の病的吸収, 変色歯の漂白	1) 内部吸収の原因と診断, 治療法を説明する。(E-3-3-(2)-(7)) 2) 外部吸収の分類と原因, 診断, 治療法を説明する。(E-3-3-(2)-(7)) 3) 歯の変色の原因を列記する。(E-3-3-(2)-(6)) 4) 変色無髄歯への対応を説明する。(E-3-3-(2)-(6))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.193~P.201, P.241~P.246 を読み, 要点を確認する。	
7月	14日	三枝 慶祐	ユニット13: 外傷歯の診断と処置	1) 外傷歯を分類を説明する。(E-2-4-(2)-(3)) 2) 外傷歯の検査法を説明する。(E-2-4-(2)-(3)) 3) 外傷歯の症状と治療法を説明する。(E-2-4-(2)-(3))
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.202~P.217 を読み, 要点を確認する。	

科目名

歯内療法学実習

曜日 時間

火

13:00～15:50

本学期的到達目標(GIO)

歯内療法学を臨床で実践するために、各種の治療法を実施し、臨床における実際の診療ポジションや治療の術式、手順を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
勝海一郎, 都築民幸, 五十嵐 勝, 興地隆史 他	歯内療法学実習書	第3版	日本歯科大学
興地隆史, 石井信之, 前田英史, 鈴木規元 編	歯内治療学	第6版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 林美加子 編集主幹	エンドドンティクス	第6版	永末書店

担当者一覧

興地隆史, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 村山文康, 北村和夫, 武藤徳子, 佐藤友則, 濱田康弘, 中山竣太郎, 梶原瑞貴, 古田賢太郎, 秋知美穂, 石川 泰, 磯田浩太, 小倉陽子, 草間博文, 小玉裕樹, 杉田浩一, 関口晃弘, 高橋千明, 辻野貴史, 角掛 愛, 永井圭子, 永島万理子, 前田朋己, 森山 旭, 山崎孝子, 吉野真弘

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(10 %)
 実地試験(%)
 観察記録(90%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時:実習終了直後
場所:本館7階 臨床実習室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 7日	西田 太郎 北村 和夫	ユニット1:実習ガイドンス、直線および彎曲根管を有する透明根管模型における根管形成、ブローチ綿花	1)歯内療法学の実習指針に沿って行動する。(F-3-3)-③) 2)透明直線根管に規格形成法を実施する。(F-3-3)-③) 3)透明彎曲根管にステップバック形成法を実施する。(F-3-3)-③) 4)ブローチ綿花の製作手順を閲覧する。(F-3-3)-③)
	準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「1. 直線および彎曲根管を有する透明根管模型における根管形成」と「3. ブローチ綿花(綿栓)の製作」を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	14日	北村 和夫	ユニット2:直線および彎曲根管を有する透明根管模型における根管充填	1)側方加圧充填法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「2. 直線および彎曲根管を有する透明根管模型における根管充填」を確認する。	
4月	21日	西田 太郎	ユニット3:髄室開拓と上顎第一小臼歯透明根管模型の根管形成	1)上顎左側第一小臼歯透明根管模型, 上顎右側中切歯, 上顎左側第一大臼歯の髄室開拓を実施する。(F-3-3)-③) 2)上顎第一小臼歯透明根管模型にステップバック形成法を実施する。(F-3-3)-③) 3)根管貼薬, 仮封を実施する(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「4. 髄室開拓」と「5. 上顎第一小臼歯透明根管模型の根管形成」を確認する。	
5月	12日	三枝 慶祐	ユニット4:下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック上での電氣的根管長測定と根管形成	1)髄室開拓と根管口明示を実施する。(F-3-3)-③) 2)電氣的根管長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 3)拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 4)根管貼薬・仮封を実施する。(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「6. 下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック上での電氣的根管長測定と根管形成」を確認する。	
5月	19日	三枝 慶祐	ユニット5:顎模型上顎右側中切歯の抜髄即時根管充填	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)抜髄, 根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 3)側方加圧充填法により根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 4)エックス線画像により根管充填を評価する。(F-2-2)-⑤) 5)仮封を実施する。(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「7. 顎模型上顎右側中切歯の抜髄即時根管充填」を確認する。	
5月	26日	関谷 美貴	ユニット6:顎模型下顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填(1)(髄室開拓から抜髄, 仮封まで)	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)電氣的根管長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 3)エックス線画像による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑤) 4)抜髄, 根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 5)根管貼薬, 仮封を実施する。(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「8. 顎模型下顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填」を確認する。	
6月	2日	関谷 美貴	ユニット7:顎模型下顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填(2)(根管の拡大形成から仮封まで)	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3)根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 4)根管貼薬, 仮封を実施する。(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「8. 顎模型下顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填」を確認する。	
6月	9日	関谷 美貴	ユニット8:顎模型下顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填(3)(根管充填)	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3)側方加圧充填法により根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 4)エックス線画像により根管充填を評価する。(F-2-2)-⑤) 5)仮封を実施する。(F-3-3)-③)
		準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「8. 顎模型下顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填」を確認する。	

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月 16日	西田 太郎	ユニット9:顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填(1)(抜髄, 仮封まで), マイクロスコープによる観察	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)電氣的根管長測定を実施する。(F-2-2)-(7)) 3)エックス線画像により作業長測定を実施する。(F-2-2)-(5)) 4)抜髄, 根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 5)根管貼薬, 仮封を実施する。(F-3-3)-③) 6)マイクロスコープにより歯髓腔を観察する。(F-2-2)-③)
	準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「9. 顎模型上顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填」と「10. マイクロスコープによる観察」を確認する。	
6月 23日	西田 太郎	ユニット10:顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填(2)(根管形成から仮封まで), マイクロスコープによる観察	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3)根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 4)根管貼薬, 仮封を実施する。(F-3-3)-③) 5)マイクロスコープにより歯髓腔を観察する。(F-2-2)-③)
	準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「9. 顎模型上顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填」と「10. マイクロスコープによる観察」を確認する。	
6月 30日	西田 太郎	ユニット11:顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填(3)(根管充填), マイクロスコープによる観察	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3)側方加圧充填法により根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 4)エックス線画像により根管充填を評価する。(F-2-2)-(5)) 5)仮封を実施する。(F-3-3)-③) 6)マイクロスコープにより歯髓腔を観察する。(F-2-2)-③)
	準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「9. 顎模型上顎左側第一大臼歯の抜髄と根管充填」と「10. マイクロスコープによる観察」を確認する。	
7月 7日	興地 隆史	ユニット12:下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック(彎曲根管)のNi-Ti製ロータリーファイルを用いた根管形成と根管充填	1)髓室開拡と根管口明示を実施する。(F-3-3)-③) 2)電氣的根管長測定を実施する。(F-2-2)-(7)) 3)Ni-Tiロータリーファイルによる根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 4)シングルポイント法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 5)仮封を実施する。(F-3-3)-③)
	準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「11. 下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック(彎曲根管)のNi-Ti製ロータリーファイルを用いた根管形成と根管充填」を確認する。	
7月 14日	村山 文康	ユニット13:顎模型下顎右側第1小臼歯の抜髄即時根管充填(実習試験)	1)適切な診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2)髓室開拡を実施する。(F-3-3)-③) 3)抜髄, 根管形成を実施する。(F-3-3)-③) 4)側方加圧充填法により根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 5)エックス線画像により根管充填を評価する。(F-2-2)-(5)) 6)仮封を実施する。(F-3-3)-③)
	準備学習内容	歯内療法学実習書(第3版)の「12. 顎模型下顎右側第一小臼歯の抜髄即時根管充填」を確認する。	

科目名

小児歯科学実習

曜日 時間

水

9:00 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

小児の歯科的諸問題に対応するために、患児の一口腔単位の診察、診断、治療計画に基づいた治療と口腔管理の実際を理解し、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

著者・編集	書名	版	出版社
苅部洋行 他編	小児歯科学基礎・臨床実習	第3版	医歯薬出版
白川哲夫 他編	小児歯科学	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

苅部洋行, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 萩原洋子, 米山博己, 石井伸明, 酒寄浩章, 鈴木淳子, 小口莉代, 内川喜盛, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 村松健司, 新見嘉邦, 亀岡 亮, 山口みなみ, 西村 歩, 出口 崇, 杉澤香恵子, 宇佐見智里, 伊藤春子, 河野 南, 千 瑛美, 合場奈美, 萩原栄和, 黒田暁洋, 林 陽佳, 増田理紗, 三宅真帆, 波多野宏美, 松崎祐樹, 三井園子, 宮山友紀, 松本紗耶, 山崎てるみ, 松尾恭子

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
- その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(30 %)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(70%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他((%))

オフィスアワー

日時:12:00~13:00

場所:100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	8日	名生 幸恵 田中 聖至	ユニット1:小児歯科学実習の基礎 1)適切な身だしなみ, 言葉づかいおよび態度を実施できる。(F-2-1)-①) 2)適切な診療姿勢が実施できる。(F-1-2)-②③) 3)歯科用器具器材の準備, 片付けができる。(F-3-1) 4)歯科用器具を安全に操作できる。(F-1-2)-①) 5)清潔に配慮した操作ができる。(F-1-2)-②) 6)ラバーダム防湿ができる。(F-3-1)-③)
		準備学習内容	3年歯科硬組織修復学実習で学んだ基礎的な技能・態度を復習する。 小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第4章p.26-32 を読む。
4月	15日	苅部 洋行	ユニット2:小児患者の医療面接・診察 1)小児患者の医療面接に必要な質問事項を述べる。(F-2-1)-③) 2)医療面接で得た情報を診療録に記載する。(F-2-1)-④) 3)口腔内状態を診察する。(F-1-1)-①) 4)口腔内状態を診療録に記載する。(F-1-1)-④) 5)医療者としての適切な態度を説明する。(F-2-1)-②⑦)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第2章p.2-10 を読む。
4月	22日	河上 智美	ユニット3:予防填塞 1)予防填塞の齲蝕予防機序を説明する。(E-4-2)-①) 2)予防填塞の種類を述べる。(E-4-2)-①) 3)予防填塞に必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-②) 4)予防填塞を実施する。(F-3-6)-②)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第12章p.97-99 および 第19章p.154-156を読む。
5月	13日	名生 幸恵	ユニット4:小児のブラッシング指導/フッ化物歯面塗布 1)小児の口腔内状況を保護者に説明する。(B-3-2)-④) 2)小児のブラッシング指導を実施する。(F-3-6)-③) 3)保護者に仕上げ磨きを説明する。(B-3-2)-③) 4)フッ化物歯面塗布を説明する。(B-3-2)-①) 5)フッ化物歯面塗布の種類を述べる。(E-4-2)-①) 6)フッ化物歯面塗布に必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-②) 7)フッ化物歯面塗布を実施する。(F-3-6)-①) 8)小児と保護者に塗布後の注意を説明する。(F-3-6)-①)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第18章 p.146-151, 第12章 p.94-97 および 第19章 p.152-154を読む。
5月	20日	名生 幸恵	ユニット5:下顎第一乳臼歯の観察および立体構築 1)下顎第一乳臼歯の展開図を作成する。(E-3-1)-②) 2)下顎第一乳臼歯の名称を列記する。(E-3-1)-②) 3)ワックス棒を用いて, 下顎第一乳臼歯を造形する。(E-3-1)-②)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第3章p.21-25 を読む。
5月	27日	岡本 亜祐子	ユニット6:乳臼歯のコンポジットレジン修復 1)ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③) 2)適切な窩洞形成を実施する。(F-3-3)-①) 3)接着システムによる歯面処理を実施する。(F-3-3)-①) 4)コンポジットレジンの充填操作を実施する。(F-3-3)-①) 5)形態修正と研磨を実施する。(F-3-3)-①)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第5章p.33-39 を読む。
6月	3日	田中 聖至	ユニット7:コンポジットレジン冠修復 1)コンポジットレジン冠修復の適応症を説明する。(E-4-2)-③) 2)コンポジットレジン冠の支台歯形成を実施する。(F-3-3)-①) 3)適切なサイズのクラウンフォームを選択する。(F-3-3)-①) 4)クラウンフォームの調整を実施する。(F-3-3)-①) 5)コンポジットレジン冠の形態修正を実施する。(F-3-3)-①)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第7章p.53-57 を読む。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	10日	岡本 亜祐子	ユニット8:乳歯のコンポジットレジン修復まとめ	1)隣接面窩洞修復の隔壁を装着する。(F-3-3)-(1) 2)隣接面齲蝕のある乳臼歯の歯冠修復を実施する。(F-3-3)-(1) 3)多歯面齲蝕のある乳前歯の歯冠修復を実施する。(F-3-3)-(1)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第5章p.33-39および 第7章p.53-57 を読む。	
6月	17日	河上 智美	ユニット9:生活歯髄切断法	1)乳歯の生活歯髄切断法の適応症を説明する。(E-4-2)-(5) 2)乳歯の解剖学的特徴を述べる。(E-3-1)-(2) 3)ラバーダム法の目的を説明する。(E-3-3)-(2)-(1) 4)ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-(3) 5)乳歯の生活歯髄切断法に使用する薬剤について説明する。(D-2)-(6) 6)乳歯の生活歯髄切断法を実施する。(F-3-3)-(3)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第6章p.40-44 を読む。	
6月	24日	田中 聖至	ユニット10:乳歯用既製金属冠修復	1)乳臼歯の解剖学的特徴を説明する。(E-3-1)-(2) 2)乳歯用既製金属冠の特徴を説明する。(E-4-2)-(3) 3)乳歯用既製金属冠の適応症を説明する。(E-4-2)-(3) 4)乳歯用既製金属冠の支台歯形成を実施する。(F-3-3)-(1) 5)乳歯用既製金属冠の調整を実施する。(F-3-3)-(1)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第7章p.45-52 を読む。	
7月	1日	河上 智美	ユニット11:乳歯の歯髄処置と既製冠修復まとめ	1)ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-(3) 2)乳歯の生活歯髄切断法を実施する。(F-3-3)-(3) 3)乳歯用既製金属冠修復を実施する。(F-3-3)-(1)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第6章p.40-44および 第7章p.45-52 を読む。	
7月	8日	苅部 洋行	ユニット12:混合歯列期の空隙分析/クラウンループ保隙装置(1)	1)混合歯列空隙分析を実施する。(F-3-6)-(4) 2)分析の結果から治療計画書を作成する。(E-4-2)-(9) 3)保隙装置の適応症を説明する。(E-4-2)-(9) 4)保護者に保隙装置の必要性を説明する。(F-4-2)-(8) 5)クラウンループ保隙装置を設計する。(F-4-2)-(8) 6)保隙装置装着時の注意点を述べる。(E-4-2)-(9) 7)保隙装置装着後の留意点を説明する。(E-4-2)-(9)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第17章p.130-137と 第9章 p.62-67 を読む。 小児歯科学第6版 第16章 p.302-308を読む。	
7月	15日	田中 聖至	ユニット13:クラウンループ保隙装置(2)	1)クラウンループ保隙装置の外形線を記入する。(E-4-2)-(9) 2)ワイヤーベンディングを実施する。(E-4-2)-(9) 3)ループワイヤーをろう着する。(E-4-2)-(9)
		準備学習内容	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第9章 p.62-67 を読む。	

科目名

小児歯科学

曜日 時間

水

13:00～14:20

本学期的到達目標(GIO)

成長発達過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。

教科書・参考書**著者・編集**

白川哲夫 他編

書名

小児歯科学

版

第6版

出版社

医歯薬出版

担当者一覧

苅部洋行, 前田美穂, 小方清和, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 岡本亜祐子, 楊 秀慶, 荻原栄和, 加藤雄一

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(70%) 論述試験(30%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:木曜日 12:00～13:00

場所:100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月 8日	名生 幸恵	ユニット1:小児の齲蝕予防	1) 齲蝕予防の基本的な考え方を説明する。(B-3-2)-(1) 2) 齲蝕発症の危険因子への対処法を記述する。(B-3-2)-(1)~(2) 3) 年齢に即した齲蝕の予防法を説明する。(B-3-2)-(4)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第11章p.162-170 を読む。	
4月 15日	河上 智美	ユニット2:小児の歯冠修復	1) 小児の歯冠修復の目的を説明する。(E-2-4)-(3) 2) 歯冠修復時に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-(2) 3) 小児期に行う歯冠修復の種類を記述する。(E-4-2)-(3) 4) 発育段階に応じた乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法を選択する。(E-3-1)-(2) 5) 小児の歯冠修復時に必要な局所麻酔法とラバーダム法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第11章p.194-212 を読む。	
4月 22日	河上 智美	ユニット3:心身障害児および全身疾患児への歯科的対応(1)	1) 障害児の特徴を説明する。(E-5-2)-(1) 2) 障害児の歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。(E-5-2)-(3)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第17章p.338-367 を読む。	
5月 13日	田中 聖至	ユニット4:心身障害児および全身疾患児への歯科的対応(2)	1) 小児の遺伝性疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-(1) 2) 遺伝性疾患のある小児の口腔内の特徴を記述する。(E-5-2)-(3) 3) 遺伝性疾患のある小児への歯科的対応と診療時の注意事項を記述する。(E-5-2)-(1)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第18章p.368-391 を読む。	
5月 20日	加藤 雄一	ユニット5:小児の歯内療法	1) 歯内療法に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-(2) 2) 乳歯歯髄疾患の診査法を記述する。(E-4-2)-(4) 3) 乳歯根尖性歯周炎の診査法を説明する。(E-4-2)-(5) 4) 乳歯と幼若永久歯に行う歯髄覆髄法、歯髄切断法、抜髄および感染根管治療の適応症と術式を記述する。(E-4-2)-(5) 5) アペキソゲネーシスの機序を説明する。(E-4-2)-(5) 6) アペキシフィケーションの機序を説明する。(E-4-2)-(5)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第11章p.212-231 を読む。	
5月 27日	前田 美穂	ユニット6:心身障害児および全身疾患児への歯科的対応(3)	1) 小児の血液疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-(1) 2) 小児の神経・筋疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-(1) 3) 歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。(E-5-2)-(3)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第18章p.391-401 を読む。	
6月 3日	苅部洋行	ユニット7:小児の咬合誘導(1)	1) 保隙の目的を説明する。(E-4-2)-(9) 2) 保隙装置の種類と適応症を記述する。(E-4-2)-(9) 3) 保隙装置の調整と管理法を説明する。(E-4-2)-(9) 4) 口腔習癖の種類と対応法を記述する。(E-4-2)-(10)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第16章p.299-314, 320-327 を読む。	
6月 10日	苅部洋行	ユニット8:小児の咬合誘導(2)	1) 乳歯列期の不正咬合の種類を記述する。(E-4-2)-(8) 2) 乳歯列期の不正咬合の対応法を説明する。(E-4-2)-(9) 3) 混合歯列期の不正咬合の種類を記述する。(E-4-2)-(9) 4) 混合歯列期の不正咬合の対応法を説明する。(E-4-2)-(9)
	準備学習内容	小児歯科学第6版 第16章p.315-319, 328-337 を読む。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	17日	小方 清和	ユニット9:心身障害児および全身疾患児への歯科的対応(4)	1)小児歯科治療時に留意すべき疾患の種類を記述する。(E-5-2)-(①) 2)小児歯科治療時に留意すべき疾患の口腔所見を説明する。(E-5-2)-(①) 3)歯科治療時に留意すべき疾患を有する小児への対応を説明する。(E-5-2)-(②)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第18章p.401-412を読む。	
6月	24日	岡本 亜祐子	ユニット10:小児の歯の外傷(1)	1)小児の歯の外傷の特徴を列記する。(E-4-2)-(⑦) 2)小児の歯の外傷の診療・検査を説明する。(E-4-2)-(⑦) 3)乳歯・永久歯の外傷の治療方針を説明する。(E-4-2)-(⑦) 4)小児の歯の外傷の予防について説明する。(E-4-2)-(⑩)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第13章p.247-257を読む。	
7月	1日	楊 秀慶	ユニット11:小児の歯の外傷(2)	1)乳歯・永久歯の外傷の処置を説明する。(E-4-2)-(⑦) 2)乳歯の外傷が後継永久歯胚へ及ぼす影響を説明する。(E-4-2)-(⑦) 3)小児の歯の外傷と小児虐待との関連を説明する。(E-4-2)-(⑩)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第13章p.247-257を読む。	
7月	8日	岡本 亜祐子	ユニット12:外科的処置および顎関節症	1)局所麻酔と乳歯抜去時の偶発症を説明する。(E-1-4)-(③)-(⑤) 2)乳歯抜去の適応症と禁忌症を説明する。(E-1-5)-(①) 3)乳歯抜去の術式を説明する。(E-1-5)-(③) 4)小児の薬理学的特性を記述する。(C-6-3)-(②) 5)小児の顎関節症の疫学的特徴,臨床的特徴およびその管理について説明する。(E-2-4)-(7)-(②)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第15章p.287-298および 第14章p.278-286を読む。	
7月	15日	荻原 栄和	ユニット13:小児の臨床口腔管理と地域口腔保健	1)保護者と小児に対する保健指導を述べる。(B-3-2)-(④) 2)乳幼児歯科健診の内容を説明する。(B-3-2)-(④) 3)学校歯科健康診断の基本的方法を述べる。(B-3-2)-(④) 4)思春期に配慮すべき健康問題を述べる。(B-3-2)-(④)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第11章p.170-184を読む。	

科目名

歯科麻酔・救急処置

曜日 時間

水 14:30 ~ 15:50

本学期的到達目標(GIO)

患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
古屋英毅 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
一戸達也 監修	歯科麻酔学	第9版	医歯薬出版

担当者一覧

砂田勝久, 塩谷伊毅, 小谷田貴之, 酒井有沙, 島村直宏, 大橋 誠

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(70 %)
 論述試験(30 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他(不正行為 [減点式])

オフィスアワー

日時: 講義終了後 16:00~17:00
 場所: 100周年記念館5階 歯科麻酔学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 8日	砂田 勝久	ユニット1:ペインコントロールの位置づけ, 歯科治療に必要な神経系の基礎	1) ペインコントロール法を述べる。(E-1-4)-(3)-(1) 2) 神経系を分類する。(C-3-4)-(5)-(1) 3) 痛覚伝導路を説明する。(C-3-4)-(5)-(1) 4) 末梢神経の興奮伝導を説明する。(C-3-4)-(5)-(8)
	準備学習内容	歯科麻酔学第9版p1-21の要点を確認する。	
4月 15日	酒井 有沙	ユニット2:局所麻酔(1)	1) 局所麻酔の目的(適応)を述べる。(E-1-4)-(3)-(1) 2) 局所麻酔薬の構造, 分類, 作用機序を述べる。(E-1-4)-(3)-(2) 3) 局所麻酔薬の作用に影響を与える因子を説明する。(E-1-4)-(3)-(3) 4) 局所麻酔薬の全身的作用を説明する。(E-1-4)-(3)-(5)
	準備学習内容	歯科麻酔学第9版p94-105の要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	22日	酒井 有沙	ユニット3:局所麻酔(2)	1) 各種歯科用局所麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(3)-(2) 2) 表面麻酔薬を説明する。(E-1-4)-(3)-(2) 3) 血管収縮薬含有の目的を述べる。(E-1-4)-(3)-(4) 4) 血管収縮薬の種類と薬理作用を説明する。(E-1-4)-(3)-(4) 5) 血管収縮薬含有局所麻酔薬の使用上の注意点を述べる。(E-1-4)-(3)-(4)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p106-121の要点を確認する。	
5月	13日	酒井 有沙	ユニット4:局所麻酔(3)	1) 口腔内の痛点, 骨小孔の分布を述べる。(C-3-4)-(6)-(4) 2) 上顎神経, 下顎神経の走行を述べる。(C-3-4)-(5)-(1) 3) 表面麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5) 4) 浸潤麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5) 5) 伝達麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5) 6) 局所麻酔に用いる器具を説明する。(E-1-4)-(3)-(5) 7) 局所麻酔の局所的偶発症を列挙する。(E-1-4)-(3)-(5) 8) 局所麻酔の局所的偶発症の予防法と対処法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p121-136の要点を確認する。	
5月	20日	塩谷 伊毅	ユニット5:局所麻酔の全身的偶発症(1)	1) 歯科診療時の患者の全身状態を評価するためにバイタルサインを説明する。(E-1-4)-(1)-(1) 2) 血管迷走神経反射を説明する。(E-1-6)-(1) 3) 血管迷走神経反射の予防法と対処法を述べる。(E-1-6)-(1) 4) 過換気症候群を説明する。(E-1-6)-(1) 5) 過換気症候群の予防法と対処法を述べる。(E-1-6)-(1)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p62-67, 439-445の要点を確認する。	
5月	27日	塩谷 伊毅	ユニット6:局所麻酔の全身的偶発症(2)	1) 局所麻酔薬中毒を説明する。(E-1-6)-(1) 2) 局所麻酔薬中毒の予防法と対処法を述べる。(E-1-6)-(1) 3) アナフィラキシーを説明する。(E-1-6)-(1) 4) 局所麻酔薬アレルギーとその対処法を述べる。(E-1-6)-(1) 5) 薬物アレルギーテストを説明する。(E-1-3)-(2) 6) メトヘモグロビン血症とその対処法を述べる。(E-1-6)-(1)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p445-455の要点を確認する。	
6月	3日	小谷田 貴之	ユニット7:歯科診療時の患者評価と管理法(1)	1) 高血圧患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 2) 虚血性心疾患患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 3) 不整脈患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 4) 心臓弁膜症患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 5) 心不全患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p33-43, 51-62, 281-300の要点を確認する。	
6月	10日	小谷田 貴之	ユニット8:歯科診療時の患者評価と管理法(2)	1) 脳血管障害患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 2) 抗血栓療法患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 3) 向精神薬内服患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 4) 気管支喘息患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 5) 慢性閉塞性肺疾患患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p274-281, 300-310, 336-342の要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	17日	小谷田 貴之	ユニット9: 歯科診療時の患者評価と管理法(3)	1) 糖尿病患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 2) 甲状腺機能亢進症患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 3) 肥満患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 4) 肝疾患患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 5) 腎疾患患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2) 6) 妊婦の管理上の注意点を述べる。(E-6)-(3) 7) 歯科治療時に問題となる常用薬を述べる。(E-1-6)-(2)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p310-328, 337-351の要点を確認する。	
6月	24日	大橋 誠	ユニット10: 心肺蘇生法	1) 救命の連鎖を説明する。(E-1-6)-(2) 2) 臨床的心停止を説明する。(E-1-6)-(2) 3) 胸骨圧迫を説明する。(E-1-6)-(2) 4) 気道確保法を説明する。(E-1-6)-(2) 5) 人工呼吸を説明する。(E-1-6)-(2) 6) 自動体外式除細動器の適応を説明する。(E-1-6)-(2) 7) 二次救命処置を説明する。(E-1-6)-(2)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p465-480の要点を確認する。	
7月	1日	島村 直宏	ユニット11: 救急処置と救急薬	1) 気道閉塞の症状を述べる。(E-1-6)-(2) 2) 基本的救急薬とその適応を述べる。(E-1-6)-(3) 3) ショックを説明する。(E-6)-(1)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p456-480の要点を確認する。	
7月	8日	塩谷 伊毅	ユニット12: 精神鎮静法の概要と笑気吸入鎮静法	1) 精神鎮静法の定義を述べる。(E-1-4)-(2)-(1) 2) 鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-(1) 3) 鎮静法を分類する。(E-1-4)-(2)-(1) 4) 笑気吸入鎮静法を説明する。(E-1-4)-(2)-(2) 5) 亜酸化窒素の特徴を述べる。(E-1-4)-(2)-(2) 6) 笑気吸入鎮静法の利点と欠点を述べる。(E-1-4)-(2)-(2) 7) 笑気吸入鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-(2) 8) 笑気吸入鎮静法の周術期管理を述べる。(E-1-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p137-147の要点を確認する。	
7月	15日	塩谷 伊毅	ユニット13: 静脈内鎮静法	1) 静脈内鎮静法を説明する。(E-1-4)-(2)-(3) 2) 静脈内鎮静法に使用する薬物とその特徴を述べる。(E-1-4)-(2)-(3) 3) 静脈内鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-(3) 4) 鎮静レベルの評価法を述べる。(E-1-4)-(2)-(4) 5) 静脈内鎮静法の周術期管理を述べる。(E-1-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p147-168の要点を確認する。	

科目名

部分床義歯補綴学

曜日 時間

水 16:00～17:20

金 14:30～15:50

本学期的到達目標(GIO)

部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
志賀 博・横山敦郎・前川賢治 編	歯学生のパーシャルデンチャー	第7版	医歯薬出版
大久保力廣・岡崎定司・馬場一美・山下秀一郎・横山敦郎	パーシャルデンチャーテクニック	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山 洋, 金子いつか

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(50%)
 論述試験(30%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他(中間テスト(20%))

オフィスアワー

日時:木曜日 17:20～18:00
 場所:4階 歯科補綴学第1講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	8日	隅田 由香	ユニット1:部分床義歯の定義・分類	<ol style="list-style-type: none"> 1)部分床義歯補綴の目的と臨床的意義について説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 2)部分床義歯の選択に関わる諸因子を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 3)ブリッジと部分床義歯の長所と短所を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 4)残存歯と欠損部の位置関係による分類を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 5)咬合支持による分類を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 6)分類に基づいた部分床義歯の診断の意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(5)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 12~17, 51, 57~66頁, パーシャルデンチャーテクニック 1~10頁を読み, 要点を確認する。	
4月	10日	秋山 洋	ユニット2:歯の欠損に伴う形態と機能の変化・部分床義歯の構成要素	<ol style="list-style-type: none"> 1)歯の欠損に伴って生じる顎堤の変化を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 2)咀嚼系の形態と機能の変化を説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 3)補綴治療の意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(1) 4)歯の欠損に継発する症候について説明する。(E-3-4)-(2)-(1) 5)部分床義歯の構成要素を述べる。(E-3-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 12, 13, 31~36, 52~56, 67~82頁, パーシャルデンチャーテクニック 1~4, 10~13, 18~22頁を読み, 要点を確認する。	
4月	15日	上杉 華子	ユニット3:支台装置①	<ol style="list-style-type: none"> 1)支台装置の目的と要件を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 2)支台装置の構造と機能を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 3)直接維持装置と間接維持装置の違いを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4)支台装置の働き方について説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 5)クラスプの種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 6)クラスプの形態による分類を述べる。(E-3-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 83~90頁, パーシャルデンチャーテクニック 14~18, 84~88頁を読み, 要点を確認する。	
4月	17日	上杉 華子	ユニット4:支台装置②	<ol style="list-style-type: none"> 1)クラスプの製作法または使用材料による分類を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 2)キャストクラスプの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 3)キャストクラスプの形態を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 4)キャストクラスプに必要なとされる要件を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 5)ワイヤークラスプの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 6)ワイヤークラスプの形態を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 7)ワイヤークラスプに必要なとされる要件を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 83~90頁, パーシャルデンチャーテクニック 14~18, 89~100頁を読み, 要点を確認する。	
4月	22日	横山 正起	ユニット5:アタッチメント	<ol style="list-style-type: none"> 1)アタッチメントの分類を列記する。(E-3-4)-(2)-(4) 2)アタッチメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 3)クラスプとの相違点を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4)歯冠外アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 5)歯冠内アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 6)歯根アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 7)パーアタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 8)磁性アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 9)オーバーデンチャーを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 90~93, 244~253頁, パーシャルデンチャーテクニック 153~161頁を読み, 要点を確認する。	
4月	24日	小見野 真梨恵	ユニット6:連結装置	<ol style="list-style-type: none"> 1)連結装置の目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 2)上顎に应用される連結装置の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 3)下顎に应用される連結装置の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 4)上下顎に应用される連結装置の適応症を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 5)小連結装置について説明する。(E-3-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 94~100頁, パーシャルデンチャーテクニック 101~112頁を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	1日	隅田 由香	ユニット7: 診察・治療計画の立案	1) 部分床義歯患者の初診時において必要とされる診査項目を列挙する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 診査結果の臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 合理的な治療計画の立案法について述べる。(E-3-4)-(2)-(5)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 108～126頁, パーシャルデンチャーテクニク 24～26頁を読み, 要点を確認する。	
5月	8日	横山 正起	ユニット8: 治療計画・設計(義歯の動き)	1) 診査・診断から治療計画立案までの流れを説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 咬合, 欠損様式, 支台歯の状態が治療計画に及ぼす影響を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 審美性, 口腔内感覚, 発音, 衛生状態が治療計画に及ぼす影響を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 4) 治療計画に影響を及ぼす因子について, その対処法を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 5) 義歯の動きを説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 6) 支台歯間線と維持線を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 7) 近心レストと遠心レストの違いを説明する。(E-3-4)-(2)-(5)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 127～130, 135～137, 179～190頁, パーシャルデンチャーテクニク 18～22, 78～83頁を読み, 要点を確認する。	
5月	13日	金子 いつか	ユニット9: サベイング・前処置	1) 部分床義歯の着脱方向に関連するアンダーカットを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 2) サベイングの目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) サベイヤの構造を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 4) サベイングの手順を具体的に説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 5) 前処置の意義と目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 6) 前処置の種類と方法を列挙する。(E-3-4)-(2)-(5) 7) 咬合平面の修正方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(5)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 131～135, 138～151, 179頁, パーシャルデンチャーテクニク 28～29, 40～43, 75～78頁を読み, 要点を確認する。	
5月	20日	小見野 真梨恵	ユニット10: 印象採得	1) 欠損状態や支持形式の違いによる各種印象採得法について, その意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 粘膜への圧力別および機能的印象法について説明する。(E-3-4)-(2)-(6) 3) 各種印象材の特徴を列挙する。(E-3-4)-(2)-(6) 4) 印象採得時の手順を述べる。(E-3-4)-(2)-(6) 5) 印象採得時の留意点について述べる。(E-3-4)-(2)-(6)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 152～163頁, パーシャルデンチャーテクニク 26～27, 44～54, 113～114頁を読み, 要点を確認する。	
5月	22日	小見野 真梨恵	ユニット11: まとめ	1) 前期学習前半の内容を整理・再確認し, 学習内容の習熟度を評価する。
		準備学習内容	ユニット1～10の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	
5月	27日	小見野 真梨恵	ユニット12: 中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を評価する。
		準備学習内容	ユニット1～11の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	
5月	29日	金子 いつか	ユニット13: 咬合採得・咬合器付着	1) 上下顎顎間関係の記録について, その種類と方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) フェイスボウトランスファーの臨床的意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 3) 咬合器の使用目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 4) 咬合器の種類と特徴を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 5) 咬合器の調整方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8)
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 37～50, 164～170, 174～178頁, パーシャルデンチャーテクニク 55～64, 67～74頁を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	3日	秋山 洋	ユニット14:人工歯排列・試適	1)人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 2)人工歯の選択方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 3)下顎人工歯排列法を述べる。(E-3-4)-(2)-(10)) 4)歯肉形成を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)) 5)蠟義歯の試適を説明する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 37~42, 170~174, 199~204頁, パーシャルデンチャーテクニック 65~66, 115~123頁を読み, 要点を確認する。	
6月	5日	秋山 洋	ユニット15:埋没・重合	1)埋没前の前準備について述べる。(E-3-4)-(2)-(11)) 2)各種フラスコ埋没法の違いを述べる。(E-3-4)-(2)-(11)) 3)義歯の重合法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 205~211頁, パーシャルデンチャーテクニック 124~135頁を読み, 要点を確認する。	
6月	10日	上杉 華子	ユニット16:装着・管理	1)装着時の留意事項を列挙する。(E-3-4)-(2)-(13)) 2)装着時の調整法を述べる。(E-3-4)-(2)-(13)) 3)リコール時の診査項目を列挙する。(E-3-4)-(2)-(14)) 4)装着後に予測される不快事項の種類ならびにその対処法について説明する。(E-3-4)-(2)-(14))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 212~218頁, パーシャルデンチャーテクニック 136~142頁を読み, 要点を確認する。	
6月	12日	横山 正起	ユニット17:顎機能障害・睡眠時無呼吸症候群	1)顎機能障害について説明する。(E-2-4)-(7)-(1)) 2)顎機能障害に対し用いる装置について説明する。(E-2-4)-(7)-(1)) 3)睡眠時無呼吸症候群について説明する。(E-2-4)-(11)-(6)) 4)睡眠時無呼吸症候群に対し用いる装置について説明する。(E-2-4)-(11)-(6))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 34~36頁を読み, 要点を確認する。	
6月	17日	小見野 真梨恵	ユニット18:部分床義歯の修理	1)リラインとリベースを説明する。(E-3-4)-(2)-(14)) 2)義歯床破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)) 3)人工歯破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)) 4)支台装置破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)) 5)義歯の修理法を説明する。(E-3-4)-(2)-(14))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 225~234頁, パーシャルデンチャーテクニック 143~152頁を読み, 要点を確認する。	
6月	19日	隅田 由香	ユニット19:特殊な義歯①	1)金属床義歯の特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 2)フレームワークの各部の名称について説明する。(E-3-4)-(2)-(5)) 3)フレームワークの製作手順, 試適について説明する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4)オーバーデンチャーの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 5)ノンメタルクラスプデンチャーの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 6)テレスコープデンチャーの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 93, 104, 105, 191~198, 244~248頁, パーシャルデンチャーテクニック 101~112, 162~165頁を読み, 要点を確認する。	
6月	24日	隅田 由香	ユニット20:特殊な義歯②	1)顎顔面補綴に用いる装置について説明する。(E-5-1)-(8)) 2)舌接触補助床について説明する。(E-5-1)-(8)) 3)スピーチエイドについて説明する。(E-5-1)-(8)) 4)軟口蓋挙上装置について説明する。(E-5-1)-(8))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 261~269頁を読み, 要点を確認する。	
6月	26日	小見野 真梨恵	ユニット21:下顎運動と咀嚼能力・口腔機能低下症	1)下顎運動の検査法について説明する。(E-3-4)-(2)-(7)) 2)筋電図について説明する。(E-5-1)-(3)) 3)咀嚼能力の検査法について説明する。(E-5-1)-(3)) 4)口腔機能低下症について説明する。(E-5-1)-(3))
		準備学習内容	歯学生のパーシャルデンチャー 22~24, 122~123頁を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
7月	1日	小見野 真梨恵	ユニット22:まとめ①	1)学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。
		準備学習内容	前期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
7月	3日	小見野 真梨恵	ユニット23:まとめ②	1)学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。
		準備学習内容	前期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
7月	8日	小見野 真梨恵	ユニット24:まとめ③	1)学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。
		準備学習内容	前期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
7月	10日	上杉 華子	ユニット25:問題演習①	1)学習内容を再確認し、問題に解答できるようにするために、今まで学んだ知識を応用する。
		準備学習内容	前期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	
7月	15日	上杉 華子	ユニット26:問題演習②	1)学習内容を再確認し、問題に解答できるようにするために、今まで学んだ知識を応用する。
		準備学習内容	前期の講義内容の資料と教科書を読み、要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	9日	内川 喜盛	ユニット1:障害者歯科の概念	1) 障害を説明する。(B-1-①) 2) 国際生活機能分類(ICF)を説明する。(B-1-①) 3) 福祉からみた障害の分類を列記する。(B-2-2)-⑤) 4) ノーマライゼーションの概念を述べる。(B-2-2)-⑦) 5) 障害者歯科の特性を説明する。(B-2-2)-⑤)
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp2-22を予習する。	
4月	16日	大島 克郎	ユニット2:障害児・者の社会保障	1) 障害児・者に関する法制度を説明する。(B-2-2)-③) 2) 障害児・者に関する社会保障制度の概要を説明する。(B-2-2)-③) 3) 障害児・者を対象とした歯科保健医療連携および関係職種について説明する。(B-2-2)-⑧)
		準備学習内容	事前配付の講義スライド資料を確認する。	
4月	23日	加藤 雄一	ユニット3:発達障害	1) 発達障害の分類とその生物・心理・社会的特徴を説明する。(E-5-2)-①) 2) 発達障害のある者への対応法を説明する。(E-5-2)-②) 3) 発達障害のある者への歯科治療上の留意点を説明する。(E-5-2)-③)
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp40-57を予習する。	
4月	30日	亀岡 亮	ユニット4:運動・感覚障害	1) 運動障害とその原因疾患を説明する。(E-5-2)-①) 2) 感覚障害とその原因疾患を説明する。(E-5-2)-②) 3) 運動・感覚障害のある者への歯科治療上の留意点を説明する。(E-5-2)-③)
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp58-119を予習する。	
5月	7日	高島 良代	ユニット5:コミュニケーション機能の発達と障害	1) コミュニケーション機能の発達について説明する。(E-5-2)-①) 2) 心理発達について説明する。(E-5-2)-①) 3) 発達レベルを評価する。(E-5-2)-①) 4) ことばの発達について説明する。(E-5-2)-①) 5) コミュニケーション機能の障害について説明する。(E-2-4)-③)
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp40-55およびp120-122を予習する。	
5月	14日	田村 文誉	ユニット6:発達期における摂食嚥下障害	1) 摂食嚥下機能に関する解剖学的・生理学的基礎知識について、小児と成人の違いを比較する。(E-5-2)-⑥) 2) 摂食嚥下機能の発達について述べる。(E-5-2)-⑥) 3) 摂食嚥下障害の原因について分類する。(E-5-2)-⑥) 4) 摂食嚥下障害の疾患別特徴と症状について説明する。(E-5-2)-⑥)
		準備学習内容	教科書 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 第2版(新版)のp50~58, p100~111を予習する。	
5月	21日	町田 麗子	ユニット7:障害児・者の摂食機能療法	1) 摂食嚥下機能の評価方法を応用する。(E-5-2)-⑤) 2) 外部観察評価に熟練する。(E-5-2)-⑤) 3) 嚥下造影検査を評価する。(E-5-2)-⑤) 4) 嚥下内視鏡検査を評価する。(E-5-2)-⑤) 5) 間接訓練と直接訓練を列記する。(E-5-2)-⑤)
		準備学習内容	教科書 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 第2版(新版)のp100-111, p166-169を予習する。	
5月	28日	石井 隆資	ユニット8:心身相関と精神疾患	1) 心と体の関連を述べる。(E-5-3)-①④⑤) 2) うつ病の特徴を列記する。(E-6)-②) 3) 統合失調症の特徴を列記する。(E-6)-②) 4) 不安障害を説明する。(E-5-3)-⑤) (E-6)-②) 5) 摂食障害を説明する。(E-5-3)-②) (E-6)-②)
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp147-162を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	4日	山崎てるみ	ユニット9: 歯科治療時に配慮すべき症候群と合併症	1) 歯科治療時に配慮すべき症候群を列挙する。(E-5-2)-① 2) 歯科治療時に配慮すべき症候群の歯科的特徴を述べる。(E-5-2)-① 3) 歯科治療時に配慮すべき症候群の合併症を述べる。(E-5-2)-① 4) 歯科治療時に配慮すべき症候群への対応を述べる。(E-5-2)-①
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp168-200を予習する。	
6月	11日	村松 健司	ユニット10: 行動調整と歯科治療 その1	1) 行動調整の基本的な考え方を説明する。(E-5-2)-②③ 2) 薬物を用いない行動調整を説明する。(E-5-2)-② 3) 行動療法による行動調整を説明する。(E-5-2)-② 4) 抑制法による行動調整を説明する。(E-5-2)-②
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp208-244, p277-298を予習する。	
6月	18日	阿部 恵一	ユニット11: 行動調整と歯科治療 その2	1) 薬物を用いる行動調整を説明する。(E-1-4)-(1)-⑤⑥,E-5-2)-② 2) 吸入鎮静法による行動調整を説明する。(E-1-4)-(2)-②,E-5-2)-①②③ 3) 静脈内鎮静法による行動調整を説明する。(E-1-4)-(2)-③,E-5-2)-①②③ 4) 全身麻酔による行動調整を説明する。(E-1-4)-(4)①②③,E-5-2)-①②③
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp245-276を予習する。	
6月	25日	白瀬 敏臣	ユニット12: 障害児の口腔の健康支援	1) 障害児の口腔の健康を妨げる要因を列記する。(E-5-2)-④ 2) セルフケアにおける効果的なブラッシング指導法を説明する。(E-5-2)-④ 3) 介助による口腔ケアの問題点と対応策を説明する。(E-5-2)-④ 4) プロフェッショナルケアを分類し、その特徴を説明する。(E-5-2)-④ 5) 疾患に応じた口腔ケアの特徴を説明する。(E-5-2)-④
		準備学習内容	教科書 スペシャルニーズデンティストリー—障害者歯科のp229-236を予習する。	
7月	2日	梅津糸由子	ユニット13: 小児在宅歯科診療と歯科医療連携	1) 小児在宅歯科医療の診療を説明する。(E-5-2)-②, E-5-2)-③, (E-5-2)-④, E-5-2)-⑤ 2) 小児在宅療養児の歯科治療時の留意点を説明する。(E-5-2)-②, E-5-2)-③, (E-5-2)-④, E-5-2)-⑤ 3) 地域における障害児・者への歯科医療連携および歯科診療を説明する。(A-5-1)-③, (A-5-1)-④E-5-2)-②, E-5-2)-③, (E-5-2)-④
		準備学習内容	小児在宅歯科医療の手引き p14-63を予習する。	

科目名

口腔インプラント学

曜日 時間

木 10:30~11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯の欠損部に対する補綴法の一つであるインプラント治療を理解するために、基礎および臨床科目で修得した知識をもとにインプラントの基本的事項を修得し、臨床例を通して治療の内容を知る。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
赤川安正 他 編	よくわかる口腔インプラント学	第4版	医歯薬出版
公益社団法人日本口腔インプラント学会編	口腔インプラント学実習書	第2版	永末出版

担当者一覧

柳井智恵, 小倉 晋, 築瀬麻衣子, 是澤和人, 川上紗和子, 松野智宣, 秋山仁志, 井出吉昭, 佐藤 聡

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(65 %)
 論述試験(35 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 2026年4月9日~2026年7月2日までの第2, 第4水曜日 17:00~18:00
 場所: 附属病院6階 口腔インプラント診療科・カンファレンス室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 9日	柳井 智恵	ユニット1: インプラント学 総論 概要	1)インプラント治療の意義と特徴を述べる。(E-3-4)-(3)-①) 2)インプラントの種類を列記する。(E-3-4)-(3)-①) 3)インプラント材料の種類と特性を説明する。(D-2-⑤) 4)インプラント表面性状の種類を列記する。(D-2-⑤) 5)オッセオインテグレーションについて説明する。(E-3-4)-(3)-①) 6)インプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-①)
	準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p1-8, 13-15, 19-25, 54-62, 134-139の要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	16日	井出 吉昭	ユニット2:インプラント治療のための解剖	1)顎骨の部位の名称を列記する。(E-2-1)-(2) 2)有歯顎と無歯顎の形態学的特徴を説明する。(E-2-1)-(2) 3)顎骨の内部と周囲を走行する脈管を説明する。(E-2-1)-(4) 4)顎骨の内部と周囲を走行する神経を説明する。(E-2-1)-(5)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p37-50の要点を確認する。	
4月	23日	松野 智宣	ユニット3:骨リモデリングと骨再生	1)抜歯後の歯槽骨の形態変化を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 2)骨のリモデリングを説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 3)インプラント埋入に必要な骨造成法を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 4)骨造成に用いる骨移植材を列記する。(D-2)-(5) 5)骨補填材の特徴を比較する。(D-2)-(5)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p31-36, 66-70の要点を確認する。	
4月	30日	築瀬 麻衣子	ユニット4:診察・検査	1)インプラントの治療手順を述べる。(E-3-4)-(3)-(4) 2)局所および全身検査を述べる。(E-3-4)-(3)-(3) 3)適応症および禁忌症を述べる。(E-3-4)-(3)-(2) 4)診断用セットアップ, 診断用ステントの意義を述べる。(E-3-4)-(3)-(4) 5)インプラント治療のための画像検査法を列記する。(E-3-4)-(3)-(4)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p9-12, 16-18, 71-90, 96-105の要点を確認する。	
5月	7日	小倉 晋	ユニット5:治療計画の立案	1)インプラント補綴の設計で考慮すべき生体力学的要素を説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 2)上部構造の種類, 設計, 固定方法を説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 3)インプラント体の選択, 埋入位置と方向決定を説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 4)デジタル技術を利用したインプラント治療のワークフローを説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 5)治療計画とインフォームドコンセントを説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 6)インプラントの成功基準を列挙する。(E-3-4)-(3)-(4) 7)インプラントの治療成績を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版26-30, 90-95, 106-133, 140-144, 266-267の要点を確認する。	
5月	14日	小倉 晋	ユニット6:インプラント体埋入手術とアバットメント連結手術	1)術前処置について述べる。(E-3-4)-(3)-(4) 2)インプラント体埋入手術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 3)コンピュータ支援手術を述べる。(E-3-4)-(3)-(5) 4)アバットメント連結手術を述べる。(E-3-4)-(3)-(5) 5)手術後の注意事項を列挙する。(E-3-4)-(3)-(5) 6)免負期間と加重時期を述べる。(E-3-4)-(3)-(5) 7)手術に関連する併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p145-170, 268-270, 285-296の要点を確認する。	
5月	21日	是澤 和人	ユニット7:インプラントの印象採得と咬合採得	1)上部構造の構成要素を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 2)インプラントの印象採得法を説明する。(E-3-4)-(3)-(6) 3)インプラントの咬合採得法を説明する。(E-3-4)-(3)-(6) 4)作業模型の製作法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p173-189, 271-273の要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	28日	川上 紗和子	ユニット8:インプラントの補綴術式	1) 暫間上部構造の目的を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 2) 暫間上部構造の製作法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 3) 上部構造の固定様式を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 4) アバットメントとインプラント体の連結機構を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 5) アバットメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p171-173, 190-202の要点を確認する。	
6月	4日	川上 紗和子	ユニット9: 上部構造の製作と装着	1) 上部構造の材質を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7) 2) 上部構造の製作法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 3) 上部構造の咬合付与を説明する。(E-3-4)-(3)-(6) 4) 上部構造の口腔内試適および装着時の注意点を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p63-65, 203-216の要点を確認する。	
6月	11日	秋山 仁志	ユニット10:インプラント補綴の臨床	1) 1 歯欠損インプラント補綴の術式を説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 2) 多数歯欠損インプラント補綴の術式を説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 3) 無歯顎に用いられる上部構造の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(4) 4) ボーンアンカードブリッジの作製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 5) インプラント・オーバーデンチャーの作製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 6) アタッチメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p217-234の要点を確認する。	
6月	18日	佐藤 聡	ユニット11:リコールとメンテナンス	1) インプラント周囲組織について述べる。(E-3-4)-(3)-(1) 2) 歯周病学的な診査法を説明する。(E-3-4)-(3)-(3) 3) インプラント周囲炎について述べる。(E-3-4)-(3)-(8) 4) 軟組織処置を説明する。(E-3-4)-(3)-(8) 5) メンテナンスの重要性を述べる。(E-3-4)-(3)-(8) 6) 支持療法を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p296-328の要点を確認する。	
6月	25日	築瀬 麻衣子	ユニット12: 上部構造に関連する併発症とその対応, 高齢者のインプラント治療	1) 上部構造に関連するトラブルの種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(7) 2) 各種トラブルの対処法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7) 3) 高齢者に対するインプラント治療の利点と欠点を説明する。(E-3-4)-(3)-(3) 4) 口腔衛生管理とメンテナンスとの重要性を述べる。(E-3-4)-(3)-(8)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p235-265の要点を確認する。	
7月	2日	柳井 智恵	ユニット13:インプラント治療の骨組織と軟組織のマネジメント, 顎顔面インプラント治療	1) 骨造成法を列記する。(E-3-4)-(3)-(5) 2) 骨再生誘導法(GBR法)を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 3) 上顎洞底挙上術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 4) 仮骨延長術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 5) スプリットクレストを説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 6) 周囲軟組織マネジメントの目的を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 7) 周囲軟組織増大術の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(5) 8) 顎顔面補綴へのインプラント応用法を説明する。(E-3-4)-(3)-(1) 9) 手術に関連する併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)
		準備学習内容	よくわかる口腔インプラント学第4版p51-53, 274-284の要点を確認する。	

科目名

全部床義歯補綴学実習

曜日 時間

木

13:00～15:50

本学期的到達目標(GIO)

無歯顎者の全部床義歯補綴に対応するため、製作の実際を修得し、あわせて臨床操作に必要な器具・材料、ならびに器械の基本的な正しい取り扱いを身につける。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**志賀 博・歯科補綴学第1
講座 編

有床義歯補綴学実習書

第9版

日本歯科大学

担当者一覧

隅田由香, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山 洋, 金子いつか, 横山正起, 石田鉄光, 中島邦久, 児玉実穂, 岡山浩美, 川名弘剛, 渡邊慧子, 寺沼樹里, 山川茉里萌, 安部結美, 亙理奈保子, 寺辺やよひ, 萩原 彰, 岩波行紀, 高草木章, 小島健一郎, 芳賀景嗣, 埴 悦郎, 荒川一郎, 田村響子, 倉持淳子, 齋藤眞子, 仁村可奈, 門田千晶

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(%) 論述試験(%) 口頭試験(40 %) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(60 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:木曜日 15:50～16:30
場所:7階 臨床基礎実習室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月 9日	隅田 由香	ユニット1:概形印象採得・ 診断用模型の製作	1)アルジネート印象材の練和を実施する。 (E-3-4)-(2)-(6)) 2)印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3)診断用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(6))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 1~18頁を読み、要点を確認する。	
4月 16日	上杉 華子	ユニット2:診断用模型上での 診査・全部床義歯の設計・ 個人トレーの設計と製作	1)診断用模型上での診査を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2)全部床義歯の外形線を理解する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3)個人トレーの外形線を理解する。(E-3-4)-(2)-(6)) 4)ブロックアウト、リリースを実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 5)トレー製作のために常温重合レジン进行操作する。 (E-3-4)-(2)-(6)) 6)個人トレーの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 19~22頁を読み、要点を確認する。	
4月 23日	小見野真梨恵	ユニット3:上顎筋圧形成・ 精密印象採得・ボクシング	1)上顎筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2)上顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3)上顎印象のボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 23~25, 27~29, 32頁を読み、要点を確認する。	
4月 30日	秋山 洋	ユニット4:下顎筋圧形成・ 精密印象採得・ボクシング	1)下顎筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2)下顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3)下顎印象のボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 23, 26~27, 29~32頁を読み、要点を確認する。	
5月 7日	中島 邦久	ユニット5:上下顎作業用模 型製作・咬合床製作	1)上下顎作業用模型の調整を実施する。 (E-3-4)-(2)-(6)) 2)上下顎基礎床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3)上下顎咬合床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 33~38頁を読み、要点を確認する。	
5月 14日	横山 正起	ユニット6:仮想咬合平面決定・ 咬合採得(垂直的顎位決定)・ フェイスボウトランスファー	1)上顎咬合床の修正を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2)仮想咬合平面決定を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3)垂直的顎位の決定を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 4)フェイスボウトランスファーを実施する。(E-3-4)-(2)-(8))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 39~49頁を読み、要点を確認する。	
5月 21日	隅田 由香	ユニット7:咬合採得(水平的 顎位決定)・咬合器の顎 路調節・平均値による上下 顎模型の咬合器付着	1)ゴシックアーチ描記法について説明する。 (E-3-4)-(2)-(7)) 2)ゴシックアーチ描記板、描記針の装着を説明する。 (E-3-4)-(2)-(7)) 3)ゴシックアーチ描記法を模倣する。(E-3-4)-(2)-(7)) 4)ゴシックアーチ描記を用いたチェックバイト法を説明 する。(E-3-4)-(2)-(8)) 5)咬合器の顎路調節法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8)) 6)排列実習のための上下顎模型と咬合床を咬合器に 付着する。(E-3-4)-(2)-(8))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 49~63頁を読み、要点を確認する。	
5月 28日	上杉 華子	ユニット8:上顎前歯部人工 歯排列	1)咬合堤唇面標示線の目的を説明する。 (E-3-4)-(2)-(7)) 2)前歯部人工歯の選択基準を説明する。 (E-3-4)-(2)-(11)) 3)上顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 64~69頁を読み、要点を確認する。	
6月 4日	小見野真梨恵	ユニット9:下顎前歯部人工 歯排列, 前歯部咬合調整	1)下顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 2)前歯部咬合調整を説明する。(E-3-4)-(2)-(10))
	準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 70~73頁を読み、要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	11日	秋山 洋	ユニット10: 下顎臼歯部人工歯排列	1) 臼歯部人工歯選択基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) 下顎法による人工歯排列を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 4) 下顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 74～77頁を読み、要点を確認する。	
6月	18日	中島 邦久	ユニット11: 上顎臼歯部人工歯排列, 咬合調整, 歯肉形成	1) 上顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 臼歯部人工歯排列時に考慮すべき事項を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 咬合調整を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 4) 歯肉形成の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 5) 歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 78～87頁を読み、要点を確認する。	
6月	25日	隅田 由香	ユニット12: 蠟義歯試適・埋没・重合・再付着・削合調整・研磨・完成義歯装着・義歯装着後の経過観察・デジタル技術を用いた義歯製作	1) 試適の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 埋没・重合法を説明実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 再付着・削合調整・研磨を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 義歯装着後の経過観察・リライン・義歯修理を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 5) デジタル技術を用いた義歯製作を説明する。
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 88～102頁を読み、要点を確認する。	
7月	2日	横山 正起	ユニット13: 口頭試問	1) 修得した知識を確認し、実習の修得度を評価する。
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 1～102頁を読み、要点を確認する。	

科目名

歯科放射線学

曜日 時間

金

9:00~10:20

本学期的到達目標(GIO)

これまでの知識に加え、歯・顎・顔面領域における特異的な疾患、放射線の人体への影響、がんの放射線治療など、臨床における様々な放射線の活用法を理解すると同時に、病院実習に向けて歯科放射線学の知識の確認を行う。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

岡野友宏 他 編

歯科放射線学

第7版

医歯薬出版

日本歯科放射線学会 編

歯科臨床における画像診断アトラス

第2版

医歯薬出版

S. Mallya & E. W. N. Lam

White & Pharoah's Oral Radiology

8th Ed.

Elsevier

有地榮一郎 他 監修

わかりやすい歯科放射線学

第3版

学建書院

担当者一覧

河合泰輔, 浅海利恵子, 神尾 崇, 永浦まどか, 岩田 洋, 林 宗廣, 柿本直也, 飯久保正弘

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(70%) 論述試験(30%) 口頭試験()% レポート()% ポートフォリオ()% シミュレーションテスト()% 実地試験()% 観察記録()% 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(()%)**オフィスアワー**

日時:木曜日, 11:50~13:00, 16:00~18:30

場所:100周年記念館3階 歯科放射線学講座(この他の時間は必ずアポイントを取ること)

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	10日	神尾 崇	ユニット1: 外傷の画像診断	1) 歯の外傷の分類を述べる。(E-2-4)-(2)-(3) 2) 歯の外傷の画像所見を述べる。(E-2-4)-(2)-(3) 3) 顎骨の外傷の分類を述べる。(E-2-4)-(2)-(3) 4) 顎骨の外傷の画像所見を述べる。(E-2-4)-(2)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科放射線学第7版)・第5章p400-405で講義内容の確認を行う。	
4月	17日	浅海利恵子	ユニット2: 唾液腺疾患の画像診断	1) 唾液腺疾患の検査法を述べる。(E-2-4)-(8) 2) 唾液腺疾患の分類を述べる。(E-2-4)-(8) 3) 唾液腺疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-(8)
		準備学習内容	教科書・第5章p353-368で講義内容の確認を行う。	
4月	24日	永浦まどか	ユニット3: 顎関節疾患の画像診断	1) 顎関節疾患の検査法を述べる。(E-2-4)-(7) 2) 顎関節疾患の分類を述べる。(E-2-4)-(7) 3) 顎関節疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-(7)
		準備学習内容	教科書・第5章p369-383で講義内容の確認を行う。	
5月	1日	河合泰輔	ユニット4: 上顎洞の画像診断	1) 上顎洞の検査法を述べる。(E-1-2)-(8), E-2-2)-(7) 2) 上顎洞にみられる疾患の分類を述べる。 (E-2-2)-(7), E-2-4)-(3)-(6), E-2-4)-(6)-(1)(2)(3) 3) 上顎洞にみられる疾患の画像所見を述べる。 (E-2-2)-(7), E-2-4)-(3)-(6), E-2-4)-(6)-(1)(2)(3)
		準備学習内容	教科書・第5章p384-399で講義内容の確認を行う。	
5月	8日	飯久保正弘	ユニット5: 系統疾患の画像診断	1) 系統疾患の分類を述べる。(E-2-4)-(10)-(6) 2) 系統疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-(10)-(6)
		準備学習内容	教科書・第5章p406-420で講義内容の確認を行う。	
5月	22日	神尾 崇	ユニット6: 加齢に伴う変化とForeign Body	1) 加齢に伴う正常画像の変化と異所性石灰化物の画像所見を述べる。(E-1-2)- (7)(8)(9) 2) 皮下気腫などの緊急時の画像所見を述べる。 (E-1-2)- (7)(8)(9) 3) 器具破折時の画像検査について述べる。 (E-1-2)- (7)(8)(9)
		準備学習内容	教科書・第5章p429-434で講義内容の確認を行う。	
5月	29日	林 宗廣	ユニット7: 医療画像情報の管理と取り扱い	1) 病院における医療情報の種類を列記する。 (E-1-2)-(5) 2) 医療情報の取り扱いについて説明する。(E-1-2)-(5) 3) 画像と他の医療情報の相互性について説明する。 (E-1-2)-(5)
		準備学習内容	教科書・第4章p228-232で講義内容の確認を行う。	
6月	5日	岩田 洋	ユニット8: 口内法エックス線撮影の実際	1) 実際の撮影風景の動画を提示し、口内法撮影について必要な知識を系統的に説明する。 (E-1-2)-(6), F-2-2)-(5)
		準備学習内容	教科書・第4章p93-109で講義内容の確認を行う。	
6月	12日	神尾 崇	ユニット9: 三次元画像の歯科臨床における具体的な応用方法	1) CT, MRIなどの三次元画像データの特徴を述べる。 (E-1-2)-(9) 2) 三次元画像データの歯科臨床における具体的な応用方法について述べる。(E-1-2)-(9)
		準備学習内容	教科書・第4章p140-147で講義内容の確認を行う。	
6月	19日	浅海利恵子	ユニット10: 放射線生物学	1) 放射線の生物学的効果を説明する。(E-1-2)-(2) 2) 放射線の細胞への影響を説明する。(E-1-2)-(2) 3) 正常組織の放射線感受性を説明する。(E-1-2)-(2) 4) 放射線障害の発現パターンを説明する。(E-1-2)-(2)
		準備学習内容	教科書・第2章p33-41で講義内容の確認を行う。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	26日	浅海利恵子	ユニット11:放射線の人体への影響	1) 確率的影響と確定的影響を分類する。(E-1-2)-(3) 2) 医療被曝, 職業被曝および公衆被曝について説明する。(E-1-2)-(3) 3) 線量限度と管理手段を記述する。(E-1-2)-(3)
		準備学習内容	教科書・第2章p42-50で講義内容の確認を行う。	
7月	3日	柿本直也	ユニット12:放射線治療	1) 放射線治療の原理を説明する。(E-2-4)-(6)-(2)(3) 2) 放射線治療の種類を説明する。(E-2-4)-(6)-(2)(3) 3) 各種放射線治療の適応を説明する。(E-2-4)-(6)-(2)(3) 4) 放射線治療の副作用について説明する。(E-2-4)-(6)-(2)(3)
		準備学習内容	教科書・第6章p453-482で講義内容の確認を行う。	
7月	10日	浅海利恵子	ユニット13:放射線防護の基本的考え方と具体的対応	1) 放射線防護における正当化・最適化を説明する。(E-1-2)-(3) 2) 線量限度と管理手段を記述する。(E-1-2)-(3) 3) エックス線検査における具体的な対応を述べる。(E-1-2)-(3)
		準備学習内容	教科書・第2章p51-62で講義内容の確認を行う。	

科目名

歯冠補綴学

曜日 時間

金

10:30～11:50

本学期的到達目標(GIO)

今まで学んだ口腔の諸機能と補綴学の概要をさらに発展させ、具体的な歯冠補綴装置の製作に当たって修得しなければならない事項について理解する。

教科書・参考書**著者・編集**

矢谷博文 他編

書名

クラウンブリッジ補綴学

版

第6版

出版社

医歯薬出版

担当者一覧

五味治徳, 上田一彦, 八田みのり, 松田哲治, 海渡智義

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(50 %) 論述試験(30 %) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(中間試験 (20 %))**オフィスアワー**

日時: 毎月第1, 第3火曜日 17:30～18:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	10日	五味 治徳	ユニット1:支台歯形成	1)補綴前処置を説明する。(E-3-3)-(1)-(4) 2)支台歯形成の概要について述べる。(E-3-4)-(1)-(4) 3)歯質・歯髄・歯周組織への配慮を説明する。 (E-3-4)-(1)-(4) 4)形成前準備を説明する。(E-3-4)-(1)-(4) 5)保持力について説明する。(E-3-4)-(1)-(1) 6)支台歯形態の要件を説明する。(E-3-4)-(1)-(1) 7)補助的保持形態を列記する。(E-3-4)-(1)-(1) 8)切削器械・器具の種類と扱い方を述べる。(D-1)-(1)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.114-125を予習する。	
4月	17日	海渡 智義	ユニット2:支台築造	1)支台築造の臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(3) 2)支台築造の方法を列記する。(E-3-4)-(1)-(3) 3)支台築造の注意点を列記する。(E-3-4)-(1)-(3) 4)支台築造用材料を列記する。(E-3-4)-(1)-(3)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.126-133を予習する。	
4月	24日	上田 一彦	ユニット3:印象採得, 圧排法(交換講義:新潟生命歯学部歯科補綴学第2講座)	1)印象採得の意義を列記する。(E-3-4)-(1)-(5) 2)印象材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 3)印象法を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(5) 4)歯肉圧排の目的を述べる。(E-3-4)-(1)-(5)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.134-144を予習する。	
5月	1日	八田みのり	ユニット4:暫間処置	1)暫間処置の臨床的意義を列記する。(E-3-4)-(1)-(7) 2)種類と製法を述べる。(E-3-4)-(1)-(7) 3)暫間修復用材料を述べる。(E-3-4)-(1)-(7) 4)仮着材の種類と利点・欠点を列記する。(D-2)-(3)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.145-150を予習する。	
5月	8日	五味 治徳	ユニット5:作業用模型・顎間関係の記録	1)作業用模型の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(9) 2)作業用模型の要件を述べる。(E-3-4)-(1)-(9) 3)作業用模型の製法を述べる。(E-3-4)-(1)-(9) 4)使用される材料を選択する。(E-3-4)-(1)-(8) 5)咬合に関する各基準平面を関係づける。 (E-3-4)-(1)-(10) 6)咬合器の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(10) 7)咬合平面板の原理を説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 8)フェイスボウ記録の原理を説明する。(E-3-4)-(1)-(10)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.151-158, 170-182を予習する。	
5月	22日	五味 治徳	ユニット6:咬合器の調節	1)咬合器の顎路の調節法を列記する。(E-3-4)-(1)-(10) 2)咬合器の種類と顎路の調節法を関係づける。 (E-3-4)-(1)-(10) 3)チェックバイト法の原理を説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 4)チェックバイト法の手順を述べる。(E-3-4)-(1)-(10)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.159-161, 182-185を予習する。	
5月	29日	五味 治徳	ユニット7:ワックスパターン形成	1)インレーワックスの種類と取り扱いを述べる。 (E-3-4)-(1)-(8) 2)分離剤の種類と意義を述べる。(E-3-4)-(1)-(8) 3)ワックスパターン形成法を列記する。(E-3-4)-(1)-(2) 4)埋没の準備とタイミングを述べる。(E-3-4)-(1)-(2)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.186-193を予習する。	
6月	5日	五味 治徳	ユニット8:中間試験	前回までの学習内容を整理・再確認する。
		準備学習内容	前回までの学習内容を整理する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	12日	松田 哲治	ユニット9:埋没	1)埋没の目的を述べる。(E-3-4)-(1)-(2) 2)埋没材の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(2) 3)埋没操作の注意事項を述べる。(E-3-4)-(1)-(2)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.194-199を予習する。	
6月	19日	松田 哲治	ユニット10: 鑄造(金属, ガラス)	1)鑄造法を列記する。(E-3-4)-(1)-(2) 2)金属融解法を述べる。(E-3-4)-(1)-(2) 3)鑄造用金属を列記する。(E-3-4)-(1)-(2) 4)鑄造収縮の補正を説明する。(E-3-4)-(1)-(2) 5)キャストブルセラミックスを説明する。(E-3-4)-(1)-(8) 6)プレスブルセラミックスを説明する。(E-3-4)-(1)-(8)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.200-203, 283-284を予習する。	
6月	26日	松田 哲治	ユニット11: 鑄造欠陥, ろう付け, 研磨	1)鑄造欠陥を識別する。(E-3-4)-(1)-(8) 2)ろう付けについて述べる。(E-3-4)-(1)-(8) 3)研磨について説明する。(E-3-4)-(1)-(8) 4)不良補綴装置の生体為害性を述べる。(E-3-4)-(1)-(1)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.204-207, 296-301を予習する。	
7月	3日	五味 治徳	ユニット12: 試適・仮着・合着・術後管理	1)試適時の検査項目を列記する。(E-3-4)-(1)-(11) 2)仮着の意義を述べる。(E-3-4)-(1)-(11) 3)合着と接着を対比する。(E-3-4)-(1)-(11) 4)術後管理の意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(12) 5)患者指導を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(13)
		準備学習内容	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.218-256を予習する。	
7月	10日	五味 治徳	ユニット13: 問題演習および解説	1)問題演習により学習内容の習熟度を評価する。
		準備学習内容	前期の講義内容を復習する。	

科目名

歯周病学

曜日 時間

金 13:00 ~ 14:20

本学期的到達目標(GIO)

歯周病学における全体像(各論)を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床に必要な基本術式の知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

担当者一覧

沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村椋悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(60 %)
 論述試験(40 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 金曜日 17:00~18:00
 場所: 100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 10日	沼部 幸博	ユニット1:歯周治療の流れ	1) 歯肉病変と歯周炎を分類する。(E-3-3)-(3)-(1) 2) 歯肉病変と歯周炎の特徴を列記する。(E-3-3)-(3)-(2) 3) 歯周病の検査の目的と方法を説明する。 (E-3-3)-(3)-(2) 4) 歯周病の診断について説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 5) 歯周治療の流れについて説明する。(E-3-3)-(3)-(2)
	準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p100-103を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	17日	倉治竜太郎	ユニット2: 歯周基本治療 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 歯周治療における、歯周基本治療の位置づけを述べる。(E-3-3-(3)-③) 2) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3-(3)-③) 3) 歯周基本治療の内容を列記する。(E-3-3-(3)-③) 4) 応急処置が必要な症状とその対応を説明する。(E-3-3-(3)-③) 5) 歯周炎罹患歯の抜歯の判定基準を説明する。(E-3-3-(3)-③) 6) 不適合充填物・補綴装置の修正と除去について説明する。(E-3-3-(3)-③)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p104-109を予習する。	
4月	24日	倉治竜太郎	ユニット3: 歯周基本治療 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 歯周治療におけるモチベーションの重要性を述べる。(E-3-3-(3)-③) 2) プラークコントロールの必要性を説明する。(E-3-3-(3)-③) 3) 手用歯ブラシを用いたブラッシング法を説明する。(E-3-3-(3)-③) 4) 補助清掃器具の使用法を説明する。(E-3-3-(3)-③) 5) 化学的プラークコントロールの種類、成分とその効果を列記する。(E-3-3-(3)-③) 6) PMTCの定義、器具・器材、注意点を列挙する。(E-3-3-(3)-③)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p110-120を予習する。	
5月	1日	倉治竜太郎	ユニット4: 歯周基本治療 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 1) スケーリング・ルートプレーニングの目的を説明する。(E-3-3-3-③) 2) スケーリング・ルートプレーニングで用いる器具と使用法を列記する。(E-3-3-3-③) 3) 手用スケーラーの構造や特徴を具体的に述べる。(E-3-3-3-③) 4) 手用スケーラーのシャープニングを説明する。(E-3-3-3-③) 5) パワードリブンスケーラーの特徴と操作法を説明する。(E-3-3-3-③) 6) スケーリング・ルートプレーニング後の偶発症を説明する。(E-3-3-3-③) 7) スケーリング・ルートプレーニングの難易度を決める因子を説明する。(E-3-3-3-③)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p120-128を予習する。	
5月	8日	村樫 悦子	ユニット5: 歯周基本治療 (4)・再評価	<ul style="list-style-type: none"> 1) 知覚過敏症の処置を説明する。(E-3-3-(3)-②) 2) 暫間固定を説明する。(E-3-3-(3)-③) 3) 咬合調整を説明する。(E-3-3-(3)-③) 4) 再評価の意義・目的を説明する。(E-3-3-(3)-②) 5) 再評価時の検査項目を説明する。(E-3-3-(3)-②) 6) 歯周ポケットの反応性を説明する。(E-3-3-(3)-②)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p128-141を予習する。	
5月	22日	五十嵐寛子	ユニット6: 歯周外科治療 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 歯周外科治療の目的を説明する。(E-3-3-3-④) 2) 歯周外科治療の適応・禁忌を説明する。(E-3-3-3-④) 3) 歯周外科器具の名称、用途を説明する。(E-3-3-3-④) 4) 切開線の種類、縫合を説明する。(E-3-3-3-④)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p142-145,148-155を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	29日	五十嵐寛子	ユニット7: 歯周外科治療 (2)	1) 組織付着療法について術式を列記し, 特徴を説明する。(E-3-3)-3-(4) 2) 切除療法について術式を列記し, 特徴を説明する。(E-3-3)-3-(4) 3) 組織付着療法・切除療法の治癒過程を説明する。(E-3-3)-3-(5)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p142-145,148-155を予習する。	
6月	5日	関野 愉	ユニット8: 歯周外科治療 (3)	1) 歯周組織再生療法の基本について述べる。(E-3-3)-(3)-(2), (3) 2) 歯周組織再生療法の創傷治癒過程を説明する。(E-3-3)-(3)-(5) 3) 歯周組織再生療法を分類する。(E-3-3)-(3)-(2)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p146-147,156-169を予習する。	
6月	12日	関野 愉	ユニット9: 歯周外科治療 (4)	1) GTR法, GBR法について説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 2) エナメルマトリックスタンパク質および成長因子を応用した再生療法について説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 3) 骨移植術について説明する。(E-3-3)-(3)-(2)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p146-147,156-169を予習する。	
6月	19日	倉治竜太郎	ユニット10: 歯周外科治療 (5)	1) 根分岐部病変の病態について説明する。(E-3-3)-2-(3) 2) 根分岐部病変のリスクファクターを説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 3) 根分岐部病変の検査と診断を説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 4) 根分岐部病変の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-(2)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p177-181を予習する。	
6月	26日	倉治竜太郎	ユニット11: 歯周外科治療 (6)	1) 根分岐部病変の治療法を列記する。(E-3-3)-(3)-(2) 2) 歯根の保存療法と切除療法を分類する。(E-3-3)-(3)-(4) 3) 歯根の保存療法を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 4) 歯根の切除療法を説明する。(E-3-3)-(3)-(4)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p177-181を予習する。	
7月	3日	伊藤 弘	ユニット12: 歯周外科治療 (7)	1) 歯周形成手術の概念を説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 2) 歯周形成手術の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-(3) 3) 歯周形成手術の適応症を列記する。(E-3-3)-(3)-(3) 4) 歯周形成手術の禁忌症を列記する。(E-3-3)-(3)-(3) 5) 歯周形成手術の術式を述べる。(E-3-3)-(3)-(4)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p170-176を予習する。	
7月	10日	関野 愉	ユニット13: 口腔機能回復 治療とメンテナンス	1) 歯周病患者における矯正治療について説明する。(E-3-3)-(3)-(3) 2) 歯周病患者における修復, 補綴治療について説明する。(E-3-3)-(3)-(3) 3) インプラント周囲組織の特徴を説明する。(E-3-4)-(3)-(4) 4) インプラント周囲病変を説明する。(E-3-4)-(3)-(8) 5) メンテナンスとSPTの意義と目的について説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 6) リコールシステムについて説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 7) メンテナンス来院時の検査と治療について説明する。(E-3-3)-(3)-(2)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p182-193を予習する。	

後学期授業科目

総合基礎歯学〔微生物学〕	64
総合基礎歯学〔歯科理工学〕	66
総合基礎歯学〔口腔衛生学〕	68
総合臨床歯学〔歯内療法学〕	71
総合基礎歯学〔解剖学〕	73
総合基礎歯学〔組織学〕	75
総合基礎歯学〔病理学〕	77
総合基礎歯学〔生化学〕	79
総合基礎歯学〔生理学〕	81
総合基礎歯学〔薬理学〕	83
統合臨床基礎学実習	85
歯周病学実習	88
総合臨床歯学〔歯周病学〕	91
総合臨床歯学〔小児歯科学〕	94
歯冠補綴学実習	97
総合臨床歯学〔歯科矯正学〕	100
部分床義歯補綴学実習	103
総合臨床歯学〔口腔外科学〕	106
歯科麻酔・救急処置	109
総合臨床歯学〔歯科硬組織修復学〕	112
口腔外科の基本手技実習	114

(計 21科目)

Microbiology and Infection	64
Dental Materials Science	66
Oral Health	68
Endodontics	71
Anatomy	73
Human Histology	75
Pathology	77
Biochemistry	79
Physiology	81
Pharmacology	83
Integrative Clinical Fundamental Practice	85
Laboratory Practice in Periodontics	88
Periodontics	91
Pediatric Dentistry	94
Practice of Crown & Bridge Prosthodontics	97
Orthodontics	100
Laboratory Practice in Removable Partial and Complete Denture Prosthodontics	103
Oral Surgery	106
Dental Anesthesiology and Emergency Treatment	109
Operative Dentistry	112
Laboratory Practice in Oral Surgery	114

(計 21科目)

令和8年度（第4学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	総合基礎歯学 〔微生物学/歯科理工学〕 (高橋/新谷)	総合基礎歯学 〔口腔衛生学〕 (大島)	総合臨床歯学 〔歯内療法学〕 (興地)	総合基礎歯学 〔解剖学/組織学〕 (春原/菊池)	※
火	総合基礎歯学 〔病理学/生化学〕 (添野/才木)	総合基礎歯学 〔生理学/薬理学〕 (佐伯/筒井)	統合臨床基礎学 (実習:阿部)		※
水	歯周病学 (実習:沼部)		総合臨床歯学 〔歯周病学〕 (沼部)	総合臨床歯学 〔小児歯科学〕 (苅部)	※
木	歯冠補綴学 (実習:五味)		総合臨床歯学 〔歯科矯正学〕 (新井)	部分床義歯補綴学 (実習:隅田)	
金	総合臨床歯学 〔口腔外科学〕 (里見)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	総合臨床歯学 〔歯科硬組織修復学〕 (講座代表者)	口腔外科の基本手技 (実習:里見/砂田/柳井) インプラント実習含む	

- 1) 授業期間 令和8年9月15日(火)～令和8年12月4日(金)
(令和8年12月21日(月)～令和9年1月8日(金)は冬期休業)
- 2) 講 堂 152講堂 (実習科目は臨床基礎実習室で行う)
- 3) そ の 他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。
②ワクチン接種は16時00分から実施(詳細は後日掲示)。
- 4) 臨床実習事前オリエンテーションは受講必須(詳細は後日掲示)

科目名

総合基礎歯学〔微生物学〕

曜日 時間

月 9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医師として要求される生体防御学の知識を総合的に理解するために、これまでに学習した基礎微生物学、免疫学を再度整理し直して修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

石原和幸 他 編集

口腔微生物学

第8版

学建書院

担当者一覧

高橋幸裕, 田代有美子, 山中 幸

学習方略

- 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(100 %) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(%)
 ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%)
 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 月～金 16:30～18:00
 場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 16日	田代 有美子 * 水曜日5限	ユニット1: 免疫担当細胞・抗原提示と抗原認識・自然免疫・獲得免疫	1) 自然免疫の種類と機能を説明する。(C-4-2)-(1) 2) 獲得免疫の種類と機能を説明する。(C-4-2)-(2) 3) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(C-4-2)-(3) 4) ワクチンの意義と種類, 特徴及び副反応を説明する。(C-4-2)-(8) 5) 免疫グロブリンや補体の基本的性質を説明する。(C-4-2)-(2) 6) 抗原提示機能と免疫寛容を説明する。(C-4-2)-(4) 7) 粘膜免疫を説明する。(C-4-2)-(7)
	準備学習内容	配付資料を参照し予習	
9月 28日	田代 有美子 * 月曜日5限	ユニット2: 感染論・アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全	1) 感染における宿主と寄生体の諸要因について説明する。(C-4-2)-(4) 2) 菌交代症, 日和見感染症について説明する。(C-4-1)-(5) 3) アレルギーを分類する。(C-4-2)-(5) 4) アレルギー疾患の種類と発症を説明する。(C-4-2)-(5) 5) 自己免疫疾患について説明する。(C-4-2)-(6) 6) 免疫不全症について記述する。(C-4-2)-(6)
	準備学習内容	配付資料を参照し予習	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	19日	山中 幸	ユニット3:微生物学総論・グラム陽性菌	1)細菌を分類学および形態学的に対比する。(C-4-1)-①) 2)病原微生物の生化学的特徴を説明する。(C-4-1)-①) 3)グラム陽性菌の種類と形態学的特徴,生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①) 4)グラム陽性菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②) 5)グラム陽性菌が原因となる感染症の種類,予防,診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)
		準備学習内容	配付資料を参照し予習	
11月	2日	山中 幸	ユニット4:グラム陰性菌・スピロヘータ・クラミジア・リケッチア・マイコプラズマ・真菌	1)グラム陰性菌の種類と形態学的特徴,生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①) 2)グラム陰性菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②) 3)グラム陰性菌が原因となる感染症の種類,予防,診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③) 4)スピロヘータ,クラミジア,リケッチア,マイコプラズマ,真菌の種類と形態学的特徴,生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①) 5)スピロヘータ,クラミジア,リケッチア,マイコプラズマ,真菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②) 6)スピロヘータ,クラミジア,リケッチア,マイコプラズマ,真菌が原因となる感染症の種類,予防,診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)
		準備学習内容	配付資料を参照し予習	
11月	9日	高橋 幸裕 *月曜日5限	ユニット5:化学療法・消毒・院内感染	1)抗菌薬使用の目的,種類および作用機序を説明する。(C-4-1)-⑤, C-4-1)-③) 2)薬剤耐性について説明する。(C-4-1)-⑤) 3)消毒と滅菌の意義,原理および代表的な方法を説明する。(C-4-1)-④) 4)院内感染の防止方法について説明する。(C-4-1)-④)
		準備学習内容	配付資料を参照し予習	
11月	16日	高橋 幸裕	ユニット6:ウイルス学・口腔微生物学	1)ウイルスの構造と分類について述べる。(C-4-1)-①) 2)ウイルスの増殖について説明する。(C-4-1)-①) 3)ウイルスの培養と定量について記述する。(C-4-1)-①) 4)各ウイルス種の形態学的特徴,生理学的性状,宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-①, C-4-1)-②) 5)抗ウイルス化学療法について説明する。(C-4-1)-③) 6)ウイルスの消毒について説明する。(C-4-1)-③) 7)口腔細菌叢とその変化を説明する。(C-4-1)-①) 8)ペリクルの由来と構成について説明する。(C-4-2)-①) 9)デンタルプラークを定義する。(C-4-1)-①) 10)口腔常在菌の形態学的特徴と基本的性状を説明する。(C-4-1)-①) 11)う蝕病原性細菌の感染機構とう蝕病原性を説明する。(C-4-1)-②) 12)歯周病原性細菌の感染機構と歯周病原性を説明する。(C-4-1)-②) 13)バクテリアルトランスポレーションを説明する。(C-4-1)-③)
		準備学習内容	配付資料を参照し予習	

科目名

総合基礎歯学〔歯科理工学〕

曜日 時間

月 9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

2, 3年生で学習した歯科理工学の内容を整理, 復習し, 臨床系科目で学習した材料・技術と整合させて理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之:編集幹事	スタンダード歯科理工学 —生体材料と歯科材料—	第8版	学建書院

担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 青柳侑祐

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(60%)
 論述試験(30%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他(プレ・ポストテスト(10%))

オフィスアワー

日時:毎週 火曜日 12:10~13:00
 場所:本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 28日	三浦 大輔	ユニット1:物理的, 化学的, 生物学的性質, 機械的性質	1) 物理的性質を説明する。(D-1-②) 2) 化学的性質を説明する。(D-1-②) 3) 材料の生体刺激性, アレルギーを列記する。(D-1-②) 4) 応力とひずみを説明する。(D-1-②) 5) 応力-ひずみ曲線と関連する諸性質の材料選択上の意義を記述する。(D-1-②) 6) 塑性変形を説明する。(D-1-②) 7) 強さの種類, 性質を説明する。(D-1-②) 8) 硬さの種類, 性質を説明する。(D-1-②) 9) 粘弾性を説明する。(D-1-②)
	準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科材料概論(1~5頁)」, 「材料の種類と構造(7~26頁)」, 「材料の性質(27~51頁)」, 「生体材料の安全性と適合性(53~64頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	5日	石田 祥己	ユニット2:印象材, 模型材, 陶材	1) 印象材の組成, 性質を列記する。(D-1-①) 2) 印象材の細部再現性, 寸法変化, 印象精度を類別する。(D-1-①) 3) 模型材の種類, 組成, 性質を説明する。(D-1-①) 4) 印象材と模型の関連性を具体的に述べる。(D-1-①) 5) 陶材を分類する。(D-2-②) 6) 陶材の成分および特徴を述べる。(D-2-②) 7) 陶材の強化法を説明する。(D-2-②) 8) 金属への焼付機構を記述する。(D-2-②)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「印象用材料(117~147頁)」, 「模型用材料(149~156頁)」, 「歯冠用セラミックス(221~241頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	26日	三浦 大輔	ユニット3: 歯科精密鑄造	1) ワックスパターンの取り扱いと変形防止策を説明する。(D-2-②) 2) 埋没材の種類, 特性を説明する。(D-2-②) 3) 鑄造用合金と埋没材の組合せを説明する。(D-2-②) 4) 合金の融解・鑄込の条件を説明する。(D-2-②) 5) 鑄造条件と鑄造欠陥の発生を説明する。(D-2-②) 6) 鑄造体の寸法精度と適合について説明する。(D-2-②)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用ワックス(157~164頁)」, 「鑄造用材料(195~220頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	9日	青柳 有祐	ユニット4: 合金, 合金の成形加工, 熱処理, ろう付け	1) 歯科用合金を分類する。(D-2-②) 2) 金合金の組成を説明する。(D-2-②) 3) 金合金の規格を述べる。(D-2-②) 4) 金銀パラジウム合金を説明する。(D-2-②) 5) 非貴金属合金についてまとめる。(D-2-②) 6) 加工硬化・再結晶軟化を説明する。(D-2-②) 7) 歯科用合金の熱処理法を説明する。(D-2-②) 8) 合金の接合法としてのろう付け, 電気溶接, レーザ溶接を説明する。(D-2-②)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属用材料(165~193頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	11日	青柳 有祐	ユニット5: 切削, 研削, 研磨, 合着, 接着材, 成形修復材料, セメント, 腐食, 歯科用機器・器具, 歯科用レジン	1) 研削, 研磨材の種類と使用法を列挙する。(D-1-③) 2) 研磨の能率を説明する。(D-1-③) 3) 電解研磨を説明する。(D-1-③) 4) 切削, 研磨に用いる機器とその特徴を記述する。(D-1-③) 5) セメントの組成および性質を述べる。(D-2-③) 6) 臨床上の取扱法を具体的に述べる。(D-2-③) 7) 腐食を説明する。(D-1-③) 8) 歯科用機器・器具を説明する。(D-1-③) 9) 加熱重合レジンと常温重合レジンの組成, 重合法, 性質を比較する。(D-2-②) 10) コンポジットレジン, グラスアイオノマーセメント, アマルガム, 硬質レジンの組成, 重合方法, 硬化機構を説明する。(D-2-①)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「成形修復材料(73~104頁)」, 「歯冠補綴用レジン(243~252頁)」, 「接着・合着用材料(253~272頁)」, 「義歯用材料(273~306頁)」, 「歯科用器械(337~361頁)」, 「切削・研削・研磨材(363~381頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	30日	青柳 有祐	ユニット6: 矯正用材料, 歯内・歯周材料, インプラント材料	1) 矯正用ワイヤーの機械的性質を説明する。(D-2-④) 2) 仮封材料の特性を説明する。(D-2-④) 3) 歯周治療材料の特性を説明する。(D-2-⑥) 4) 歯科インプラント材を説明する。(D-2-⑤) 5) インプラント材料の種類と特徴を説明する。(D-2-⑤) 6) 骨補填材の種類と特徴を説明する。(D-2-⑤)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯内療法関連材料(337~361頁)」, 「インプラント用材料(307~326頁)」, 「矯正用材料(327~336頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	28日	林田 尚斗	ユニット1:地域保健・予防 歯科の概念	1) 疾病の自然史と疾病予防の3相5段階について説明する。(B-2-2)-①) 2) セルフケア, プロフェッショナルケア, パブリックヘルスケアを列挙する。(B-2-2)-①) 3) プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションを説明する。(B-2-2)-①) 4) 健康格差と健康の社会的決定要因を説明する。(B-2-2)-①) 5) 地域保健法を述べる。(B-2-2)-①) 6) ソーシャルキャピタルを説明する。(B-2-2)-①) 7) 健康危機管理を説明する。(B-2-2)-①) 8) 地域包括支援センターと地域包括ケアシステムを説明する。(B-2-2)-①)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
9月	30日	山下万美子	ユニット2: 歯科保健医療関係法規	1) 医師法について概説する。(B-2-1)-③) 2) 薬剤師法について概説する。(B-2-1)-③) 3) 保健・医療・福祉関連職種に関わる法律を説明する。(B-2-1)-③) 4) 歯科口腔保健の推進に関する法律を概説する。(B-2-1)-⑤) 5) 健康増進法を概説する。(B-2-1)-⑤) 6) 健康日本21(第三次)を説明する。(B-2-1)-⑤)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	5日	田中とも子	ユニット3: 臨床疫学	1) 有病・罹患について説明する。(B-4-1)-③) 2) スクリーニング検査の目的について列記する。(B-4-1)-②) 3) スクリーニング検査の信頼性の指標について説明する。(B-4-1)-②) 4) 治療効果の評価法について述べる。(B-4-1)-①)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	19日	一宮 頼子	ユニット4: 地域保健	1) 地域歯科保健の仕組みについて述べる。(B-2-2)-①) 2) 健康日本21(歯の健康)について説明する。(B-2-2)-①) 3) 地域歯科保健活動のすすめ方を説明する。(B-2-2)-①) 4) 地域歯科保健と歯科医師の役割を説明する。(B-2-2)-①) 5) 行政と地域歯科保健について述べる。(B-2-2)-①, B-3-2)-①)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	26日	田中とも子	ユニット5: 社会保障・社会福祉概論	1) 社会保障制度・医療制度を理解する。(B-2-2)-③) 2) 公的医療制度を説明する。(B-2-2)-③) 3) 介護保険制度を説明する。(B-2-2)-③)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月	2日	一宮 頼子	ユニット6: 母子保健	1) 母子保健関連の法律を列挙する。(B-3-2)-③) 2) わが国の母子保健水準の現状を説明する。(B-3-2)-③) 3) 母子保健・歯科保健対策について述べる。(B-3-2)-③) 4) 妊産婦の口腔保健管理を説明する。(B-3-2)-③) 5) 乳幼児の歯科保健管理を説明する。(B-3-2)-③)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	9日	小松崎 明	ユニット7:学校保健	1) 学校保健関連の法律を説明する。(B-3-2)-③) 2) 学校感染症を説明する。(B-3-2)-③) 3) 保健管理組織を説明する。(B-3-2)-③) 4) 学校(歯科)保健制度について述べる。(B-3-2)-③) 5) 学校(歯科)健康診断について説明する。(B-3-2)-③) 6) 歯科保健教育と歯科保健指導を具体的に述べる。(B-3-2)-③)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月	16日	林田 尚斗	ユニット8:成人・高齢者保健・医療・福祉(要介護者保健を含む)	1) 成人・高齢者歯科保健制度を述べる。(B-3-2)-③) 2) 成人・高齢者歯科保健活動を説明する。(B-3-2)-③) 3) 介護・福祉に関連法律を列挙する。(B-3-2)-③) 4) 要介護者の歯科保健制度を説明する。(B-3-2)-③) 5) 要介護者の歯科保健管理について述べる。(B-3-2)-③)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月	16日	大島 克郎	ユニット9:歯科医療制度・医療経済	1) 日本の法令について説明する。(B-2-1)-①~⑦) 2) 歯科医療関連法規を説明する。(B-2-1)-①~⑦) 3) 歯科医師法を説明する。(B-2-1)-①) 4) 歯科衛生士法を説明する。(B-2-1)-③) 5) 歯科技工士法を説明する。(B-2-1)-③) 6) 医療職種 医療施設数を説明する。(A-7-1)-②) 7) 医療法を説明する。(B-2-1)-②) 8) 医療計画を説明する。(A-7-1)-②) 9) 医療経済の現状を説明する。(B-2-2)-②)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月	30日	田中とも子	ユニット10:産業保健	1) 産業歯科保健関連の法律を列挙する。(B-3-2)-③) 2) 産業歯科保健制度について述べる。(B-3-2)-③) 3) 産業歯科保健活動について説明する。(B-3-2)-③) 4) 歯にみられる職業性疾患について述べる。(B-3-2)-③) 5) 労働者の健康保持増進対策と口腔保健について関係づける。(B-3-2)-③)
		準備学習内容	「公衆衛生マニュアル2026」を参考に講義テーマについて学習する。	

科目名

総合臨床歯学〔歯内療法学〕

曜日 時間

月 13:00～14:20

本学期的到達目標(GIO)

歯髓疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
興地隆史, 石井信之, 前田英史, 鈴木規元 編	歯内治療学	第6版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 林美加子 編集主幹	エンドドンティクス	第6版	永末書店

担当者一覧

興地隆史, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 村山文康

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(100%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:00～17:00
 場所: 100周年記念館4階 歯科保存学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 28日	三枝 慶祐	ユニット1: 緊急処置	1) 疼痛に対する緊急処置を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 2) 急性歯髓炎の緊急処置を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 3) 急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明する。 (E-3-3-(2)-①)
	準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.179～P.184 を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	5日	西田 太郎	ユニット2: 歯内-歯周疾患, 高齢者・有病者の歯内療法	1) 歯内疾患と歯周疾患の関連性を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 歯内-歯周疾患の分類と臨床症状を説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 歯内-歯周疾患の診断と治療を説明する。(E-3-3-(2)-①) 4) 高齢者, 有病者に対する歯内療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.247~P.265 を読み, 要点を確認する。	
10月	5日 (5限)	興地 隆史	ユニット3: 根管の形態	1) 根管の解剖学的根管形態を説明する。(E-3-1)-(⑤) 2) 根管の異常形態を説明する。(E-3-1)-(⑤) 3) 根尖歯周組織の構造と機能を説明する。(E-3-1)-(⑥)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.5~P.30 を読み, 要点を確認する。	
10月	19日	西田 太郎	ユニット4: 歯内療法における検査, 診断, 治療方針	1) 歯髓の検査法を列記する。(E-1-1)-(①) 2) 歯髓の検査法について説明する。(E-1-1)-(④) 3) 根尖性歯周疾患の検査法を列記する。(E-1-1)-(①) 4) 根尖性歯周疾患の検査法について説明する。(E-1-1)-(①)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.31~P.54 を読み, 要点を確認する。	
10月	26日	村山 文康	ユニット5: 歯髓疾患	1) 歯髓疾患の種類を列記, 分類する。(E-3-3)-(2)-(①) 2) 歯髓疾患の所見, 症状, 検査法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 3) 歯髓疾患の治療法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.55~P.81 を読み, 要点を確認する。	
11月	2日	村山 文康	ユニット6: 根尖性歯周疾患	1) 根尖性歯周疾患の種類を列記, 分類する。(E-3-3)-(2)-(①) 2) 根尖性歯周疾患の所見, 症状, 検査法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 3) 根尖性歯周疾患の治療法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.82~P.111 を読み, 要点を確認する。	
11月	9日	関谷 美貴	ユニット7: 根管処置, 根管充填, 根管治療後の治癒経過	1) 根管処置について説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 2) 根管充填について説明する。(E-3-3)-(2)-(②) 3) 根管治療後の治癒経過について説明する。(E-3-3)-(2)-(②)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.112~P.179 を読み, 要点を確認する。	
11月	16日	三枝 慶祐	ユニット8: 歯科用実体顕微鏡を応用した歯内療法	1) 歯科用実体顕微鏡による検査を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 2) 歯科用実体顕微鏡による処置を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 3) 外科的歯内療法の適応症, 術式を説明する。(E-3-3)-(2)-(⑤)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.218~240 を読み, 要点を確認する。	
11月	18日 (5限)	関谷 美貴	ユニット9: 歯内療法における安全対策	1) 偶発症の種類を説明する。(E-3-3)-(2)-(③) 2) 偶発症の予防法と処置法を説明する。(E-3-3)-(2)-(③)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.273~P.289 を読み, 要点を確認する。	
11月	30日	興地 隆史	ユニット10: 外傷歯の診断と処置, 歯根の病的吸収	1) 歯の外傷を分類する。(E-2-4)-(2)-(①) 2) 歯の外傷に対する検査, 処置法を説明する。(E-2-4)-(2)-(②) 3) 歯根の病的吸収を分類する。(E-3-3)-(2)-(⑦) 4) 歯根の病的吸収の検査, 処置法を説明する。(E-3-3)-(2)-(⑦)
		準備学習内容	歯内治療学, 第6版(医歯薬出版) P.193~P.217 を読み, 要点を確認する。	

科目名

総合基礎歯学〔解剖学〕

曜日 時間

月

14:30～15:50

本学期的到達目標(GIO)

人体の構造を画像で理解できる知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

前田健康 他編

口腔解剖学

第2版

医歯薬出版

阿部伸一, 春原正隆
他編

口腔顎顔面解剖ノート

第1版

学建書院

竹内修二 著

解剖トレーニングノート

第7版

医学教育出版社

担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(100%) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:毎週月曜日 16:00～17:30

場所:本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	2日	井出 吉昭	ユニット1: 頭頸部の骨	1) 頭蓋骨の概要を説明する。(E-2-1)-(2) 2) 側頭骨, 蝶形骨, 上顎骨, 下顎骨の形態について説明する。(E-2-1)-(2) 3) 鼻腔, 副鼻腔, 骨口蓋, 翼口蓋窩, 顎関節の構造について説明する。(E-2-1)-(2), E-2-1)-(6), E-2-2)-(7) 4) 頭蓋骨を通過する神経, 脈管の孔を説明する。(E-2-1)-(2), E-2-1)-(4), E-2-1)-(5)
		準備学習内容	第2, 3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P94-120を読み頭蓋骨の要点を確認する。	
11月	9日	春原 正隆	ユニット2: 頭頸部の脈管	1) 心臓の形態学的特徴と働きを説明する。(C-3-4)-(4)-① 2) 大動脈の分枝を列記する。(C-3-4)-(4)-② 3) 頭頸部の脈管の概要を説明する。(E-2-1)-(4) 4) 外頸動脈の分枝を列記する。(E-2-1)-(4) 5) 頸動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-(4) 6) 顔面動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-(4) 7) 舌動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-(4) 8) 頭頸部の主要な静脈を説明する。(E-2-1)-(4) 9) 頭頸部のリンパ節の部位とリンパ管の経路を説明する。(E-2-1)-(4)
		準備学習内容	第2, 3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P133-144を読み頭頸部の脈管の要点を確認する。	
11月	16日	春原 正隆	ユニット3: 頭頸部の内臓	1) 口蓋の筋の形態学的特徴を説明する。(E-2-2)-(1) 2) 舌の形態的特徴を説明する。(E-2-1)-(11), E-2-2)-(10) 3) 唾液腺の形態学的特徴を説明する。(E-2-2)-(5), E-2-2)-(6) 4) 咽頭の構成要素を説明する。(E-2-1)-(11) 5) 喉頭の構成要素を説明する。(E-2-1)-(11)
		準備学習内容	第2, 3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P170-201を読み頭頸部の内臓の要点を確認する。	
11月	25日	井出 吉昭	ユニット4: 頭頸部の筋	1) 表情筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-(3) 2) 咀嚼筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-(3) 3) 舌骨上・下筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-(3) 4) 頸部三角と筋膜隙を構成する筋と形態学的特徴を説明する。(E-2-1)-(3), E-2-1)-(4), E-2-1)-(5)
		準備学習内容	第2, 3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P121-129を読み頭頸部の筋の要点を確認する。	
11月	30日	春原 正隆	ユニット5: 解剖学のまとめ	1) 学習項目を列記する。 2) 各項目の理解度を調べる。 3) 修得した知識を適用する。
		準備学習内容	ユニット1-4で学習した内容を改めて確認する。	
12月	2日	井出 吉昭	ユニット6: 頭頸部の神経	1) 脳神経の概要を説明する。(E-2-1)-(5) 2) 三叉神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-(5) 3) 顔面神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-(5) 4) 舌咽神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-(5) 5) 迷走神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-(5)
		準備学習内容	第2, 3学年で学習したレジュメと口腔解剖学第2版P159-169を読み頭頸部の神経の要点を確認する	

科目名

総合基礎歯学〔組織学〕

曜日 時間

月 14:30 ~15:50

本学期的到達目標(GIO)

臨床において求められる知識と応用力を身につけるために、第1～3学年で学んだ人体の諸器官、歯および口腔領域の諸器官の形状、微細構造、機能について知識の整理と再確認を実施する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
阿部和厚・牛木辰男 著	組織学	改訂20版	南山堂
脇田 稔 他	口腔組織・発生学	第3版	医歯薬出版(株)
解剖学第2講座編集	組織学実習テキスト		日本歯科大学
磯川桂太郎 他	カラーアトラス 口腔組織発生学	第4版	わかば出版(株)
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
	第2・3学年組織学講義配付プリント		

担当者一覧

菊池憲一郎, 池田利恵, 小川清美

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(100%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)

ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)

観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]

その他()

オフィスアワー

日時: 月曜日16:00-17:00

場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	28日	池田 利恵	ユニット1:オリエンテーション, 組織の構造と機能-細胞, 上皮組織, 筋組織-	1) 組織学の概要を説明する。(A-2-2)-(1)(2) 2) 細胞膜と細胞内小器官の構造と機能について説明する。(C-2-3)-(1) 3) 細胞分裂と細胞死について述べる。(C-2-3)-(3) 4) 上皮組織の種類と構造について述べる。(C-3-4)-(1)-(1) 5) 筋組織の分類と分布, 特徴について説明する。(C-3-4)-(3)-(1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容, 第3学年時の組織学実習のスケッチで要点を確認する。	
10月	5日	菊池憲一郎	ユニット2: 組織の構造と機能-支持組織, 結合組織, 特殊な支持組織(軟骨・骨)-	1) 支持組織の分類と構造, 構成する細胞について説明する。(C-3-4)-(2)-(2) 2) 結合組織の細胞と線維, 細胞外基質について説明する。(C-3-4)-(2)-(2) 3) 軟骨の種類と特徴を述べる。(C-3-4)-(2)-(3) 4) 骨の構造と構成する細胞を述べる。(C-3-4)-(2)-(3)(4)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容, 第3学年時の組織学実習のスケッチで要点を確認する。	
10月	7日	池田 利恵	ユニット3: 組織の構造と機能-消化器系, 歯周組織-	1) 消化器系の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(7)-(1)(2)(3), E-2-2)-(6) 2) 歯周組織の構成成分を列挙する。(E-3-1)-(6) 3) 歯周組織の発生を説明する。(E-3-1)-(6) 4) 口腔粘膜の組織構造を説明する。(E-2-2)-(2)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容, 第3学年時の組織学実習のスケッチで要点を確認する。	
10月	14日	小川 清美	ユニット4: 組織の構造と機能-歯の発生, 歯の組織構造-	1) 歯胚の発生にたずさわる胚葉とそれらの相互作用について述べる。(E-3-1)-(1) 2) 歯の組織構造および性状について述べる。(E-3-1)-(4)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と第3学年時の組織学講義内容, 第3学年時の組織学実習のスケッチで要点を確認する。	
10月	19日	菊池憲一郎	ユニット5: 組織の構造と機能-呼吸器系, 内分泌系-	1) 呼吸器系の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(8)-(1)(2) 2) 内分泌系の基本構造について説明する。(C-3-4)-(9)-(1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容, 第3学年時の組織学実習のスケッチで要点を確認する。	
10月	26日	菊池憲一郎	ユニット6: 組織の構造と機能-神経組織, 泌尿器系-	1) 神経組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(5)-(2)(3)(7)(9) 2) 泌尿器系に属する器官の基本構造について述べる。(C-3-4)-(10)-(1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と第2学年時の組織学講義内容, 第3学年時の組織学実習のスケッチで要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	15日	佐藤 かおり	ユニット1:病理組織所見と疾患概念(1)循環障害と代謝障害	1)虚血, 充血, うっ血を説明する。(C-5-4)-(1) 2)血栓, 塞栓の形成機序と梗塞を説明する。(C-5-4)-(3) 3)浮腫の原因を説明する。(C-5-4)-(5) 4)変性と関連疾患を説明する。(C-5-2)-(2)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p32—35, p70—102を読み, 要点を確認する。	
9月	29日	佐藤 かおり	ユニット2:病理組織所見と疾患概念(2)組織の損傷と炎症反応	1)肉芽組織の構成要素を列記する。(C-5-3)-(4) 2)異物処理を列記する。(C-5-3)-(5) 3)炎症に寄与する細胞を列記する。(C-5-5)-(2) 4)炎症の過程を説明する。(C-5-5)-(1) 5)結核結節を説明する。(C-5-5)-(4)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p56—62, p110—140を読み, 要点を確認する。	
10月	6日	佐藤 かおり	ユニット3:病理組織所見と疾患概念(3)口腔粘膜の病変と腫瘍	1)口腔粘膜の病変を分類する。(E-2-4)-(4)-(1) 2)白色病変における上皮変化を説明する。(E-2-4)-(4)-(2) 3)細胞異型を説明する。(C-5-6)-(4) 4)良性腫瘍と悪性腫瘍を比較する。(C-5-6)-(5)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p244—248, 「新口腔病理学 第3版」p143—155を読み, 要点を確認する。	
10月	13日	佐藤 かおり	ユニット4:病理組織所見と疾患概念(4)歯原性腫瘍	1)歯冠・歯根の形成過程と上皮間葉間の相互作用を説明する。(E-3-1)-(1) 2)歯原性腫瘍の組織学的特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-(1)
		準備学習内容	「新口腔病理学 第3版」p196—211を読み, 要点を確認する。	
10月	19日 (月曜日5限)	佐藤 かおり	ユニット5:病理組織所見と疾患概念(5)唾液腺の病変	1)唾液腺腫瘍を分類する。(E-2-4)-(8)-(4) 2)唾液腺炎を分類する。(E-2-4)-(8)-(3) 3)唾液腺腫大を主徴とする病変を判別する。(E-2-4)-(8)-(7)
		準備学習内容	「新口腔病理学 第3版」p257—282を読み, 要点を確認する。	
10月	20日	佐藤 かおり	ユニット6:病理組織所見と疾患概念(6)口腔領域の嚢胞	1)嚢胞壁の構造を説明する。(E-2-4)-(5)-(1) 2)発育性嚢胞と炎症性嚢胞を分類する。(E-2-4)-(5)-(1) 3)粘液貯留嚢胞の成り立ちを説明する。(E-2-4)-(5)-(1)
		準備学習内容	「新口腔病理学 第3版」p182—195を読み, 要点を確認する。	

科目名

総合基礎歯学〔生化学〕

曜日 時間

火

9:00～10:20

本学期的到達目標(GIO)

生物化学的知識と口腔組織の主要な構造と機能の知識を記述することで、歯科医学・医療の基礎を生化学的・口腔生化学的に理解する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**E. E. Abali 他 著,
石崎泰樹 他 訳

イラストレイテッド生化学

第8版

丸善

早川太郎 他

口腔生化学

第6版

医歯薬出版

担当者一覧

オ木桂太郎

学習方略 講義

示説(デモンストレーション)

グループワーク(PBL, TBLを含む)

実習

 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(100 %)

論述試験(%)

口頭試験(%)

レポート(%)

 ポートフォリオ(%)

シミュレーションテスト(%)

実地試験(%)

 観察記録(%)

態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]

 その他()**オフィスアワー**

日時:毎週月曜日 8:00 ~ 9:00

場所:本館6階 生化学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	26日 (16:00 - 17:20)	才木桂太郎	ユニット1:代謝-1	1) 生体構成分子に関する化学的性質を説明できる。 (C-1-1)-②) 2) 糖質の構造と機能を説明できる。(C-2-1)-②) 3) 解糖と糖新生とTCA回路を説明できる。(C-2-1)-②) 4) 生体のエネルギー産生と利用を説明できる。 (C-2-1)-④)
		準備学習内容	イラストレイテッド生化学(第8版)6章から13章	
10月	27日	才木桂太郎	ユニット2:代謝-2	1) 脂質の構造, 機能及び代謝を説明できる。 (C-2-1)-③) 2) アミノ酸とタンパク質の構造, 機能及び代謝を説明できる。(C-2-1)-①) 3) ビタミンを分類し機能を記述する。(E-2-4)-(10)-⑨) 4) 血液凝固の機序を説明できる。(C-3-4)-(4)-⑦)
		準備学習内容	イラストレイテッド生化学(第8版)1章, 2章, 19章, 28章, 35章	
11月	10日	才木桂太郎	ユニット3:遺伝子	1) 核酸, 遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。 (C-2-2)-①) 2) セントロドグマの複製と転写と翻訳を説明できる。 (C-2-2)-②, ③) 3) 細胞の構造と機能を記述できる。(C-2-3)-①) 4) 細胞周期と細胞分裂と細胞死を説明できる。 (C-2-3)-③, ④)
		準備学習内容	イラストレイテッド生化学(第8版)30章, 31章, 32章	
11月	17日	才木桂太郎	ユニット4:硬組織	1) ECMタンパク質の種類と機能を列記する。 (C-2-4)-③) 2) 硬組織の種類と特徴を記述する。(C-3-4)-(2)-③) 3) 骨のリモデリング機構を説明する。(C-3-4)-(2)-④) 4) 血清カルシウム濃度調節機構を記述する。 (C-3-4)-(2)-④)
		準備学習内容	口腔生化学(第6版)4章と5章	
11月	24日	才木桂太郎	ユニット5:石灰化, 唾液	1) 硬組織の種類と石灰化機構を記述する。 (C-3-4)-(2)-⑤) 2) 骨芽細胞と破骨細胞の役割を説明する。 (C-3-4)-(2)-⑤) 3) 唾液成分の種類を列記する。(E-2-2)-⑤) 4) 唾液成分の特徴を列記する。(E-2-2)-⑤)
		準備学習内容	口腔生化学(第6版)6章から9章	
12月	1日	才木桂太郎	ユニット6:唾液と口腔感染症	1) プラークの特徴を説明する。(E-3-2)-④) 2) プラークの形成機構を説明する。(E-3-2)-④) 3) う蝕の発症機構を説明する。(B-3-2)-①) 4) 歯周炎の発症機構を説明する。(B-3-2)-①)
		準備学習内容	口腔生化学(第6版)10章から13章	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	27日	橋爪 那奈	ユニット1:興奮性膜	1) 神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(8) 2) 電位依存性イオンチャネルの特性を述べる。(C-3-4)-(5)-(8) 3) 活動電位の発生とイオンコンダクタンスの関係を述べる。(C-3-4)-(5)-(8) 4) ニューロンとグリアの構造と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(7)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p16-42, p50を参考に要点を確認する。	
10月	28日	井出 良治	ユニット2:顎・口腔・顔面の機能	1) 口腔内の感覚受容器と神経線維の特徴を述べる。(E-2-1)-(5), (E-2-2)-(9) 2) 粘膜に分布する感覚受容器を説明する。(C-3-4)-(6)-(2) 3) 顎・口腔・顔面領域に生じる疼痛の発生機序および制御機構を説明する。(C-3-4)-(6)-(4), (E-2-4)-(9)-(1) 4) 反射や姿勢維持における骨格筋の役割について説明する。(E-2-1)-(7) 5) 顎運動と咀嚼筋の関連について述べる。(E-2-1)-(3), (6) 6) 咀嚼運動の神経機構について説明する。(E-2-1)-(8)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p301-372を参考に要点を確認する。	
11月	10日	肖 黎	ユニット3:特殊感覚	1) 特殊感覚を列記する。(C-3-4)-(6)-(1) 2) 視覚, 聴覚, 嗅覚, 味覚, 平衡感覚のそれぞれの感覚情報伝導経路について説明する。(C-3-4)-(6)-(1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p192-206, p219-220を参考に要点を確認する。	
11月	17日	肖 黎	ユニット4:体液	1) 血球と血漿の組成と機能を説明する。(C-3-4)-(4)-(4), (C-3-4)-(4)-(7) 2) 血液以外の体液を分類する。(C-3-4)-(10)-(2), (C-3-4)-(4)-(5) 3) 酸塩基平衡について説明する。(C-3-4)-(10)-(3)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p51-75を参考に要点を確認する。	
11月	24日	佐伯 周子	ユニット5:ガス交換と呼吸調節	1) 呼吸の概念を説明する。(C-3-4)-(8)-(2) 2) 肺の形態と機能を具体的に述べる。(C-3-4)-(8)-(2) 3) 肺におけるガス交換を説明する。(C-3-4)-(8)-(2) 4) 呼吸調節機構を具体的に列挙する。(C-3-4)-(9)-(2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書第5章(p103-122)を参考に要点を確認する。	
12月	1日	橋爪 那奈	ユニット6:味覚	1) 味覚閾値に影響する因子を説明する。(E-2-2)-(10) 2) 味覚の伝達経路を説明する。(E-2-2)-(10) 3) 味覚受容器の構造について説明する。(C-3-4)-(6)-(1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書第16章(p322-342)を参考に要点を確認する。	

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月 15日	神 唯	ユニット1:薬物療法の種類,薬理作用と医薬品,薬物の作用機序	1)薬物療法(原因療法,対症療法)を述べる。(歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む) (C-6-2)-①) 2)薬理作用の基本形式および薬理作用を規定する用量と反応の関係について説明する。(C-6-2)-②,③) 3)医薬品医療機器等法と日本薬局方を説明する。 (C-6-1)-③) 4)医薬品の分類,毒薬,劇薬および麻薬等の表示と保管を説明する。(C-6-1)-①,②) 5)受容体を介する薬理作用と受容体の作動薬,拮抗薬の作用様式を説明する。(C-6-2)-①,②) 6)自律神経系の機能および神経伝達物質による薬理作用について説明する。(C-6-2)-②),(C-3-4)-(5)) 7)受容体を介さない薬理作用,作用機序を説明する。 (C-6-2)-②) 8)喫煙の依存性と身体にもたらす影響について述べる。 (C-6-2)-②,④)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p1-34を読み,Key Wordsを理解する。
9月 29日	神 唯	ユニット2:薬物体内動態	1)薬物動態における吸収,分布について説明する。 (C-6-3)-②) 2)薬物動態における代謝,排泄について説明する。 (C-6-3)-②)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p35-52を読み,Key Wordsを理解する。
10月 6日	鳥居 大祐	ユニット3:薬物の相互作用,副作用と有害作用	1)薬物の相互作用について説明する。(C-6-2)-⑤) 2)薬物の連用による薬物耐性,蓄積,薬物依存について説明する。(C-6-2)-④) 3)薬効に影響を及ぼす因子を説明する。 (C-6-2)-③,④,⑤) 4)薬物の副作用,有害作用およびその予防対策を説明する。 (C-6-4)-①)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p56-75を読み,Key Wordsを理解する。
10月 13日	鳥居 大祐	ユニット4:薬物の適用方法と適用上の注意	1)薬物の適応方法の種類とその特徴を説明する。 (C-6-3)-①) 2)妊婦,小児,高齢者への薬物適用上の注意点を述べる。 (C-6-3)-②) 3)全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意点を述べる。 (C-6-3)-②),(E-6-①,②)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p81-97を読み,Key Wordsを理解する。
10月 20日	伊藤 亜希 筒井 健夫	ユニット5:漢方薬	1)漢方医学の概要について説明する。(C-6-2)-①,②) 2)口腔領域における生薬,漢方薬の応用について述べる。 (C-6-2)-①,②),(C-6-4)-①)
		準備学習内容	歯学教育入門編を読み,漢方医学の概要と漢方薬の応用を理解する。
11月 2日	鳥居 大祐 * 月曜日5限	ユニット6:抗炎症薬と感染症治療薬概論	1)抗炎症薬の薬理作用,作用機序を説明する。 (C-6-2)-①,②),(C-5-5)-①,②) 2)抗炎症薬の適応症と副作用を説明する。 (C-6-2)-①,②),(C-5-5)-①,②) 3)感染症治療薬の薬理作用,作用機序を説明する。 (C-6-2)-①,②),(C-4-1)) 4)PK/PD理論に基づいた感染症治療薬の適正使用を説明する。 (C-6-2)-①,②,③),(C-4-1))
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p186-194,p201-209を読み,Key Wordsを理解する。

科目名

統合臨床基礎学実習

曜日 時間

火 13:00 ~ 15:50

本学期的到達目標(GIO)

第5学年での附属病院における臨床参加型実習において附属病院各科診療室で患者と円滑に接するために、各基礎実習で履修した知識と技能を整理し、Student Dentistとして必要な技能・態度を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

なし (各分野で配布資料あり)

担当者一覧

阿部恵一, 川本沙也華, 五味治徳, 柵木寿男, 里見貴史, 酒井有沙, 岩田 洋
 【医療面接】大津光寛, 井出吉昭, 大澤銀子, 北村和夫, 仲谷 寛, 武藤徳子, 西田太郎, 前野雅彦, 石田鉄光, 佐藤友則, 代田あづさ, 滑川初枝, 内田裕子, 安田麻子, 窪田大祐, 根岸 翼, 土持 宇, 岡田智雄
 【補綴】新谷明一, 八田みのり, 渡邊 慧, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山仁志, 石川結子, 野澤孝臣
 【歯内】西田太郎, 興地隆史, 北村和夫, 関谷美貴, 三枝慶祐, 杉田浩一, 濱田康弘, 山崎孝子, 小柳圭史, 中山竣太郎, 勝海 怜一, 梶原瑞貴, 村山文康, 古田賢太郎, 飯塚純平
 【修復】小川信太郎, 河本 芽, 越田清祐, 河合貴俊, 代田あづさ, 杉山怜央, 越田美和, 中原由絵, 滑川初枝, 新田俊彦, 林 孝太郎, 原 学, 前野雅彦, 光安廣記, 村田卓也,
 【口腔外科】松野智宣, 宮坂孝弘, 澁井武夫, 岡村武志, 田中惇平, 稲田 諒, 小柳昌央, 宮坂 直樹
 【救命救急】我妻由梨, 村松健司, 亀岡 亮, 小柳圭史, 石井通勇, 井坂栄作, 塩谷伊毅, 島村直宏, 今井智明, 阿部恵一, 安田麻子, 小林清佳, 小谷田貴之, 大野泰子, 篠原麻緒, 碓山綾香, 山岡清佳, 黒岩 聖, 西崎太郎, 田内薫子, 園田康平
 【放射線】浅海利恵子, 大島貴之, 神尾 崇, 河合泰輔, 齋藤圭輔, 永浦まどか, 林 宗廣
 (順不同)他各分野インストラクター

学習方略

講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(%) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(%)
 ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(20%) 実地試験(%)
 観察記録(80 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時:各分野実習終了後から15分間
 場所:本館7F 臨床実習室各分野担当者

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	15日	川本沙也華	ユニット1: 医療面接技法 (1)	1) 医療担当者として望ましい態度で応える。A-1-2 2) 医療面接の目的について述べる。A-3 3) 医療面接を構成する要素を列挙する。A-4-1-③ 4) 医療面接を模擬的に実施する。A-4-1-③ 5) 患者の立場を模擬的に体験する。A-4-1-③
		準備学習内容	第2学年コミュニケーション概論実習の「医療面接」ユニットの学習内容を復習する。	
9月	29日	川本沙也華	ユニット2: 医療面接技法 (2)	1) 医療面接を模擬的に実施する。(A-4-1)-③ 2) 患者のプライバシーに配慮する。(A-4-2)-⑥ 3) 患者の苦痛に配慮する。(A-4-2)-① 4) 医療面接を適切な手順で実施する。(A-4-1)-③ 5) 患者の立場を模擬的に体験する。(A-4-1)-③
		準備学習内容	ユニット1で配布の資料を復習。特にロールプレーのシナリオは見ないで演技できるように準備すること。	
10月	6日	川本沙也華	ユニット3: 医療面接のロールプレー	1) 患者と良好な人間関係を確立する。A-3-① 2) 患者や疾患の背景に配慮する。A-4-2 3) 質問法を使い分ける。A-4-1-③ 4) インフォームドコンセントを実施する。A-3-④ 5) 医療面接を評価する。A-3-⑥
		準備学習内容	ユニット1, 2の学習内容を復習, 用語の定義や概念を理解しておくこと。	
10月	13日	五味 治徳	ユニット4: 欠損補綴の治療方針の説明・概形印象採得	1) 欠損補綴の治療方針について説明する。(F-3-4)-① 2) 概形印象採得を適切に実施する。(F-3-1)-⑤ 3) トレーの選択を実施する。(F-3-1)-⑤ 4) 操作時の注意事項を説明する。(F-3-1)-⑤
		準備学習内容	歯冠補綴学実習書の印象採得の項目を読み, 理解する。	
10月	20日	西田 太郎	ユニット5: 歯内療法におけるラバーダム防湿法	1) ラバーダム防湿法を実施する。(F-3-1)-③ 2) 清潔に配慮した操作を実践する。(F-1-2)-② 3) 安全に配慮した器具操作を実施する。(F-1-2)-③
		準備学習内容	歯内療法学実習書のラバーダム防湿法の項目を理解しておくこと。	
10月	27日	柵木 寿男	ユニット6: 口腔内状態の記録・齲蝕罹患歯質の除去とコンポジットレジン修復	1) 視診によって患者の現症を的確に捉える。(F-1-1)-① 2) 得られた所見を適切に診療録に記載する。 (F-2-2)-⑫ 3) 患者に配慮した器具の操作をする。(F-3-3)-① 4) 齲蝕検知液を使用して感染象牙質を確認する。 (F-3-3)-① 5) レストにより安定した状態で齲蝕罹患歯質を除去する。 (F-3-3)-① 6) 歯髄の保護に配慮して切削する。(F-3-3)-① 7) コンポジットレジン修復を実施する。(F-3-3)-①
		準備学習内容	3年次の実習書に基づき関連履修内容を復習しておく。	
11月	10日	里見 貴史	ユニット7: 頭頸部の診察と手洗い・滅菌グローブ装着	1) 顔面の変化・顎の開閉口路を視診する。 (F-2-2)-③ 2) 頭頸部の筋肉・顎関節部・顎下リンパ節を触診する。 (F-2-2)-③ 3) 患者の痛みや不快感に配慮しながら診察する。 (F-2-2)-③ 4) 清潔域・不潔域に配慮しながら順序よく手洗い操作をする。(F-3-1)-① 5) 順序よく擦式消毒ができる。(F-3-1)-① 6) 無菌的にグローブを装着する。(F-3-1)-①
		準備学習内容	事前配布資料を熟読すること。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	17日	酒井 有沙	ユニット8:心肺蘇生	1) 一次救命処置を説明する。(E-1-4-(1)-①) 2) 心肺蘇生の適応を説明する。 3) 胸骨圧迫を実施する。 4) 気道を確保し, 人工呼吸を実施する。 (E-1-6)-①) 5) 自動体外式除細動器を操作する。 6) 安全性に配慮した操作をする。(F-1-2)-⑤)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p465-480の要点を確認する。	
11月	24日	岩田 洋	ユニット9: 口内法エックス線撮影・エックス線画像上の解剖指標の理解	1) 撮影用ファントムを使用して口内法エックス線撮影を実施する。 2) エックス線画像上の解剖指標を列挙する。 (E-1-2)-⑦)
		準備学習内容	医歯薬出版歯科放射線学第7版p.97-109を読み, 口内法撮影について予習しておく。	
12月	1日	阿部 恵一	ユニット10: 実習試験	1) 修得した技能を確認する。 2) 修得した知識を確認する。 3) 本実習の修得度を確認する。
		準備学習内容	これまでの実習を振り返り, 全体内容を再確認しておく。	

科目名

歯周病学実習

曜日 時間

水 9:00 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

講義で学んだ理論を踏まえ、歯周病学の臨床における基本的術式を理解するために、必要な基礎的臨床技能および態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

担当者一覧

講座代表者: 関野 愉, 村櫻悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎, 林 英昭, 川村浩樹, 大崎忠夫, 清信浩一, 濱田 亮, 高橋亮一, 藤田佑三, 大久保美佐, 石井マイケル大宜, 上原 直, 和田祐季, 三代紗季, 宮下幸大, 山崎 桂, 酒寄智央, 仲谷 寛, 小川智久, 鈴木麻美, 大澤銀子, 加藤智崇, 角田憲祐, 小玉美也子, 齋藤敦史, 横山知美, 美濃直輝, 山本陸矢, 阪 奈津子, 杉山祐太, 岩崎直弥, 岡部俊秀, 我妻瑞穂, 井上修輔, 大塚 源, 小沼 晃, 金森行泰, 國分貴子, 齊藤文重, 齊藤洋一, 眞下絢香, 亙理 瑛, 吉田 聡, 葛西奈賀子, 鈴木 肇, 塚本真望, 松田静輝, 塚田麗未, 柳澤真唯, 高橋 初, 山崎由美香

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(10 %)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(10 %)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(80 %)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時:水曜日 17:00~18:00
 場所:100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 16日	関野 愉	ユニット1:歯周組織検査	1)歯周組織検査について説明する。(F-1-1)-(2) 2)歯周組織検査を列記する。(F-1-1)-(2) 3)歯周組織検査を実施する。(F-2-2)-(4) 4)歯周組織検査に用いる器具を選択する。(F-2-2)-(4) 5)プロービングを実施する。(F-2-2)-(4) 6)プロービングに用いる器具を選択する。(F-2-2)-(4) 7)プロービングの結果を記録用紙に記載する。(F-2-2)-(4) 8)歯周組織の状態を記録用紙に記載する。(F-2-2)-(4) 9)患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-(1)
	準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト1を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	30日	村樫 悦子	ユニット2: 歯周基本治療 (1)	1) 歯周病の病状をわかりやすく伝える。(F-1-1)-(2) 2) プラークコントロールの方法を説明する。(F-3-3)-(4) 3) プラークコントロールの方法を列記する。(F-3-3)-(4) 4) プラークコントロールの方法を習得する。(F-3-3)-(4) 5) 口腔清掃状況を評価する。(F-2-2)-(4) 6) 口腔清掃を実施する。(F-3-3)-(4) 7) 平易な言葉で口腔清掃指導を実施する。(F-3-3)-(4) 8) 病態説明や適切な口腔清掃指導を行っているか互いに評価する。(F-3-2)-(1), (3) 9) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-(1)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト2を予習する。	
10月	7日	村樫 悦子	ユニット3: 歯周基本治療 (2)	1) スケーリング・ルートプレーニングの目的を説明する。(E-3-3-(3)-(3)) 2) スケーラーの特徴を説明する。(E-3-3-(3)-(3)) 3) 前歯部のスケーリング・ルートプレーニングに用いる適切な器具を選択する。(E-3-3-(3)-(3), F-3-1)-(2), F-3-3)-(5) 4) 前歯部のスケーリング・ルートプレーニングの模型実習を実施する。(E-3-3-(3)-(3), F-1-2)-(1),(2), F-3-3)-(5) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(A-4-2)-(1),(2), F-1-2)-(1),(2))
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト3を予習する。	
10月	14日	村樫 悦子	ユニット4: 歯周基本治療 (3)	1) スケーラーの特徴を説明する。(F-3-3)-(5) 2) 左側臼歯部のスケーリング・ルートプレーニングを実施する。(F-3-3)-(5) 3) 患者を想定してスケーリング・ルートプレーニングについて説明する。(F-3-3)-(5) 4) 歯面研磨を実施する。(F-3-3)-(5) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-(5)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト4を予習する。	
10月	21日	五十嵐寛子	ユニット5: 歯周基本治療 (4)	1) スケーラーの特徴を説明する。(F-3-3)-(5) 2) 右側臼歯部のスケーリング・ルートプレーニングを実施する。(F-3-3)-(5) 3) 患者を想定してスケーリング・ルートプレーニングについて説明する。(F-3-3)-(5) 4) 歯面研磨を実施する。(F-3-3)-(5) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-(5)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト5を予習する。	
10月	28日	五十嵐寛子	ユニット6: 歯周基本治療 (5)	1) 適切なシャープニングを実施する。(E-3-3-(3)-(3), F-3-3)-(5) 2) グレーシーキュレットの刃部の形態を説明する。(E-3-3-(3)-(3), F-3-3)-(5) 3) 暫間固定を実施する。(E-3-3-(3)-(3), F-3-3)-(6) 4) 電動ブラシの使用法を説明する。(E-3-3-(3)-(2), F-3-2)-(3), F-3-3)-(4) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-(4), (5), (6))
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト6を予習する。	
11月	4日	村樫 悦子	ユニット7: 歯周外科治療 (1)	1) 歯周外科手術の意義を説明する。(E-3-3-(3)-(1)) 2) フラップ手術の縫合を実施する。(E-3-3-(3)-(3)) 3) フラップ手術を実施する。(E-3-3-(3)-(3)) 4) 患者を想定してフラップ手術について説明する。(E-3-3-(3)-(1)) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(E-3-3-(3)-(3))
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト7を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	11日	倉治竜太郎	ユニット8: 歯周外科治療 (2)	1) 根分岐部病変に対する処置について説明する。 (E-3-3-(3)-①) 2) 根分岐部病変に対する処置を列記する。 (E-3-3-(3)-①) 3) ヘミセクションを実施する。(E-3-3-(3)-③) 4) 患者を想定してヘミセクションについて説明する。 (E-3-3-(3)-①) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①~③)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト8を予習する。	
11月	18日	倉治竜太郎	ユニット9: 歯周外科治療 (3)	1) 歯肉切除術を実施する。(E-3-3-(3)-③) 2) 患者を想定して歯肉切除術について説明する。 (E-3-3-(3)-①) 3) 歯肉切除術に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①) 4) 歯周パックを実施する。(E-3-3-(4)) 5) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法を実施する。 (E-3-3-(3)-③~④) 6) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法の術式を述べる。 (E-3-3-(3)-③~④) 7) 患者を想定してFGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法について説明する。(E-3-3-(3)-①) 8) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①) 9) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①~③)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト9を予習する。	
11月	25日	倉治竜太郎	ユニット10: 歯周外科治療 (4)	1) GTR法を実施する。(E-3-3-(3)-③~④) 2) GTR法の術式を述べる。(E-3-3-(3)-③~④) 3) 患者を想定してGTR法について説明する。 (E-3-3-(3)-①) 4) GTR法に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①) 5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①~③)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト10を予習する。	
12月	2日	関野 愉	ユニット11: 歯周病の病状説明, 超音波スケーラーの使用法	1) 患者の口腔内, エックス線画像, 歯周組織検査結果から病態を把握する。(E-3-3-(3)-②, F-1-1)-①, ②) 2) 患者が理解しやすいように病状と検査結果を説明する。(A-4-2)-①, ②, E-3-3-(3)-②, F-2-1)-⑦) 3) 病態説明を適切に行っているか互いに評価する。 (F-3-2)-①, ③) 4) 超音波スケーラーの使用法を説明する。 (E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤) 5) 超音波スケーラーの使用法を習得する。 (E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤) 6) 患者に不快感を与えないように配慮する。(F-3-3)-⑤)
		準備学習内容	ユニット毎に配布する実習用テキスト11を予習する。	

科目名

総合臨床歯学〔歯周病学〕

曜日 時間

水 13:00 ~ 14:20

本学期的到達目標(GIO)

歯周病学における全体像(各論)を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床に必要な基本術式の知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

担当者一覧

講座代表者, 関野 愉, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(100 %)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他(%)

オフィスアワー

日時: 金曜日 17:00~18:00
 場所: 100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 16日	倉治 竜太郎	ユニット1:ペリオドンタルメ ディシン(歯周医学)	1) 歯周病が影響を及ぼす全身疾患について列記する。 (E-3-3)-(3)-(1) 2) 歯周病が全身に影響を与える理由について説明する。 (E-3-3)-(3)-(1) 3) 心血管疾患との関連について説明する。 (E-3-3)-(3)-(1) 4) 糖尿病との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-(1) 5) 呼吸器疾患について説明する。(E-3-3)-(3)-(1) 6) 早産, 低体重児出産との関連について説明する。 (E-3-3)-(3)-(1) 7) 関節リウマチとの関連について説明する。 (E-3-3)-(3)-(1) 8) メタボリックシンドロームとの関連を説明する。 (E-3-3)-(3)-(1)
	準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第3章 p54-75を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	30日	村樫 悦子	ユニット2: 特殊な歯周病	<ul style="list-style-type: none"> 1) 特殊な歯周病について説明する。(E-3-3)-(3)-①), (E-3-2)-(3) 2) 特殊な歯周病を列記する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 特殊な歯周病の特徴を述べる。(E-3-3)-(3)-①) 4) 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 5) 疱疹性歯肉口内炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 6) 剥離性歯肉炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 7) 歯肉線維腫症について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 8) 薬物性歯肉増殖症について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 9) Down症候群と歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 10) 低ホスファターゼ症と歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 11) Papillon-Lefèvre症候群と歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)
			準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第9章 p254-276を予習する。
10月	7日	倉治 竜太郎	ユニット3: 歯周組織の突発病変への対応・歯周治療における薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> 1) 突発的な歯の動揺について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯の挺出について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 3) 歯肉の急激な腫脹・膿瘍形成を説明する。(E-3-3)-(3)-①) 4) 歯肉の異常増殖について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 5) 歯周組織の急性および慢性疼痛を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 6) 歯周治療後のポケット再発について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 7) その他の突発的な歯周組織の変化を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 8) 薬物療法の概念を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 9) 歯周治療に用いる局所および全身投与製剤を説明する。(E-3-3)-(3)-③))
			準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p210-221を予習する。
10月	14日	五十嵐 寛子	ユニット4: ライフステージを通じた歯周治療, 歯周病の予防管理・多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> 1) 小児の歯周病の特徴を説明する。(E-4-2)-(6)) 2) 思春期の歯周病の特徴を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 妊娠と関連して発現する歯周病の特徴を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 高齢者の歯周病の特徴を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 各ライフステージにおける, 歯周治療の留意点を説明する。(B-3-2)-(4)) 6) 歯周病の予防法を具体的に説明する。(B-3-2)-(1)) 7) ホームケア, プロフェッショナルケアについて説明する。(B-3-1)-(2)) 8) 一次, 二次, 三次予防について説明する。(B-3-1)-(1)) 9) それぞれの職種が対象者と関わる内容を説明する。(B-3-2)-(4))
			準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第6章 p222-236, 第8章 p245-253を予習する。
10月	21日	関野 愉	ユニット5: 歯周病の新分類に基づく治療対応	<ul style="list-style-type: none"> 1) 新分類に基づく健康な歯周組織を説明する。(E-3-2)-(3)) 2) 新分類に基づく歯肉炎の症例定義を説明する。(E-3-2)-(3)) 3) 歯周炎の新分類を説明する。(E-3-2)-(3)) 4) 歯周炎のステージごとの治療対応を説明する。(B-3-2)-(4))
			準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第4章 p96-99を予習する。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	28日	関野 愉	ユニット6:インプラント周囲炎	1)インプラント周囲粘膜炎について説明する。(E-3-4)-(3)-(2) 2)インプラント周囲炎について説明する。(E-3-4)-(3)-(2) 3)インプラント周囲粘膜炎・周囲炎の治療法を列記する。(E-3-4)-(3)-(8)
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p185-190を予習する。	
11月	4日	村樫 悦子	ユニット7:歯周治療におけるレーザーの応用	1)レーザーの発振原理,特性および生体組織への影響を説明する。(D-1-(1)) 2)各種レーザー機器の分類とその特徴を説明する。(D-1-(1)) 3)各種レーザー機器を応用した歯周治療を理解する。(E-3-3-(3)-(2), (3))
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p205-207を予習する。	
11月	11日	佐藤 聡	ユニット8:歯周外科治療の実際	1)問題文の情報,口腔内写真,エックス線写真,歯周組織検査結果の情報から病態を説明する。(E-3-3)-(3)-(1)) 2)病態の違いにより適応となる歯周外科治療の方法が選択できる。(E-3-3)-(3)-(2)) 3)選択した歯周外科治療の目的,術式を述べることができる。(E-3-3)-(3)-(3))
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p142-181を予習する。	
11月	18日	倉治 竜太郎	ユニット9:臨実演習・診査診断	1)歯周病の分類と臨床所見を説明する。(E-3-2)-(3)) 2)歯周病のリスクファクターを列記し,歯周病が多因子性疾患であることを説明する。(E-3-2)-(3)) 3)特殊な歯周病の原因と臨床症状,治療方針を説明する。(E-3-2)-(3)) 4)歯周病の検査から得られる情報を整理・統合し,適切な診断を行うプロセスを学習する。(E-3-3-(3)-(2))
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第2章p1-2,36-39,第9章p254-276,第4章p76-99を予習する。	
11月	25日	五十嵐 寛子	ユニット10:臨実演習・歯周基本治療	1)歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3)-(2)) 2)歯周基本治療の検査項目を述べる。(E-3-3)-(2)) 3)歯周基本治療の手順,方法について述べる。(E-3-3)-(3))
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p104-141を予習する。	
12月	2日	関野 愉	ユニット11:臨実演習・歯周外科治療	1)問題文から歯周組織の状態を把握するために必要な情報を抜粋する。(E-3-3-(3)-(2)) 2)口腔内写真から病態を説明する。(E-3-3-(3)-(2)) 3)エックス線所見を説明する。(E-3-3-(3)-(2)) 4)歯周組織検査結果から得られる情報を整理する。(E-3-3-(3)-(2)) 5)問題,視覚素材から得られた情報を統合し,適切な解答を導くためのプロセスを知る。(E-3-3-(3)-(2), (3), (4)) 6)適切な歯周外科治療を選択する。(E-3-3-(3)-(4)) 7)歯周外科治療で用いる器具と用途を説明する。(E-3-3-(3)-(4)) 8)歯周外科治療後の組織の治癒機転と予後を説明する。(E-3-3-(3)-(5))
		準備学習内容	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第4章 p96-99を予習する。	

科目名

総合臨床歯学〔小児歯科学〕

曜日 時間

水

14:30～15:50

本学期的到達目標(GIO)

成長発達過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

白川哲夫 他編

小児歯科学

第6版

医歯薬出版

荻部洋行 他編

小児歯科学基礎・臨床実習

第3版

医歯薬出版

担当者一覧

荻部洋行, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 岡本亜祐子

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(100%) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 木曜日 12:00～13:00

場所: 100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	16日	田中 聖至	ユニット1:小児の成長発達	1) 発育の特徴と発育期の分類を説明する。(C-3-2)-(1) 2) 小児の身体の成長の特徴と評価法を説明する。(C-3-2)-(1) 3) 小児の精神・心理・運動の発達の特徴と評価法を説明する。(C-3-2)-(3)(4) 4) 小児の生理的発達について説明する。(C-3-2)-(3)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第2章p.5-32を読む。	
9月	30日	岡本 亜祐子	ユニット2:頭蓋、顎顔面の発育/口腔機能の発達	1) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発育を説明する。(E-2-1)-(2) 2) 軟骨性骨成長、縫合性骨成長、骨膜性骨成長を説明する。(E-2-1)-(2) 3) 吸啜運動と哺乳反射を理解する。(E-2-3)-(2) 4) 離乳、咀嚼運動の発達を説明する。(E-2-3)-(2) 5) 乳児型嚥下と成熟型嚥下を説明する。(E-2-3)-(2) 6) 口腔機能の発達および異常について説明する。(E-2-3)-(2)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第3章p.33-44 および 第4章p.45-61を読む。	
10月	7日	苅部 洋行	ユニット3:歯列及び咬合の発育と異常	1) 無歯期・乳歯列期・混合歯列期・永久歯列完成期における歯列・咬合の特徴について説明する。(E-2-3)-(2) 2) 無歯期・乳歯列期・混合歯列期・永久歯列完成期における歯列・咬合の発育変化について説明する。(E-2-3)-(2) 3) 無歯期・乳歯列期・混合歯列期・永久歯列完成期における歯列・咬合の異常とその原因について説明する。(E-2-3)-(2)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第6章p.89-103を読む。	
10月	14日	名生 幸恵	ユニット4:歯の発育と異常/正常組織	1) 乳歯および永久歯の形成について理解する。(E-3-1)-(2)(4) 2) 歯の発育段階、萌出について説明する。(E-3-1)-(1) 3) 歯の発育異常の病因と病態を説明する。(E-3-1)-(1) 4) 歯の萌出異常を説明する。(E-3-1)-(1) 5) 小児と成人の歯周組織の違いを説明する。(E-3-1)-(6)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第5章p.62-88 および 第7章p.104-115を読む。	
10月	21日	田中 聖至	ユニット5:小児への歯科的対応法	1) 小児歯科診療時の診療環境について説明する。(E-4-2)-(10) 2) 小児患者への歯科的対応法を列記する。(E-4-2)-(10) 3) 不協力的な小児および障害のある小児に対する対応法を選択する。(E-5-2)-(2) 4) 全身疾患のある小児患者への歯科的対応法を列記する。(E-5-2)-(2)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第8章p.118-124および 第10章p.143-150を読む。	
10月	28日	名生 幸恵	ユニット6:小児の口腔軟組織疾患	1) 小児口腔軟組織疾患の発生部位を述べる。(E-2-4)-(4)-(1) 2) 小児の軟組織疾患の原因を述べる。(E-2-4)-(4)-(1) 3) 小児の軟組織疾患の処置法を説明する。(E-2-4)-(4)-(2)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第14章p.258-277を読む。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	4日	河上 智美	ユニット7:小児の歯冠修復 ／歯内療法	1) 歯冠修復時に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②) 2) 発育段階に応じた乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法を選択する。(E-3-1)-②) 3) 歯内療法に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②) 4) 乳歯と幼若永久歯に行う歯髄覆髄法, 歯髄切断法, 抜髄および感染根管治療の適応症と術式を記述する。(E-4-2)-⑤)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第11章p.194-212 および 第11章p.212-231 を読む。	
11月	11日	河上 智美	ユニット8:心身障害児および全身疾患児への歯科的対応	1) 障害児の特徴を説明する。(E-5-2)-①) 2) 障害児の歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。(E-5-2)-③) 3) 小児歯科治療時に留意すべき疾患の種類を記述する。(E-5-2)-①) 4) 小児歯科治療時に留意すべき疾患の口腔所見を説明する。(E-5-2)-①) 5) 歯科治療時に留意すべき疾患を有する小児への対応を説明する。(E-5-2)-②)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第18章p.368-412 を読む。	
11月	18日	荻部 洋行	ユニット9:小児の咬合誘導	1) 保隙の目的を説明する。(E-4-2)-⑨) 2) 保隙装置の種類と適応症を記述する。(E-4-2)-⑨) 3) 保隙装置の調整と管理法を説明する。(E-4-2)-⑨) 4) 口腔習癖の種類と対応法を記述する。(E-4-2)-⑩) 5) 乳歯列期と混合歯列期の不正咬合の対応法を説明する。(E-4-2)-⑨)
		準備学習内容	小児歯科学第6版 第16章p.299-337 を読む。	
11月	25日	岡本 亜祐子	ユニット10:問題演習(1)	1) 小児の成長発育を理解する。(C-3-2)-①) 2) 小児の歯科治療の進め方の基本を理解する。(E-4-2)-①～⑥)
		準備学習内容	ユニット1～9までの内容を復習する。	
12月	2日	荻部 洋行	ユニット11:問題演習(2)	1) 小児の成長発育を理解する。(C-3-2)-①) 2) 小児の歯科治療の進め方の基本を理解する。(E-4-2)-⑦～⑫)
		準備学習内容	ユニット1～9までの内容を復習する。	

科目名

歯冠補綴学実習

曜日 時間

木

9:00~11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯冠補綴の基本的事項を確認するために、各種補綴装置の支台歯形成、従来法による印象採得、石膏模型の製作、光学印象採得とクラウンの設計、支台築造、プロビジョナルクラウンの製作を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

教科書・参考書**著者・編集**五味治徳, 八田みのり,
渡邊 慧 他**書名**

歯冠補綴学実習書

版

第8版

出版社

日本歯科大学

担当者一覧

五味治徳, 新谷明一, 八田みのり, 渡邊 慧, 黒田聡一, 藤島 伸, 岡田智雄, 石田鉄光, 横澤 茂, 大津光寛, 山瀬 勝, 我妻由梨, 石川結子, 小池未来, 野澤孝臣, 丸茂義二, 大内秀明, 遠山佳之, 松尾 豊, 長田博史, 海渡智義, 濱 仁隆, 米澤弥生, 落合真美, 曾布川裕介, 磯 亮輔, 軍司さおり

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(20 %) 論述試験(10 %) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(20 %) 実地試験(20 %) 観察記録(50 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:月~金の昼休み時間帯を原則とし、指導担当者の指示に従う。

場所:100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	17日	渡邊 慧	ユニット1:全部金属冠の支台歯形成	1) 歯冠補綴学における修復法を分類する。(E-3-4)-(1)-(2) 2) 咬合器の取り扱い方について説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 辺縁形態の種類を述べる。(E-3-4)-(1)-(4) 4) 支台歯の縮小形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3) 5) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3) 6) 下顎右側第一大臼歯の支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
9月	24日	渡邊 慧	ユニット2:全部金属冠の精密印象採得	1) 印象材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 連合印象法を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 3) 印象採得操作の注意点を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(5) 4) シリコン印象材を適切に操作する。(F-3-4)-(6) 5) 精密印象採得を実施する。(F-3-4)-(6) 6) 対合歯列の概形印象採得を実施する。(F-3-1)-(5) 7) 咬合採得を実施する。(F-3-4)-(8) 8) 歯型材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(9) 9) 歯科用石膏の練和を実施する。(F-3-4)-(7) 10) 採得した印象に石膏注入を実施する。(F-3-4)-(7) 11) 石膏模型のトリミングを実施する。(F-3-4)-(7)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
10月	1日	八田みのり	ユニット3:光学印象採得とクラウンの設計	1) 光学印象法を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 従来の印象法と光学印象法を比較する。(E-3-4)-(1)-(5) 3) 光学印象採得を実施する。(E-3-4)-(1)-(5) 4) 咬合採得を実施する。(F-3-4)-(8) 5) CADソフトウェア上でクラウンの設計を実施する。(E-3-4)-(1)-(5)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
10月	8日	八田みのり	ユニット4:CAD/CAM冠の支台歯形成(1)	1) 上顎前歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-(3)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
10月	15日	海渡 智義	ユニット5:直接法による支台築造	1) 支台築造の意義・種類について説明する。(E-3-4)-(1)-(3) 2) 上顎左側犬歯および下顎右側第一大臼歯の支台築造形成歯上でコンポジットレジンを用いて支台築造を実施する。(F-3-4)-(2) 3) 支台築造の具備条件について列記する。(E-3-4)-(1)-(3) 4) 適正なクリアランスで形成を実施する。(F-3-4)-(3)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
10月	22日	渡邊 慧	ユニット6:既製冠を用いたプロビジョナルクラウンの製作	1) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(7) 2) 即時重合レジンを適切に操作する。(F-3-4)-(5) 3) 既製冠を用いたプロビジョナルクラウンを製作する。(F-3-4)-(5)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	29日	八田みのり	ユニット7:CAD/CAM冠の支台歯形成(2)	1)下顎小臼歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2)適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3)適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
11月	5日	藤島 伸	ユニット8:直接法によるプロビジョナルクラウンの製作	1)プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-⑦) 2)即時重合レジンを適切に操作する。(F-3-4)-⑤) 3)直接法でプロビジョナルクラウンを製作する。(F-3-4)-⑤)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
11月	12日	八田みのり	ユニット9:前装冠の支台歯形成	1)支台歯の形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2)適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3)適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
11月	19日	八田みのり	ユニット10:支台歯形成・知識確認試験	1)清潔域・不潔域に配慮しながら操作を行う。(F-3-4)-③) 2)支台歯形成を時間制限のもと実施する。(F-3-4)-③) 3)診療姿勢に注意しながら支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③)
		準備学習内容	支台歯形成法、前回までの実習内容を整理する。	
11月	26日	五味 治徳	ユニット11:ブリッジの支台歯形成(1)	1)上顎前歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2)適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3)適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③) 4)適切な支台歯間の平行性を確保しながら形成を実施する。(F-3-4)-③)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
12月	3日	五味 治徳	ユニット12:ブリッジの支台歯形成(2)	1)下顎臼歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2)適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3)適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③) 4)適切な支台歯間の平行性を確保しながら形成を実施する。(F-3-4)-③)
		準備学習内容	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	

科目名

総合臨床歯学(歯科矯正学)

曜日 時間

木

13:00~14:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断における検査と分析法に関する知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

後藤滋巳 他 編

歯科矯正学

第7版

医歯薬出版

西井 康 他 著

歯科矯正学エッセンシャルテキスト

初 版

永末書店

担当者一覧

新井一仁, 土持 宇, 鈴木章弘, 栃木啓佑, 柴崎絢香, 舘 晶彦, 磯部真帆

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(100%) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:毎週 月曜日 17:00~18:00

場所:100周年記念館 3階 歯科矯正学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	17日	土持 宇	ユニット1: 正常咬合と不正咬合	1) 咬合の定義について説明する。(E-4-1)-(1) 2) 正常咬合の概念について説明する。(E-4-1)-(1) 3) 正常咬合の種類を列記する。(E-4-1)-(1) 4) 不正咬合の概念について説明する。(E-4-1)-(2) 5) 不正咬合の種類と分類を説明する。(E-4-1)-(2)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.66~P.100を読み, 要点を確認する。	
9月	24日	柴崎 絢香	ユニット2: 不正咬合の原因	1) 不正咬合の原因を先天的と後天的に分類する。(E-4-1)-(3) 2) 先天的原因の種類を列記する。(E-2-4)-(1)-(1) 3) 先天的原因の特徴を説明する。(E-2-4)-(1)-(1) 4) 先天的原因と不正咬合の関係を説明する。(E-2-4)-(1)-(1)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.101~P.110を読み, 要点を確認する。	
10月	1日	鈴木 章弘	ユニット3: 診断と検査	1) 不正咬合の画像検査を列記する。(F-3-6)-(4) 2) セファログラムの特徴を説明する。(F-3-6)-(4) 3) セファログラムの計測点を説明する。(F-3-6)-(4) 4) セファログラムの基準平面を説明する。(F-3-6)-(4) 5) Downs法とNorthwestern法を説明する。(F-3-6)-(4)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.136~P.176を読み, 要点を確認する。	
10月	8日	柴崎 絢香	ユニット4: 診断	1) セファロ分析を実施する。(F-3-6)-(4) 2) Tweed分析における抜歯基準について説明する。(F-3-6)-(4) 3) Tweed分析を実施する。(F-3-6)-(4) 4) 治療方針を立案する。(F-3-6)-(4)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.177~P.189を読み, 要点を確認する。	
10月	15日	栃木 啓佑	ユニット5: 矯正力	1) 矯正力の種類を列記する。(E-4-1)-(3) 2) 矯正力の作用様式を列記する。(E-4-1)-(3) 3) 歯の移動様式について説明する。(E-4-1)-(3) 4) 矯正歯科治療に伴う生体反応を説明する。(E-4-1)-(6)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.123~P.135, P.195~P.199を読み, 要点を確認する。	
10月	22日	館 晶彦	ユニット6: 矯正歯科治療における固定	1) 固定の定義と意義を説明する。(E-4-1)-(3) 2) 部位による固定の分類について説明する。(E-4-1)-(3) 3) 固定を抵抗の性質によって分類する。(E-4-1)-(3) 4) 抜歯空隙を利用するときの固定を分類する。(E-4-1)-(3) 5) 歯科矯正用アンカースクリューによる固定について説明する。(E-4-1)-(3)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.200~P.211を読み, 要点を確認する。	
10月	29日	鈴木 章弘	ユニット7: 矯正用材料の特性	1) 矯正用材料の種類を列記する。(E-4-1)-(4) 2) 矯正用材料の特徴を説明する。(E-4-1)-(4) 3) 矯正用機器の種類を列記する。(E-4-1)-(4) 4) 矯正用機器の用途を説明する。(E-4-1)-(4)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.212~P.217, P.402~420を読み, 要点を確認する。	
11月	5日	栃木 啓佑	ユニット8: 矯正装置①	1) 矯正装置を分類する。(E-4-1)-(5) 2) リンガルアーチ, Nanceのホールディングアーチ, パラタルアーチ及びタンククリブの特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 3) マルチブラケット装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 4) 拡大装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 5) 顎外固定装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.218~P.242, P.249~P.257を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	12日	舘 晶彦	ユニット9: 矯正装置②	1) 床矯正装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(5) 2) 機能的矯正装置の種類を列記する。(E-4-1)-(5) 3) 機能的矯正装置の特徴を説明する。(E-4-1)-(5) 4) 機能的矯正装置の適応症を説明する。(E-4-1)-(5)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.242~P.249, P.257~P.268を読み, 要点を確認する。	
11月	19日	土持 宇	ユニット10: チーム医療の中の矯正歯科治療	1) 口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-(2) 2) 顎変形症の矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-(3) 3) 歯の先天性欠如と矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-(1)
		準備学習内容	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.351~P.387を読み, 要点を確認する。	
11月	26日	磯部 真帆	ユニット11: 上顎前突, 開咬	1) 不正咬合について説明する。(F-3-6)-(4) 2) 検査について説明する。(F-3-6)-(4) 3) 診断について説明する。(F-3-6)-(4)
		準備学習内容	ユニット1~10の内容を復習しておくこと。	
12月	3日	磯部 真帆	ユニット12: 下顎前突, 交叉咬合	1) 不正咬合について説明する。(F-3-6)-(4) 2) 検査について説明する。(F-3-6)-(4) 3) 診断について説明する。(F-3-6)-(4)
		準備学習内容	ユニット1~10の内容を復習しておくこと。	

科目名

部分床義歯補綴学実習

曜日 時間

木

14:30～17:20

本学期的到達目標(GIO)

部分的な歯の欠損によって失われた咀嚼系の機能と形態を回復し、口腔組織の健康状態を保つために、部分的な歯の欠損によって生じる咀嚼系の形態と機能の変化に関する診査、診断、部分床義歯補綴に関連する基本的な臨床操作を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**志賀 博・歯科補綴学第1
講座 編

有床義歯補綴学実習書

第9版

日本歯科大学

担当者一覧

隅田由香, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山 洋, 金子いつか, 横山正起, 石田鉄光, 中島邦久, 岡山浩美, 川名弘剛, 渡邊慧子, 寺沼樹里, 山川茉莉萌, 安部結美, 寺辺やよひ, 萩原 彰, 岩波行紀, 高草木章, 小島健一郎, 芳賀景嗣, 埴 悦郎, 荒川一郎, 田村響子, 倉持淳子, 齋藤真子, 仁村可奈, 門田千晶

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(%) 論述試験(%) 口頭試験(40 %) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(60 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:木曜日 17:20～18:00

場所:7階 臨床基礎実習室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	17日	隅田 由香	ユニット1: 初診時の診査, 概形印象採得・研究用模型の製作	1) アルジネート印象材の練和を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 3) 研究用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(6)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 1~24頁を読み, 要点を確認する。	
9月	24日	上杉 華子	ユニット2: 上顎模型の咬合器付着・咬合床製作	1) 研究用模型の調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 咬合器に上顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-(8) 3) 咬合床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 25~33頁を読み, 要点を確認する。	
10月	1日	小見野 真梨恵	ユニット3: 咬合採得・下顎模型の咬合器付着・サベイング・仮設計	1) 咬合採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 咬合器に下顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-(8) 3) サベイヤーの目的, 役割を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) サベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-(4) 5) 部分床義歯の設計(外形線記入・仮設計)を実施する。(E-3-4)-(2)-(5)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 34~40頁を読み, 要点を確認する。	
10月	8日	秋山 洋	ユニット4: 個人トレー製作・前処置・筋圧形成	1) 下顎個人トレーの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) マウスプレパレーションを説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 3) ガイドプレーンの形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12) 4) 筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-(11)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 41~48頁を読み, 要点を確認する。	
10月	15日	中島 邦久	ユニット5: 精密印象採得・ボクシング・作業用模型への本設計	1) 下顎精密印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) ボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) サベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) 部分床義歯の設計手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12) 5) 維持装置・連結装置を設計する。(E-3-4)-(2)-(5)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 48~59頁を読み, 要点を確認する。	
10月	22日	隅田 由香	ユニット6: 口頭試問	1) 修得した知識を確認し, 実習の修得度を評価する。
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 1~59頁を読み, 要点を確認する。	
10月	29日	横山 正起	ユニット6: 作業用模型のブロックアウト・リリース, 耐火模型上でのクラスプ・フレームワークのワックスアップ①	1) 作業用模型上でブロックアウト・リリースを実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 複印象を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 耐火模型の製作を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 耐火模型上へのクラスプ・フレームワークのワックスアップを実施する。(E-3-4)-(2)-(11)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 74~92頁を読み, 要点を確認する。	
11月	5日	上杉 華子	ユニット7: 耐火模型上でのクラスプ・フレームワークのワックスアップ②, ワイヤークラスプの屈曲, クラスプ・フレームワークの試適, 咬合床製作	1) 耐火模型上へのクラスプ・フレームワークのワックスアップを実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) ワイヤークラスプと鑄造クラスプについて説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) ワイヤークラスプの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 連結装置, 維持装置の試適方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 5) フレームワークの試適を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 6) 咬合床を製作する。(E-3-4)-(2)-(6) 7) 切歯路板の製作を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 60~73, 83~97頁を読み, 要点を確認する。	
11月	12日	小見野 真梨恵	ユニット9: 咬合採得・咬合器付着	1) 咬合採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 咬合器に下顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-(8)
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 98~100頁を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	19日	秋山 洋	ユニット10:人工歯選択・ 排列, 咬合調整, 歯肉形成	1)人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 2)人工歯の選択方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 3)下顎人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(10)) 4)咬頭嵌合位での咬合調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(10)) 5)偏心位での咬合調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(10)) 6)歯肉形成の目的と方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)) 7)歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 104～108頁を読み, 要点を確認する。	
11月	26日	隅田 由香	ユニット11: 蠟義歯試適, 義歯装着後の管理, デジタ ル技術を用いた義歯製作	1) 蠟義歯の試適の要点を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)) 2) 蠟義歯の試適を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 3) 義歯の重合法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)) 4) 義歯装着後の管理を説明する。(E-3-4)-(2)-(13)) 5) デジタル技術を用いた義歯製作を説明する。
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 109～124頁を読み, 要点を確認する。	
12月	3日	中島 邦久	ユニット12: 口頭試問	1) 修得した知識を確認し, 実習の修得度を評価する。
		準備学習内容	有床義歯補綴学実習書 60～124頁を読み, 要点を確認する。	

科目名

総合臨床歯学〔口腔外科学〕

曜日 時間

金 9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

口腔外科学, 有病菌科学について様々な疾患に対して, その原因, 病態, 症状, 処置, 並びに予後を総括的に理解し, 各病態の主な疾患を知り, 臨床における診断力を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
一般社団法人日本有病者歯科医療学会編	有病者歯科学	第3版	永末書店
山根源之, 草間幹夫 編集主幹	口腔内科学	第4版	永末書店
栗田賢一 代表編集	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店
内山健志 近藤壽郎 代表監修	標準口腔外科学	第5版	医学書院

担当者一覧

里見貴史, 松野智宣, 石垣佳希, 澁井武夫, 中島慎太郎, 稲田 諒, 小柳昌央

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(100%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 11:50~12:20
場所: 100周年記念館5階 口腔外科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月 18日	石垣佳希	ユニット1: 有病者歯科学各論1	1) 循環器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 2) 内分泌疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 3) 腎・泌尿器・生殖器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 4) 肝疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6)
	準備学習内容	有病者歯科学p.117-128, 153-169を参考に講義テーマについて学習する。	
9月 25日	石垣佳希	ユニット2: 有病者歯科学各論2	1) 脳血管疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 2) 神経・運動器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 3) 呼吸器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 4) 代謝性疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6)
	準備学習内容	有病者歯科学p.128-152, 215-223を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	2日	石垣佳希	ユニット3: 有病者歯科学各論3	1) 血液・造血器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 2) 免疫疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 3) 精神・心身医学疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 4) 患者管理上問題となる薬剤服用患者への対応を説明する。(E-6)
		準備学習内容	有病者歯科学p.170-191, 224-229を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	9日	澁井 武夫	ユニット4: 口唇・口蓋裂	1) 口唇・口蓋裂の治療目的を述べる。(E-2-4)-(1)-(2) 2) 口唇・口蓋裂の治療計画を説明する。(E-2-4)-(1)-(2) 3) 口唇・口蓋裂の手術法を列記する。(E-2-4)-(1)-(2) 4) 鼻咽腔閉鎖機能不全への対応を説明する。(E-2-4)-(1)-(2)
		準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P448~456, 標準口腔外科学(第5版)P94~120	
10月	16日	澁井 武夫	ユニット5: 顎変形症	1) 顎変形症を分類する。(E-2-4)-(1)-(3) 2) 外科的矯正治療の適応を説明する。(E-2-4)-(1)-(3) 3) 顎矯正手術の種類と適応症を説明する。(E-2-4)-(1)-(3)
		準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P31~43, P457~469, 標準口腔外科学(第5版)P133~151	
10月	23日	稲田 諒	ユニット6: 炎症	1) 菌性感染症を説明する。(E-2-4)-(3)-(1)(4) 2) 智歯周囲炎を説明する。(E-2-4)-(3)-(5)(6) 3) 顎骨骨髓炎を説明する。(E-2-4)-(3)-(5)(6) 4) 顎骨壊死を起こす原因を説明する。(E-2-4)-(3)-(5)(6) 5) 菌性上顎洞炎を説明する。(E-2-4)-(3)-(5)(6) 6) 顎骨周囲軟組織の炎症について説明する。(E-2-4)-(3)-(5)(6) 7) 特異性炎について説明する。(E-2-4)-(3)-(7) 8) 敗血症を説明する。(E-2-4)-(3)-(4) 9) 菌性病巣感染の病態を説明する。(E-2-4)-(3)-(4) 10) 全身性炎症反応症候群を説明する。(E-2-4)-(3)-(4)
		準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P61~95, 標準口腔外科学(第5版)P192~216	
10月	30日	里見 貴史	ユニット7: 外傷	1) 軟組織損傷の種類, 症状と処置法を説明する。(E-2-4)-(2)-(5) 2) 歯の外傷の症状と検査法, 診断と治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(3) 3) 歯槽骨骨折の診断と症状, および治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(3) 4) 下顎骨骨折の種類を列挙する。(E-2-4)-(2)-(4) 5) 下顎骨骨折の病態と症状を説明する。(E-2-4)-(2)-(4) 6) 下顎骨骨折の診断と治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(4) 7) 上顎骨骨折, 頬骨・頬骨弓骨折を分類する。(E-2-4)-(2)-(4) 8) 上顎骨骨折, 頬骨・頬骨弓骨折の病態と症状を説明する。(E-2-4)-(2)-(4) 9) 上顎骨骨折, 頬骨・頬骨弓骨折の診断と治療法を説明する。(E-2-4)-(2)-(4)
		準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P56~62, P487, 標準口腔外科学(第5版)P155~176	
11月	6日	小柳 昌央	ユニット8: 症候群	1) 顎骨の異常を伴う症候群の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(1) 2) 顔面軟組織の異常を伴う症候群の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(1)
		準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P274~881, 標準口腔外科学(第5版)P121~133	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	13日	中島 慎太郎	ユニット9: 嚢胞	<ul style="list-style-type: none"> 1) 歯根嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 2) 歯周嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 3) 含歯性嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 4) 歯原性角化嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 5) 鼻口蓋管嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 6) 石灰化歯原性嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 7) 腺性歯原性嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 8) 術後性上顎嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 9) 単純性骨嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 10) 動脈瘤様骨嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 11) 静止性骨空洞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 12) 萌出嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 13) 歯肉嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 14) 粘液(貯留)嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 15) 頬皮嚢胞と頬表皮嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 16) 鼻歯槽嚢胞(鼻唇嚢胞)を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 17) 鰓嚢胞(側頭嚢胞・リンパ上皮性嚢胞)を説明する。(E-2-4)-(5)-(2) 18) 甲状舌管嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-(2)
			準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P31~43, P127~146, P457~469, 標準口腔外科学(第5版)P133~151, P224~223
11月	20日	稲田 諒	ユニット10: 良性腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> 1) 口腔顎顔面領域の良性腫瘍を分類する。(E-2-4)-(6)-(1) 2) エナメル上皮腫の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 3) 石灰化上皮性歯原性腫瘍の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 4) 腺腫様歯原性腫瘍の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 5) セメント芽細胞腫の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 6) 歯牙腫の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 7) 歯原性線維腫の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 8) 歯原性粘液腫の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 9) エナメル上皮癌の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(3) 10) エナメル上皮線維腫の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 11) 上皮性腫瘍の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 12) 軟部組織腫瘍の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2) 13) 骨・軟骨腫瘍の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(2)
			準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P158~179, P188, 標準口腔外科学(第5版)P261~278
11月	27日	里見 貴史	ユニット11: 悪性腫瘍, 腫瘍類似疾患	<ul style="list-style-type: none"> 1) 悪性腫瘍の臨床像を説明する。(E-2-4)-(6)-(3) 2) 良性・悪性腫瘍の差異を説明する。(E-2-4)-(6)-(3) 3) TNM分類について説明する。(E-2-4)-(6)-(3) 4) Stage分類について説明する。(E-2-4)-(6)-(3) 5) 前癌病変と前癌状態(口腔潜在的悪性疾患)を説明する。(E-2-4)-(6)-(5)(6) 6) 悪性腫瘍の治療前後の患者管理について説明する。(E-2-4)-(6)-(3) 7) 各種がんを列記する。(E-2-4)-(6)-(3) 8) 各がんの治療方法を説明する。(E-2-4)-(6)-(3) 9) わが国におけるがんの現状を述べる。(E-2-4)-(6)-(3) 10) 腫瘍類似疾患の特徴と治療法を述べる。(E-2-4)-(6)-(4)
			準備学習内容	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療(第6版)P110~115, P177~178, P188~207, 標準口腔外科学(第5版)P279~314, P318~325
12月	4日	松野 智宣	ユニット12: 口腔心身症	<ul style="list-style-type: none"> 1) 心身相関を説明する。(E-5-3)-(1) 2) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性疼痛を説明する。(E-5-3)-(2) 3) 舌痛症を説明する。(E-5-3)-4) 4) 歯科治療恐怖症を説明する。(E-5-3)-(5) 5) 心理テストの種類を説明する。(E-5-3)-(3) 6) 心身医学的治療を説明する。(E-5-3)-(1)
			準備学習内容	口腔内科学p.551-567を読み, 内容を確認する。

科目名

歯科麻酔・救急処置

曜日 時間

金

10:30 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、全身麻酔法、ペインクリニックに関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

古屋英毅 他

歯科麻酔・全身管理学の手引き

第5版

学建書院

一戸達也 監修

歯科麻酔学

第9版

医歯薬出版

担当者一覧

砂田勝久, 塩谷伊毅, 小谷田貴之, 酒井有沙, 島村 直宏

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(70 %) 論述試験(30 %) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 講義終了後 11:50~12:50

場所: 100周年記念館5階 歯科麻酔学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	18日	砂田 勝久	ユニット1:麻酔に必要な呼吸の生理	1) 気道の構造と機能を述べる。(C-3-4)-(8)-(1) 2) 呼吸の調節を述べる。(C-3-4)-(8)-(2) 3) 血液による酸素と二酸化炭素の運搬を説明する。(C-3-4)-(4)-(4) 4) 低酸素症を説明する。(E-6-(1)) 5) 高二酸化炭素血症を説明する。(E-6-(1)) 6) 酸塩基平衡を説明する。(C-3-4)-(9)-(2) 7) 術前の呼吸機能評価を説明する。(E-1-4)-(4)-(3))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p21-32,73-75の要点を確認する。	
9月	25日	島村 直宏	ユニット2:麻酔に必要な循環の生理	1) 循環の構成要素を述べる。(C-3-4)-(4)-(1)) 2) 循環の調節を説明する。(C-3-4)-(4)-(3)) 3) 血圧を説明する。(E-1-4)-(1)-(2)) 4) 正常心電図を説明する。(C-3-4)-(4)-(1)) 5) 術前の循環機能評価を説明する。(E-1-4)-(4)-(3))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p32-43,75-77の要点を確認する。	
10月	2日	酒井 有沙	ユニット3:全身麻酔法(1)	1) 全身麻酔の概念と流れを述べる。(E-1-4)-(4)-(1)) 2) 全身麻酔の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(4)-(3)) 3) 術前評価を説明する。(E-1-4)-(4)-(3)) 4) 術前指示を説明する。(E-1-4)-(4)-(3)) 5) 麻酔前投薬の目的と使用薬物を述べる。(E-1-4)-(4)-(3)) 6) 全身麻酔法を分類する。(E-1-4)-(4)-(1)) 7) 麻酔深度を説明する。(E-1-4)-(4)-(1))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p169-188の要点を確認する。	
10月	9日	酒井 有沙	ユニット4:全身麻酔法(2)	1) 吸入麻酔薬の薬物動態を述べる。(E-1-4)-(4)-(2)) 2) 吸入麻酔薬の麻酔導入・覚醒に影響する因子を説明する。(E-1-4)-(4)-(2)) 3) 吸入麻酔薬のMACを説明する。(E-1-4)-(4)-(2)) 4) 吸入麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(4)-(2)) 5) 静脈麻酔薬のCSHTを説明する。(E-1-4)-(4)-(2)) 6) 静脈麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(4)-(2))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p189-206の要点を確認する。	
10月	16日	酒井 有沙	ユニット5:全身麻酔法(3)	1) 筋弛緩薬を説明する。(E-1-4)-(4)-(2)) 2) 鎮痛薬を説明する。(E-1-4)-(4)-(2))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p206-218の要点を確認する。	
10月	23日	酒井 有沙	ユニット6:全身麻酔法(4)	1) 麻酔装置を説明する。(E-1-4)-(4)-(2)) 2) 麻酔導入について説明する。(E-1-4)-(4)-(3)) 3) 術中の気道管理を説明する。(E-1-4)-(4)-(3))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p218-239の要点を確認する。	
10月	30日	酒井 有沙	ユニット7:全身麻酔法(5)	1) 麻酔維持について説明する。(E-1-4)-(4)-(3)) 2) 麻酔中のモニタ機器を説明する。(E-1-4)-(4)-(3)) 3) 麻酔の覚醒・抜管について述べる。(E-1-4)-(4)-(3)) 4) 術後管理について説明する。(E-1-4)-(4)-(3)) 5) 全身麻酔に必要な準備器材について述べる。(E-1-4)-(4)-(2))
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p77-93,239-246,249-252の要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	6日	塩谷 伊毅	ユニット8:全身麻酔法(6)	1) 口腔外科手術における全身麻酔について説明する。(E-1-4)-(4)-(3) 2) 呼吸器系合併症の原因, 予防法, 対処法を述べる。(E-1-4)-(4)-(3) 3) 循環器系合併症の原因, 予防法, 対処法を述べる。(E-1-4)-(4)-(3) 4) その他の合併症を列記する。(E-1-4)-(4)-(3)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p246-258,352-361の要点を確認する。	
11月	13日	塩谷 伊毅	ユニット9:輸液・輸血, 高齢者・小児・障害者の全身麻酔, 日帰り全身麻酔	1) 輸液について説明する。(E-1-4)-(4)-(3) 2) 輸血について説明する。(E-1-4)-(4)-(3) 3) 高齢者の全身管理について説明する。(E-5-1)-(1)-(5) 4) 小児の全身麻酔を説明する。(E-1-4)-(4)-(3) 5) 障害者の全身麻酔を説明する。(E-1-4)-(4)-(3) 6) 日帰り外来全身麻酔を説明する。(E-1-4)-(4)-(3)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p258-273,p362-397の要点を確認する。	
11月	20日	小谷田貴之	ユニット10:ペインクリニック(1)	1) 神経疾患の特徴を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 2) 疼痛の伝達経路を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 3) 神経疾患の評価法を説明する。(E-1-3)-(2) 4) 三叉神経痛を説明する。(E-2-4)-(9)-(2) 5) 舌咽神経痛を説明する。(E-2-4)-(9)-(1)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p398-404,407-416の要点を確認する。	
11月	27日	小谷田貴之	ユニット11:ペインクリニック(2)	1) 帯状疱疹を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 2) 帯状疱疹後神経痛を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 3) 外傷性神経障害性疼痛を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 4) 癌性疼痛を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 5) 顔面痙攣を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 6) 非歯原性歯痛を説明する。(E-2-4)-(10)-(11) 7) 非定型歯痛・顔面痛を説明する。(E-2-4)-(10)-(11) 8) 心因性疼痛を説明する。(E-5-3)-(2)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版398-407,424-425の要点を確認する。	
12月	4日	小谷田貴之	ユニット12:ペインクリニック(3)	1) 三叉神経感覚障害を説明する。(E-2-4)-(9)-(4) 2) 顔面神経麻痺を説明する。(E-2-4)-(9)-(3) 3) Ramsay-Hunt症候群を説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 4) 星状神経節ブロックを説明する。(E-2-4)-(10)-(11) 5) 口腔領域のその他の麻痺性疾患を説明する。(E-2-4)-(9)-(1)
		準備学習内容	歯科麻酔学第9版p415-425の要点を確認する。	

科目名

総合臨床歯学〔歯科硬組織修復学〕

曜日 時間

金 13:00～14:20

本学期的到達目標(GIO)

Student Dentistとしての診療参加型臨床実習に必要な硬組織疾患に対する適切な臨床的対応に関する知識について理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
田上順次 他	保存修復学21	第6版	永末書店

担当者一覧

柵木 寿男, 前野 雅彦, 河本 芽, 越田 美和

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(100%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 毎月 第1・第3火曜日 12:00～13:00
 場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 18日	柵木 寿男	ユニット1:問題演習および解説	1)歯の疾患の分類・特徴を列記する。(E-3-2)-(1) 2)歯の疾患の病因を述べる。(E-3-2)-(1) 3)歯の疾患の病態を記述する。(E-3-2)-(1) 4)歯の疾患の処置を列挙する。(E-3-3-(1)-(1))
	準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
9月 25日	河本 芽	ユニット2:問題演習および解説	1)歯の検査法を類別する。(E-1-1)-(6) 2)検査に用いる器材・応用方法を説明する。(E-1-1)-(2) 3)検査の対象・目的を述べる。(E-1-1)-(1))
	準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
10月 2日	前野 雅彦	ユニット3:問題演習および解説	1)治療計画に必要な事項を説明する。(A-3-(3)) 2)エナメル質齲蝕の特徴を列記する。(E-3-2)-(1) 3)象牙質齲蝕の特徴を列記する。(E-3-2)-(1) 4)エナメル質齲蝕の処置について記述する。(E-3-3-(1)-(1)) 5)象牙質齲蝕の処置について記述する。(E-3-3-(1)-(1))
	準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	9日	越田 美和	ユニット4:問題演習および解説	1)歯の切削器具・器械を分類する。(D-1-③) 2)回転切削器具とその用途を列記する。(D-1-③) 3)歯科用レーザーを用いた歯質除去方法の特徴を述べる。(D-1-③) 4)歯間分離法・歯肉排除法・隔壁法を述べる。(D-5-2-1-4)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
10月	16日	前野 雅彦	ユニット5:問題演習および解説	1)窩洞を分類する。(E-3-3-(1)-⑥) 2)窩洞各部の名称を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 3)窩洞が具備すべき6条件を説明する。(E-3-3-(1)-⑥)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
10月	23日	柵木 寿男	ユニット6:問題演習および解説	1)歯髄保護の目的・種類・術式を説明する。(E-3-3-(1)-⑤) 2)歯間分離法・歯肉排除法・隔壁法を述べる。(E-3-3-(1)-④)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
10月	30日	越田 美和	ユニット7:問題演習および解説	1)光重合型コンポジットレジン修復の臨床的特徴を列挙する。(E-3-3-(1)-①) 2)光重合型コンポジットレジン修復の窩洞形成以降の治療手順を列記する。(E-3-3-(1)-①) 3)エナメル質との接着を説明する。(D-2-③) 4)象牙質との接着を記述する。(D-2-③)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
11月	6日	柵木 寿男	ユニット8:問題演習および解説	1)ガラスアイオノマーセメントの組成を列記する。(D-2-①) 2)従来型とレジン添加型とのガラスアイオノマーセメント修復を比較する。(E-3-3-(1)-①) 3)ガラスアイオノマーセメント修復の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
11月	13日	越田 美和	ユニット9:問題演習および解説	1)鑄造修復の長所と短所を列記する。(E-3-3-(1)-①) 2)鑄造修復用窩洞の窩洞外形・保持形態・抵抗形態・便宜形態・窩縁形態を説明する。(E-3-3-(1)-⑥) 3)各種印象材の長所と短所を列記する。(D-1-①)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
11月	20日	前野 雅彦	ユニット10:問題演習および解説	1)コンポジットレジンインレー修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2)セラミックインレー修復の特徴・窩洞・適応症を述べる。(E-3-3-(1)-①) 3)ベニア修復の特徴・適応症・種類・修復手順を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4)合着用セメントの種類を列記する。(D-2-③)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
11月	27日	前野 雅彦	ユニット11:問題演習および解説	1)各漂白法の適応症・禁忌症を述べる。(E-3-3-(1)-③) 2)各種漂白法の処置手順を説明する。(E-3-3-(1)-①) 3)歯の破折の原因を説明する。(E-2-4)-(2)-③) 4)象牙質知覚過敏症に用いる薬剤を列記する。(D-1-①)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	
12月	4日	柵木 寿男	ユニット12:問題演習および解説	1)鑄造修復を述べる。(E-3-3-(1)-①) 2)セラミックインレー修復を説明する。(E-3-3-(1)-①) 3)ベニア修復を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4)合着・接着用セメントの特徴を列記する。(D-2-③) 5)変色・破折・知覚過敏への処置を説明する。(E-3-3-(1)-①)
		準備学習内容	総履修範囲の要点を教科書および配付資料によって再確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	18日	澁井 武夫	ユニット1: 医療安全・感染予防, 器具・器材	<ol style="list-style-type: none"> 1) スタンダードプレコーションを実践する。(F-1-2)-(4) 2) 清潔操作を実施する。(F-1-2)-(2) 3) 外来手術のための手洗い, 滅菌手袋および滅菌ガウンを適切に装着する。(F-3-1)-(1) 4) 器具・器材の名称を述べる。(F-3-1)-(2) 5) 器具・器材の使用目的を説明する。(F-3-1)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	
9月	25日	松野 智宣	ユニット2: 切開, 剥離, 縫合(1) (器械縫合)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 切開, 剥離および縫合に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-(2) 2) 切開, 剥離および縫合に必要な器具・器材を正しく使用する。(F-3-5)-(2) 3) ガム模型上で正しく切開・剥離を実施する。(F-3-5)-(2) 4) ガム模型上で正しく器械縫合をする。(F-3-5)-(2) 5) ガム模型上で正しく抜糸を実施する。(F-3-5)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	
10月	2日	中島 慎太郎	ユニット3: 切開, 剥離, 縫合(2) (手指結紮)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 切開, 剥離および縫合に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-(2) 2) 切開, 剥離および縫合に必要な器具・器材を正しく使用する。(F-3-5)-(2) 3) ガム模型上で正しく切開・剥離をする。(F-3-5)-(2) 4) ガム模型上で正しく手指結紮をする。(F-3-5)-(2) 5) ガム模型上で正しく抜糸を実施する。(F-3-5)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	
10月	9日	小柳 昌央	ユニット4: 上顎の単純抜歯	<ol style="list-style-type: none"> 1) 適切な挺子, 鉗子を選択する。(F-3-5)-(1) 2) 挺子を正しく操作する。(F-3-5)-(1) 3) 鉗子を正しく操作する。(F-3-5)-(1) 4) 上顎の抜歯体位をとる。(F-3-5)-(1) 5) 上顎の単純抜歯を実施する。(F-3-5)-(1) 6) 止血法を実施する。(F-3-5)-(2) 7) 抜歯後の注意事項を説明する。(F-3-5)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	
10月	16日	稲田 諒	ユニット5: 下顎の単純抜歯, 膿瘍切開	<ol style="list-style-type: none"> 1) 適切な挺子, 鉗子を選択する。(F-3-5)-(1) 2) 挺子を正しく操作する。(F-3-5)-(1) 3) 鉗子を正しく操作する。(F-3-5)-(1) 4) 下顎の抜歯体位をとる。(F-3-5)-(1) 5) 下顎の単純抜歯を実施する。(F-3-5)-(1) 6) 膿瘍切開を実施する。(F-3-5)-(2) 7) 止血法を実施する。(F-3-5)-(2) 8) 処置後の注意事項を説明する。(F-3-5)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	
10月	23日	澁井 武夫	ユニット6: 下顎埋伏智歯の抜歯	<ol style="list-style-type: none"> 1) 処置に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-(2) 2) 切開線を正しく設定する。(F-3-5)-(2) 3) 模型上で切開・剥離をする。(F-3-5)-(2) 4) 正しい体位で下顎埋伏智歯を抜去する。(F-3-5)-(2) 5) 模型上で縫合する。(F-3-5)-(2) 6) 止血法を実施する。(F-3-5)-(2) 7) 抜歯後の注意事項と合併症を説明する。(F-3-5)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	30日	里見 貴史	ユニット7: 実技試験	1) 指定された部位の抜歯に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-(1) 2) 正しく手洗いを実施する。(F-3-1)-(1) 3) 正しく滅菌手袋を装着する。(F-3-1)-(1) 4) 適切な体位で抜歯する。(F-3-5)-(1) 5) 適切な止血法を実施する。(F-3-5)-(2) 抜歯後の注意事項を説明する。(F-3-5)-(2)
		準備学習内容	教科書「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療」の当該箇所を予習する。	
11月	6日	柳井 智恵	ユニット8: インプラント体埋入手術	1) インプラントの適応症, 禁忌症を説明する。(E-3-4)-(3)-(2) 2) インプラント手術に必要な局所解剖を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 3) インプラント体埋入手術の1回法と2回法を説明する。(E-3-4)-(3)-(5) 4) インプラント体埋入(一次)手術に必要な器具, 器材を準備する。(E-3-4)-(3)-(5) 5) 模型上でインプラント体埋入手術を実施する。(E-3-4)-(3)-(5) 6) インプラント体埋入手術の併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)
		準備学習内容	実習書p1-11,16-18,22-25,26-31,62-65,教科書p140-161を予習する。	
11月	13日	柳井 智恵	ユニット9: インプラント二次手術	1) 二次(支台部連結)手術に必要な器具, 器材を準備する。(E-3-4)-(3)-(5) 2) 模型上でインプラント二次手術を実施する。(E-3-4)-(3)-(5) 3) インプラント二次手術の併発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)
		準備学習内容	実習書p32-34,62-65,教科書p165-170を予習する。	
11月	20日	柳井 智恵	ユニット10: インプラントの印象採得	1) インプラントの印象採得に必要な器具, 器材を準備する。(E-3-4)-(3)-(6) 2) 模型上でインプラントの印象採得を実施する。(E-3-4)-(3)-(6)
		準備学習内容	実習書p35-43,教科書p171-185を予習する。	
11月	27日	島村 直宏	ユニット11: 局所麻酔法	1) 局所麻酔の必要性を説明する。(E-1-4)-(3)-(1) 2) 局所麻酔法に必要な器具を選択する。(E-1-4)-(3)-(5) 3) 模型を用いて表面麻酔および浸潤麻酔を行う。(F-3-1)-(4) 4) 模型を用いて下顎孔伝達麻酔法を実施する。(E-1-4)-(3)-(5)
		準備学習内容	教科書「歯科麻酔学第9版」のp121-136を予習する。	
12月	4日	酒井 有沙	ユニット12: 全身麻酔の導入	1) 麻酔導入の過程をグループで実施する。(E-1-4)-(4)-(2)
		準備学習内容	教科書「歯科麻酔学第9版」のp218-239を予習する。	